



資料編

1 ニーズ調査の結果と分析

調査の概要

- 調査対象：「宇治市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」
市内の0歳から17歳の子どもの中から無作為に抽出した、4,500人の子どもの保護者（各歳250人）
「宇治市子どもの生活に関するアンケート」
上記で抽出された、8歳（小学3年生）以上の子ども2,500人
- 調査票区分：① 就学前児童の保護者用・・・0歳～5歳の子どもの保護者
② 小学生の保護者用・・・・・・6歳～11歳の子どもの保護者
③ 中高生等の保護者用・・・・・・12歳～17歳の子どもの保護者
④ 子ども用・・・・・・・・・8歳～17歳の子ども
- 調査期間：令和6年3月15日（金） 調査票発送
令和6年3月29日（金） 回答期限、督促状発送
令和6年4月10日（水） 最終回答期限
- 調査方法：郵送による調査票の配布・回収

調査対象	配布数	回収数	回収率			
			今回	前回	前々回	初回
就学前児童の保護者	1,500 通	687 通	45.8%	44.7%	49.7%	49.2%
小学生の保護者	1,500 通	598 通	39.9%	45.2%	50.3%	57.1%
中高生等の保護者	1,500 通	544 通	36.3%	34.8%	—	—
小学生（小学3年生以上）	1,000 通	341 通	34.1%	43.9%	—	—
中学生・高校生等	1,500 通	486 通	32.4%	34.2%	—	—

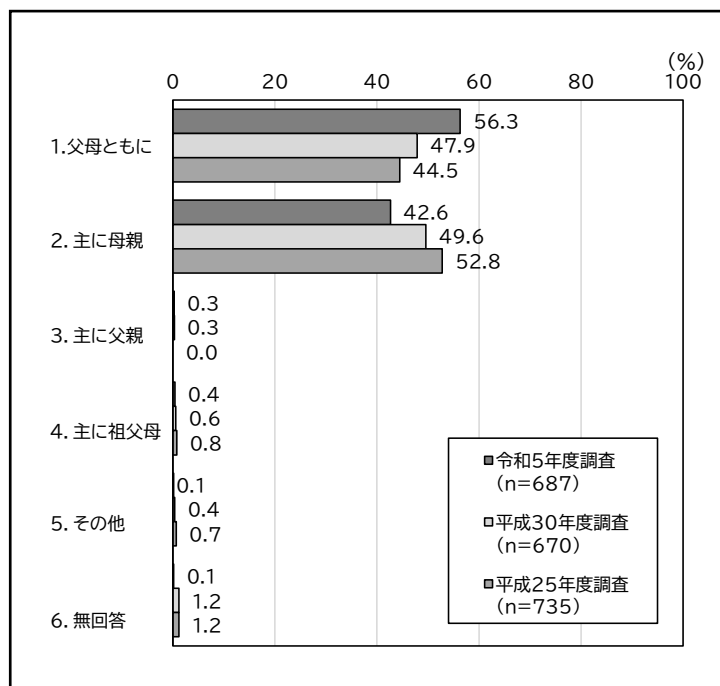
調査結果の見方

- 回答結果は、各質問の選択肢の「回答数（※1）」を同質問の「回答者数（※2）」で除した数値〔回答数/回答者数〕を百分率（％）で示しています。なお、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
「回答数（※1）」：各質問の選択肢毎の回答者数
「回答者数（※2）」：各質問における回答者数
- 複数回答が可能な設問についても、グラフ内では「回答者数」と表記しています。
- 複数回答が可能な設問の場合、「回答数」が「回答者数」に対してどのくらいの割合であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

(1) 子育てを主に行っている人について

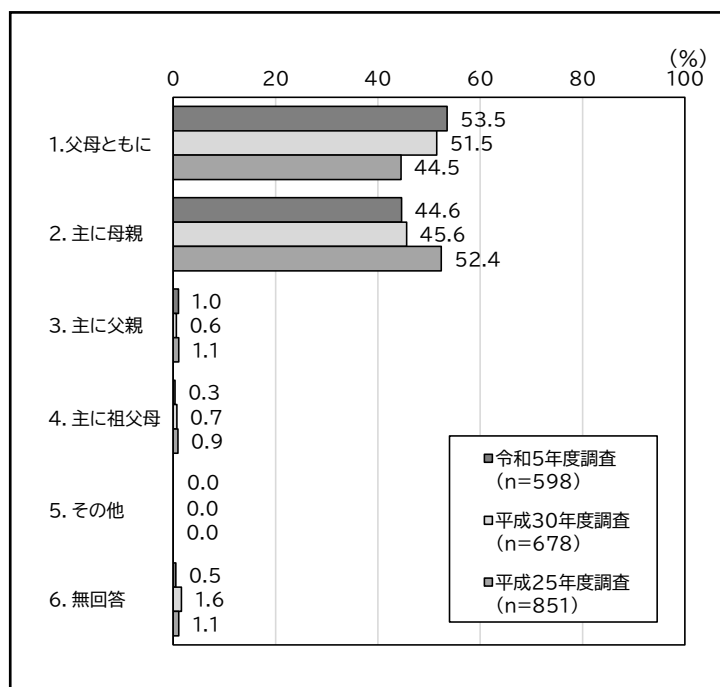
【就学前児童】

R5調査では、「1.父母ともに」の割合が56.3%と最も高く、次いで「2.主に母親」の割合が42.6%となっています。



【小学生】

R5調査では、「1.父母ともに」の割合が53.5%と最も高く、次いで「2.主に母親」の割合が44.6%となっています。

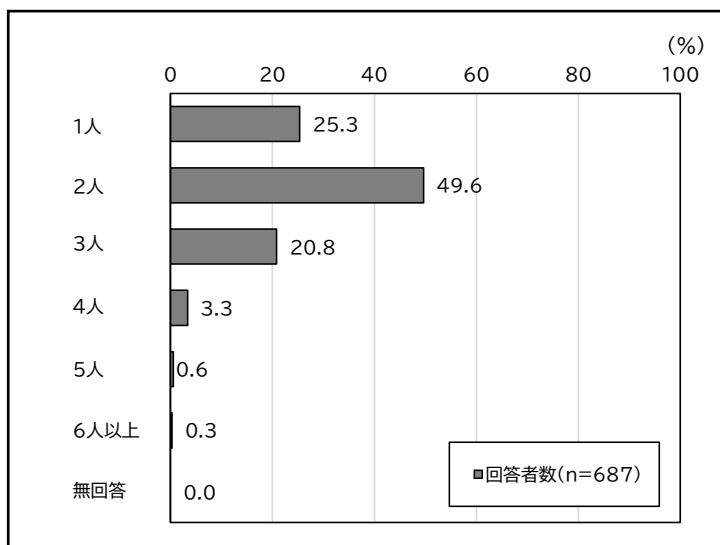


(2) 子どもの人数

①実際の人数

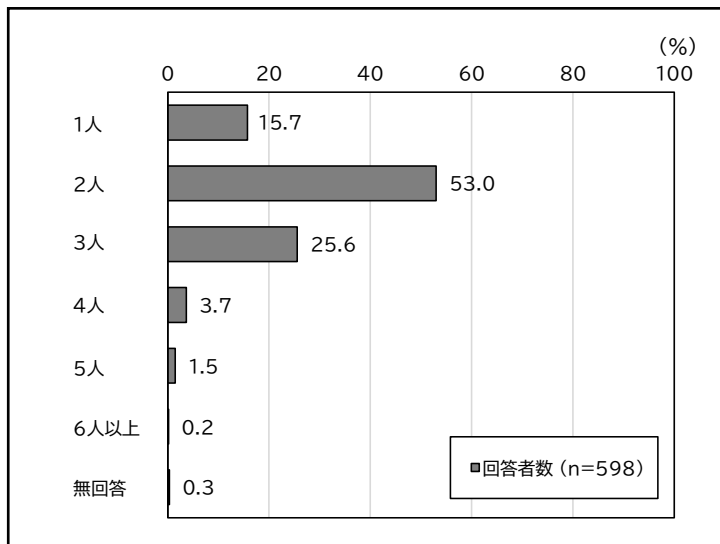
【就学前児童】

R5調査では、「2人」の割合が49.6%と最も高く、次いで「1人」の割合が25.3%となっています。



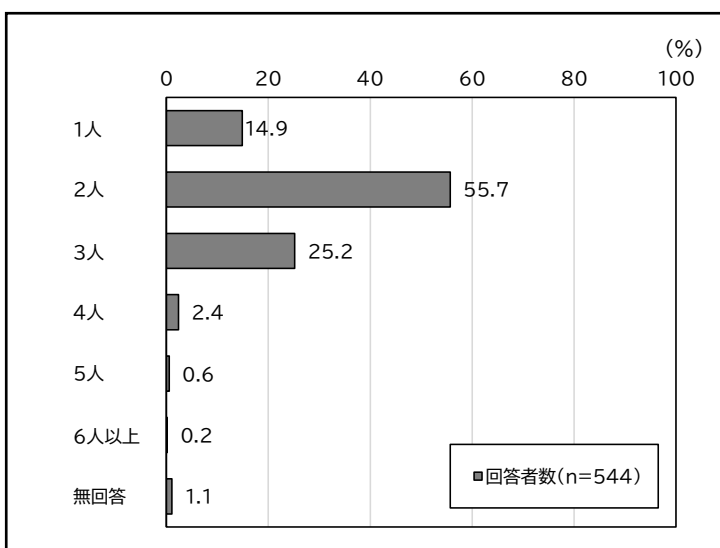
【小学生】

R5調査では、「2人」の割合が53.0%と最も高く、次いで「3人」の割合が25.6%となっています。



【中高生】

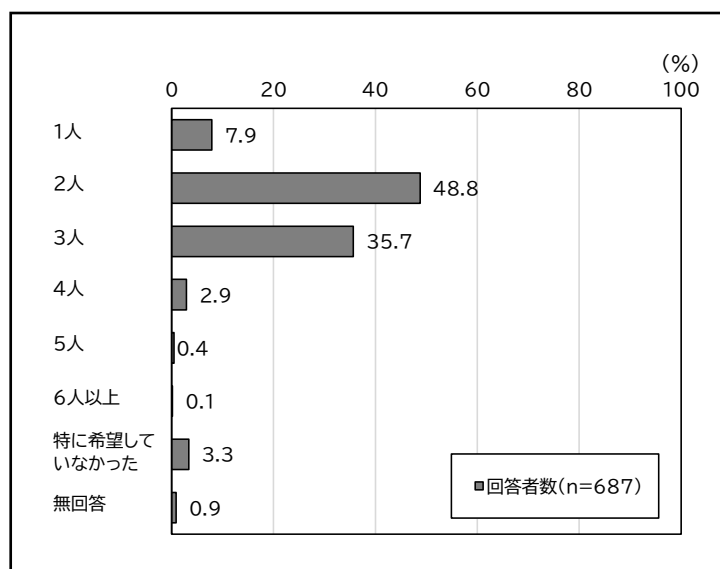
R5調査では、「2人」の割合が55.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が25.2%となっています。



②希望している（していた）人数

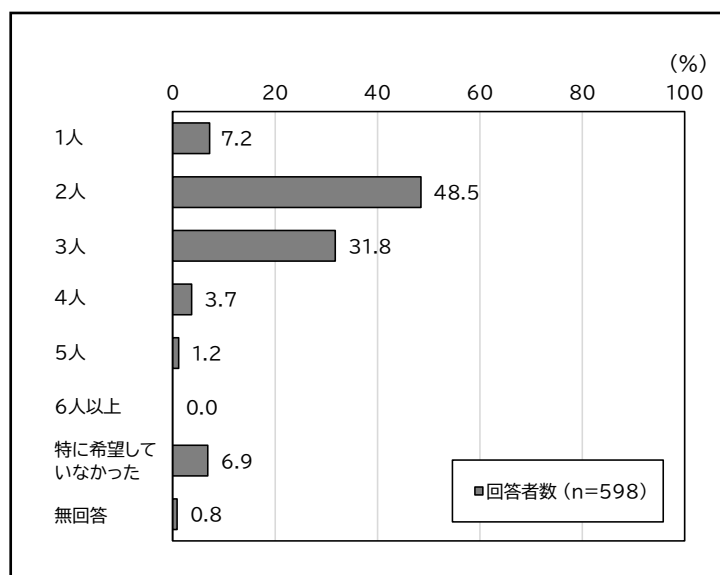
【就学前児童】

R5調査では、「2人」の割合が48.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が35.7%となっています。



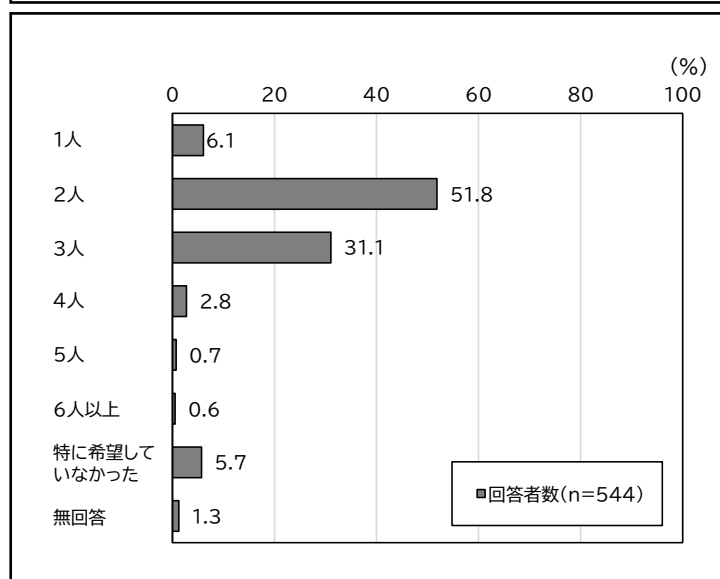
【小学生】

R5調査では、「2人」の割合が48.5%と最も高く、次いで「3人」の割合が31.8%となっています。



【中高生】

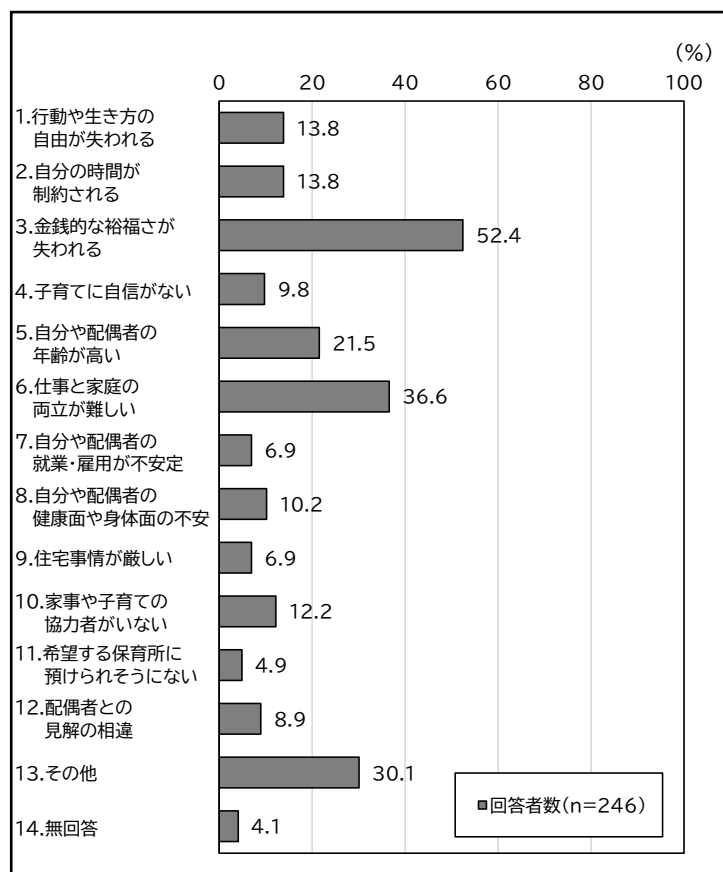
R5調査では、「2人」の割合が51.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が31.1%となっています。



③希望している（していた）人数と異なる理由（複数回答）

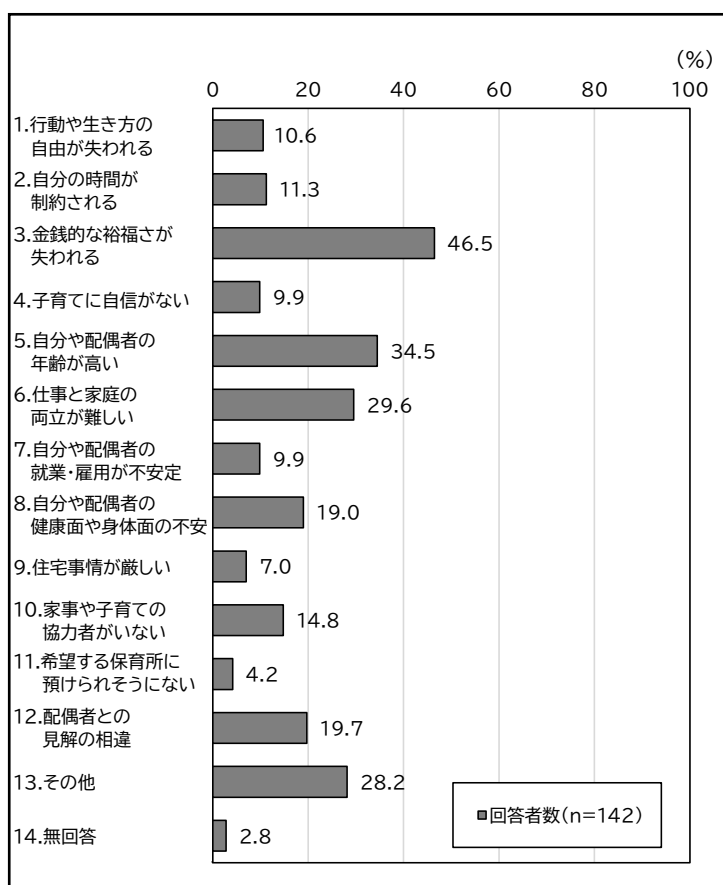
【就学前児童】

R5調査では、「3.金銭的な裕福さが失われる」の割合が52.4%と最も高く、次いで「6.仕事と家庭の両立が難しい」の割合が36.6%となっています。



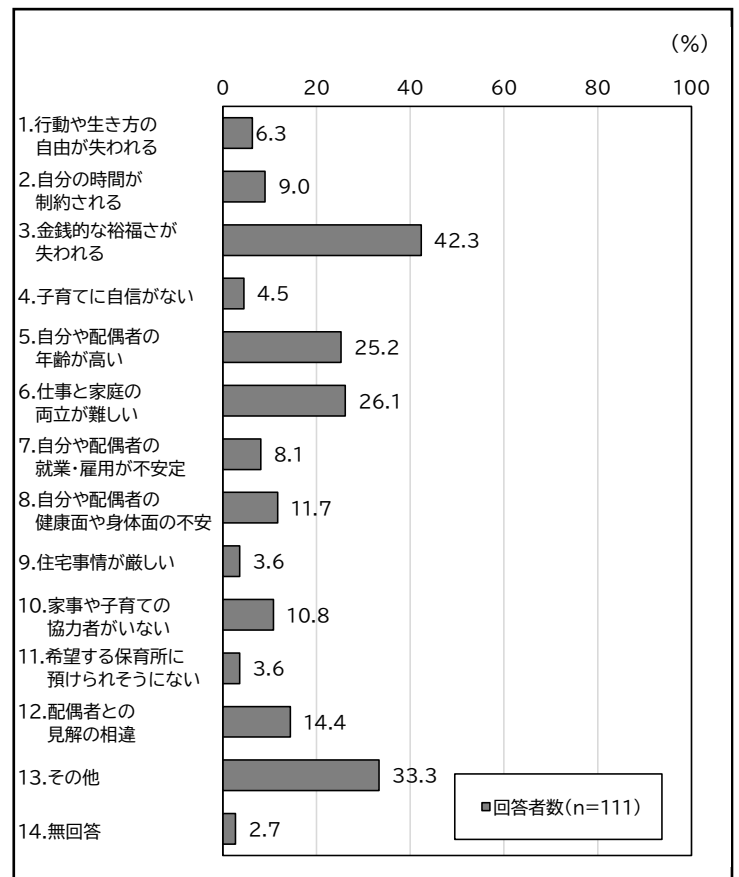
【小学生】

R5調査では、「3.金銭的な裕福さが失われる」の割合が46.5%と最も高く、次いで「5.自分や配偶者の年齢が高い」の割合が34.5%となっています。



【中高生】

R5調査では、「3.金銭的な裕福さが失われる」の割合が42.3%と最も高く、次いで「13.その他」の割合が33.3%、「6.仕事と家庭の両立が難しい」の割合が26.1%となっています。



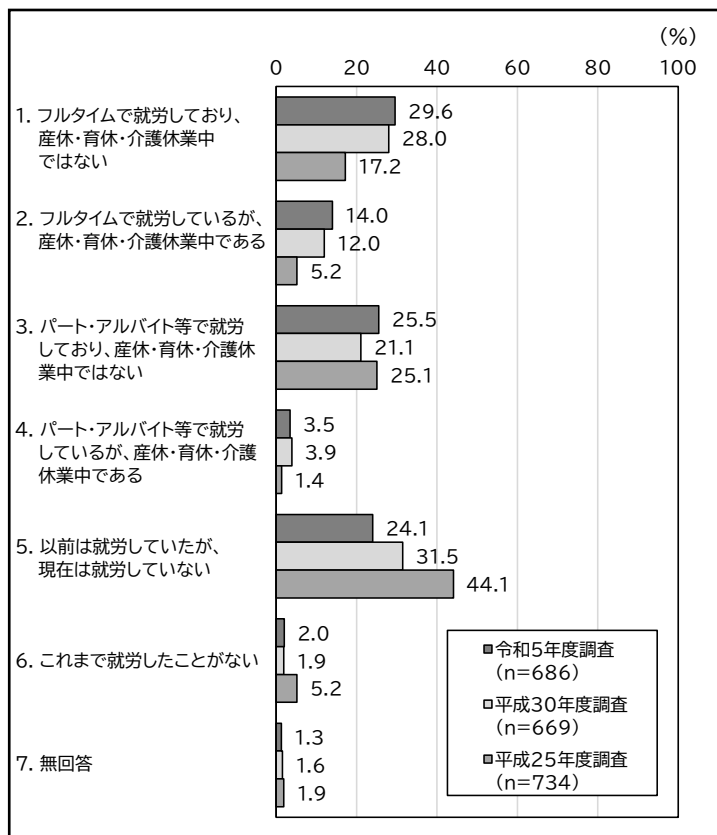
(3) 母親の就労状況と就労希望について

① 母親の現在の就労状況

【就学前児童】

R5 調査では、「1.フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が、29.6%と最も高く、次いで「3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が25.5%、「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が24.1%となっています。

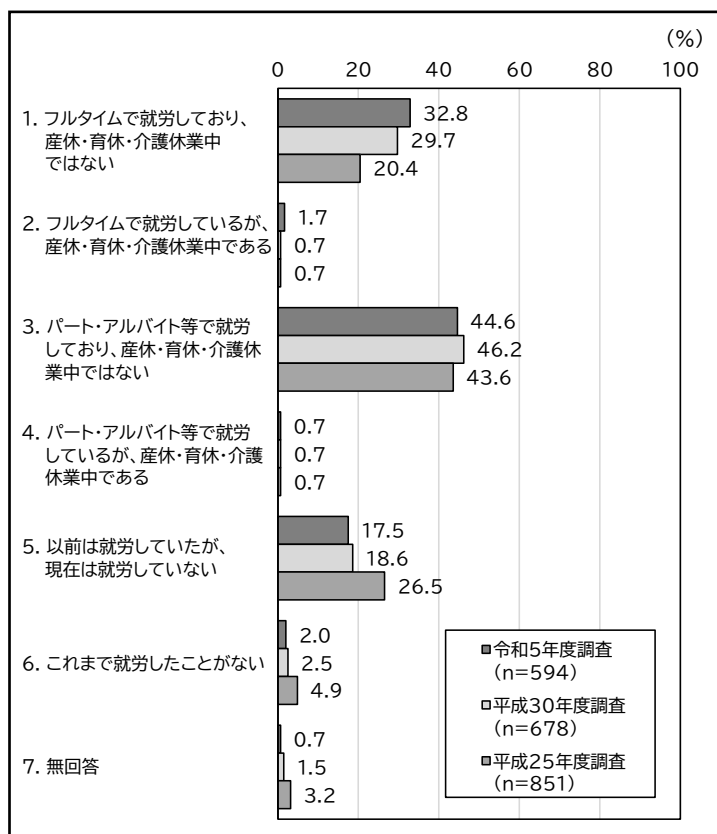
これまでの調査と比較すると、「1.フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「2.フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が年々増加しています。



【小学生】

R5 調査では、「3.パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が44.6%と最も高く、次いで「1.フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が32.8%、「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が17.5%となっています。

これまでの調査と比較すると、「1.フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が年々増加しています。



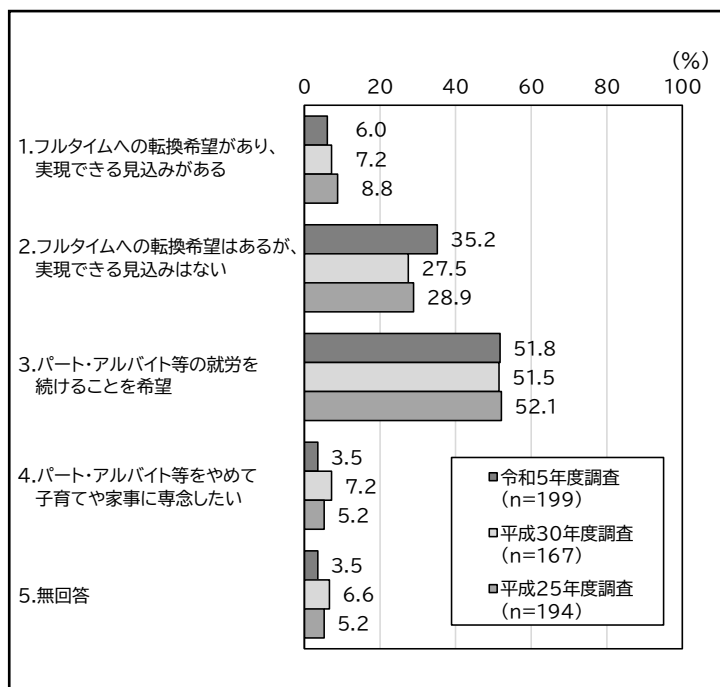
② 母親のフルタイムへの転換及び就労希望

〈現在パート・アルバイト等〉

【就学前児童】

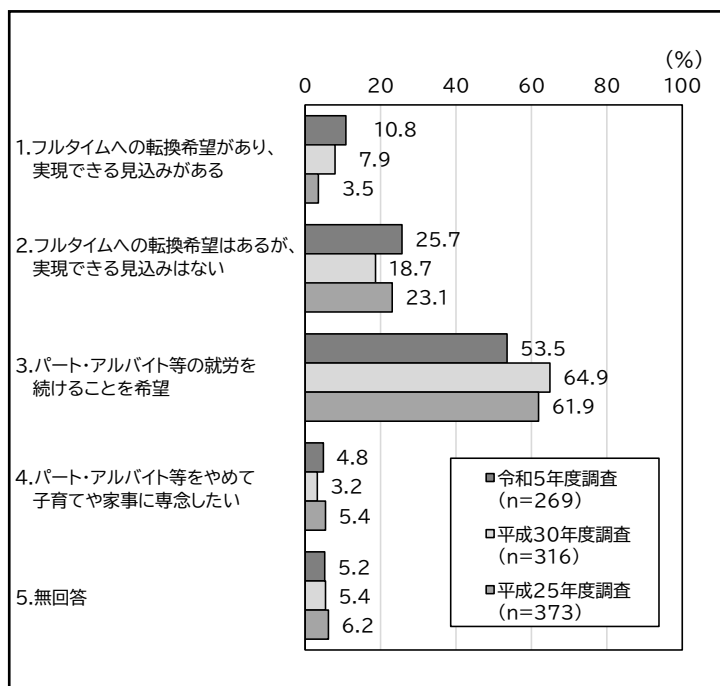
R5 調査では、「3.パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「2.フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 35.2%となっています。

項目ごとに増減はあるものの、大きな変化はみられません。



【小学生】

R5 調査では、「3.パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「2.フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 25.7%、「1.フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が 10.8%となっています。



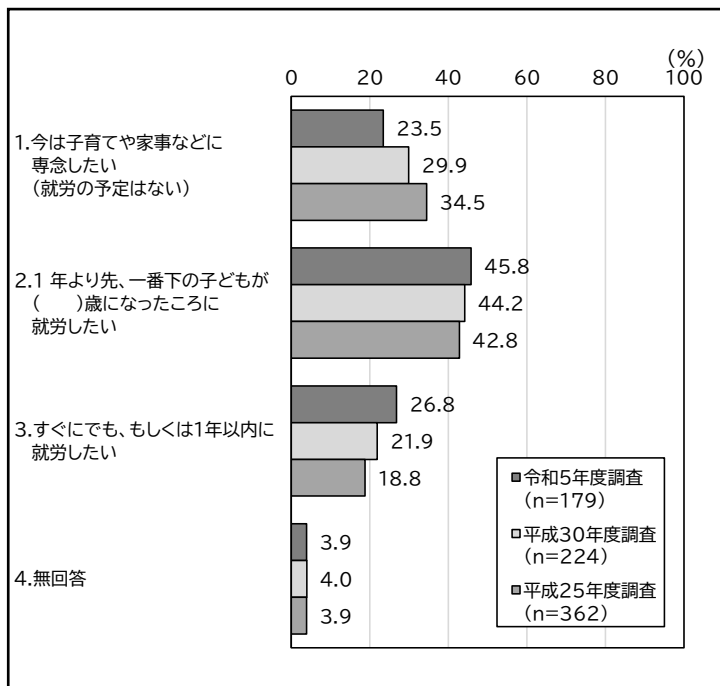
③母親のフルタイムへの転換及び就労希望

〈現在就労していない〉

【就学前児童】

R5 調査では、「2. 1 年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「3.すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が 26.8%、「1.今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が 23.5%、となっています。

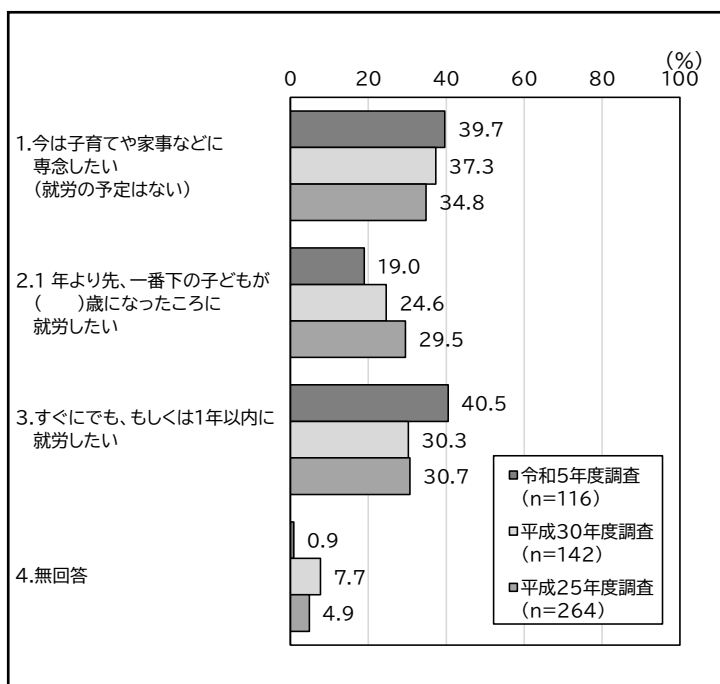
これまでの調査と比較すると、「就労したい」割合が増加しています。



【小学生】

R5 調査では、「3.すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「1.今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が 39.7%、「2.1 年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」の割合が 19.0%となっています。

これまでの調査と比較すると、「3.すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が大きく増加しています。



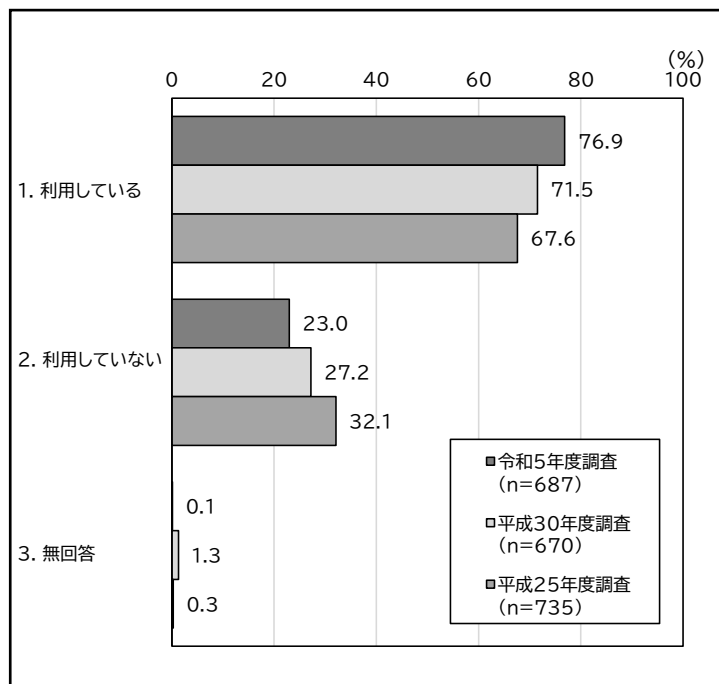
(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と利用希望について

① 利用している定期的な教育・保育の事業（利用の有無）

【就学前児童】

R5 調査では、「1.利用している」の割合が 76.9%となっています。

これまでの調査と比較すると、「1.利用している」の割合が、年々増加しています。

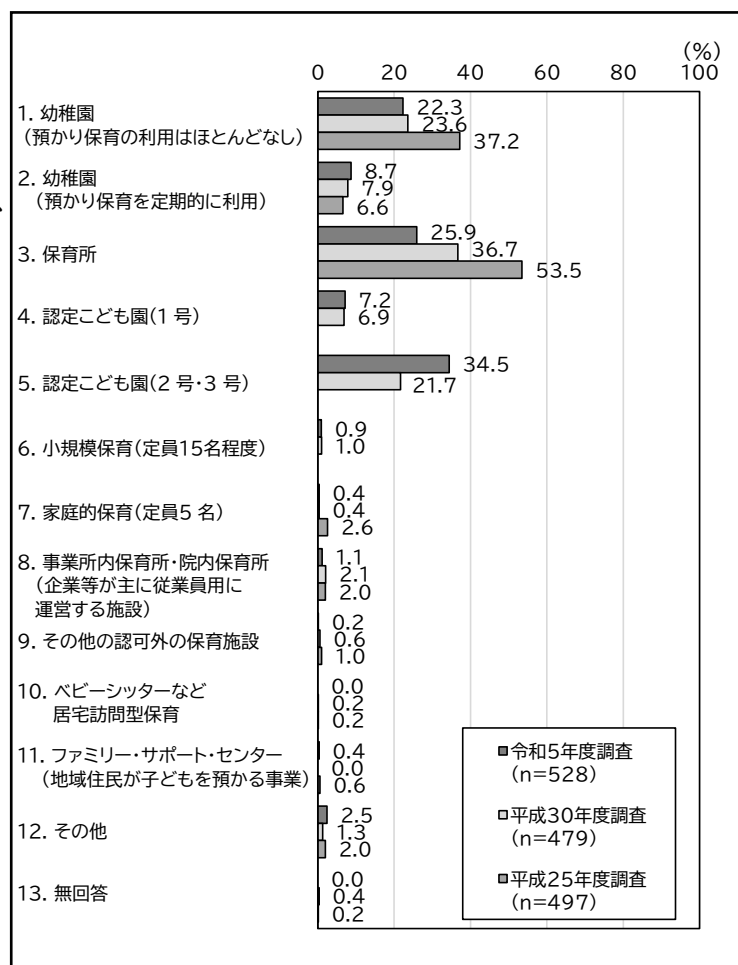


② 利用している定期的な教育・保育事業（利用している事業・複数回答）

【就学前児童】

R5 調査では、「5.認定こども園（2号・3号）」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「3.保育所」の割合が 25.9%、「1.幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」の割合が 22.3%となっています。

H30 調査と比較すると、「5.認定こども園（2号・3号）」と「3.保育所」を合わせた割合が増加しています。

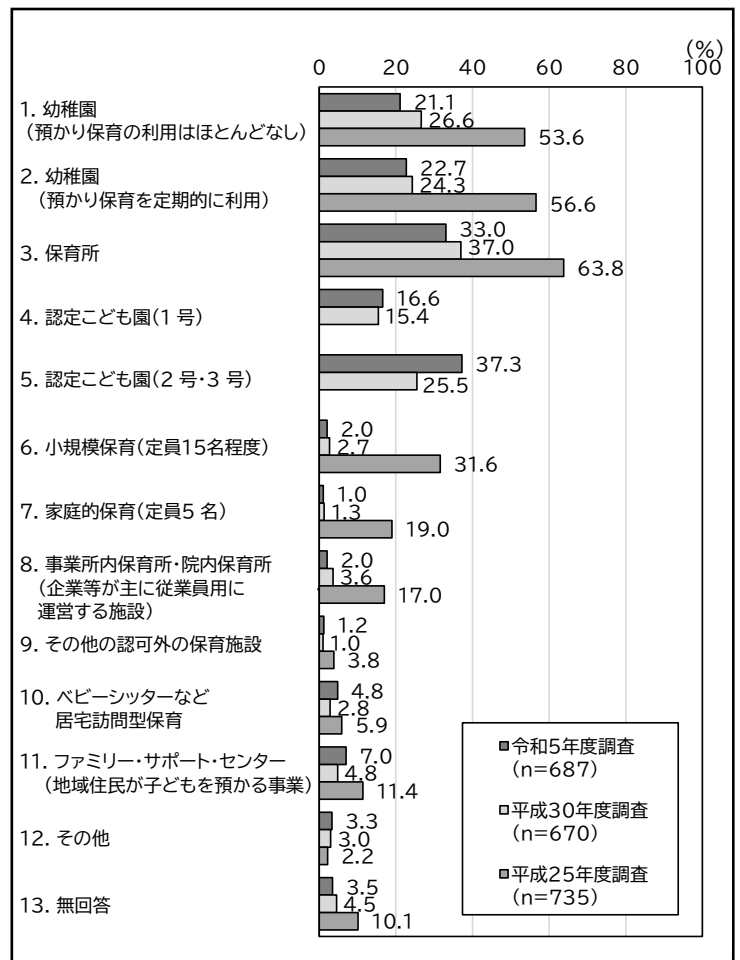


③ 定期的に利用したい教育・保育事業

【就学前児童】

R5 調査では、「5.認定こども園（2号・3号）」の割合が37.3%と最も高く、次いで「3.保育所」の割合が33.0%、「2.幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」の割合が22.7%となっています。

これまでの調査と比較すると、「4.認定こども園（1号）」、「5.認定こども園（2号・3号）」の割合が増加する一方、「1.幼稚園（預かり保育はほとんどなし）」、「2.幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」、「3.保育所」は減少傾向にあります。



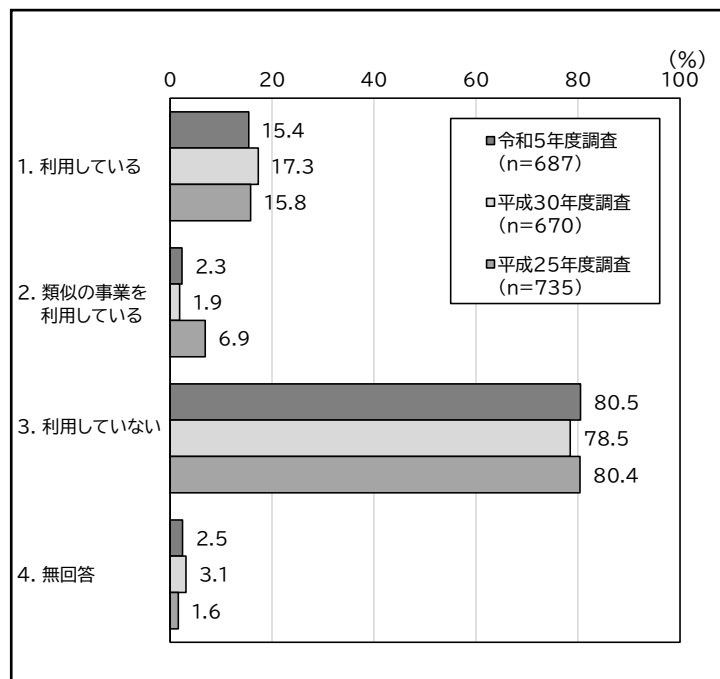
(5) 地域の子育て支援事業の利用状況と利用希望について

① 地域子育て支援拠点事業の利用状況（複数回答）

【就学前児童】

R5 調査では、「3.利用していない」の割合が 80.5%と最も高く、次いで「1.利用している」の割合が 15.4%となっています。

これまでの調査から大きな変化はありません。

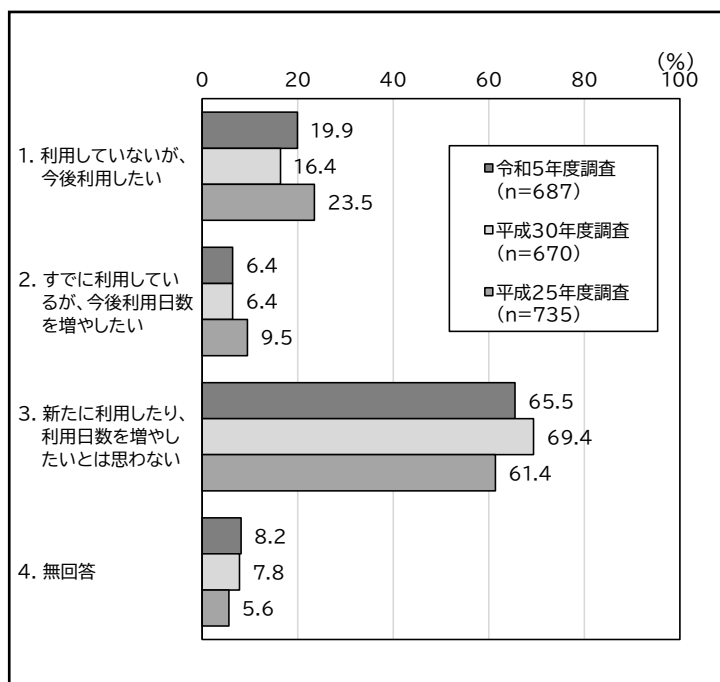


② 地域子育て支援拠点事業の利用希望

【就学前児童】

R5 調査では、「3.新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「1.利用していないが、今後利用したい」の割合が 19.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が 6.4%となっています。

これまでの調査と比較すると、前回から「3.新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 3.9ポイント減少し、「1.利用していないが、今後利用したい」の割合が 3.5ポイント増加しています。



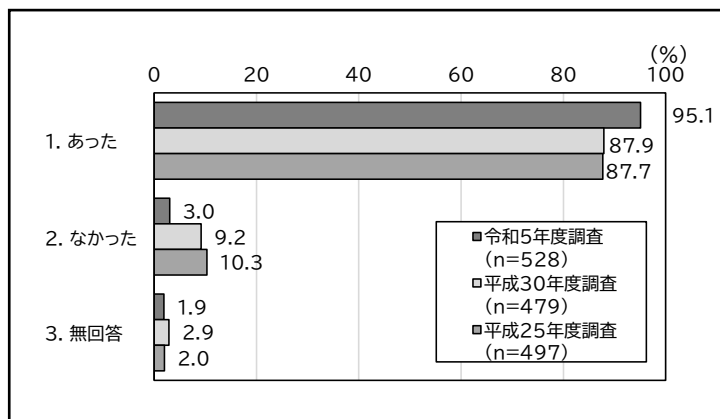
(6) 病気等の際の対応について

① 病気やケガでの幼稚園、保育所などの休みの有無

【就学前児童】

R5 調査では、「1.あった」の割合が95.1%となっています。

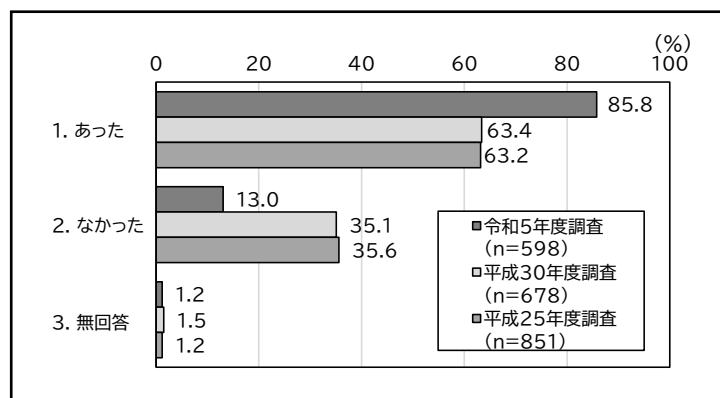
これまでの調査と比較すると、「1.あった」の割合が増加しています。



【小学生】

R5 調査では、「1.あった」の割合が85.8%となっています。

これまでの調査と比較すると、「1.あった」の割合が増加しています。

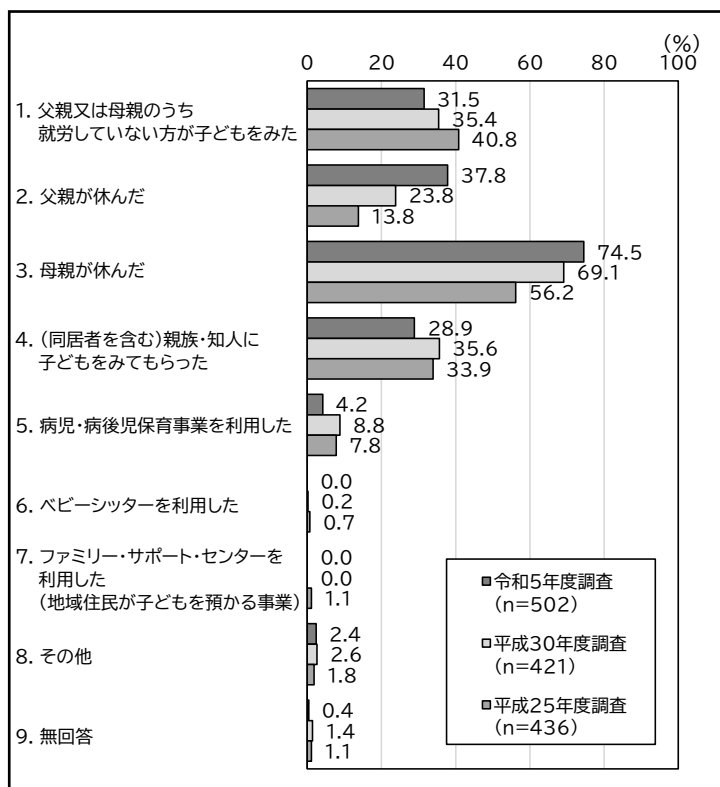


② 病気やケガでの幼稚園、保育所などの休みの時の対応（複数回答）

【就学前児童】

R5 調査では、「3.母親が休んだ」の割合が74.5%と最も高く、次いで「2.父親が休んだ」の割合が37.8%、「1.父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が31.5%となっています。

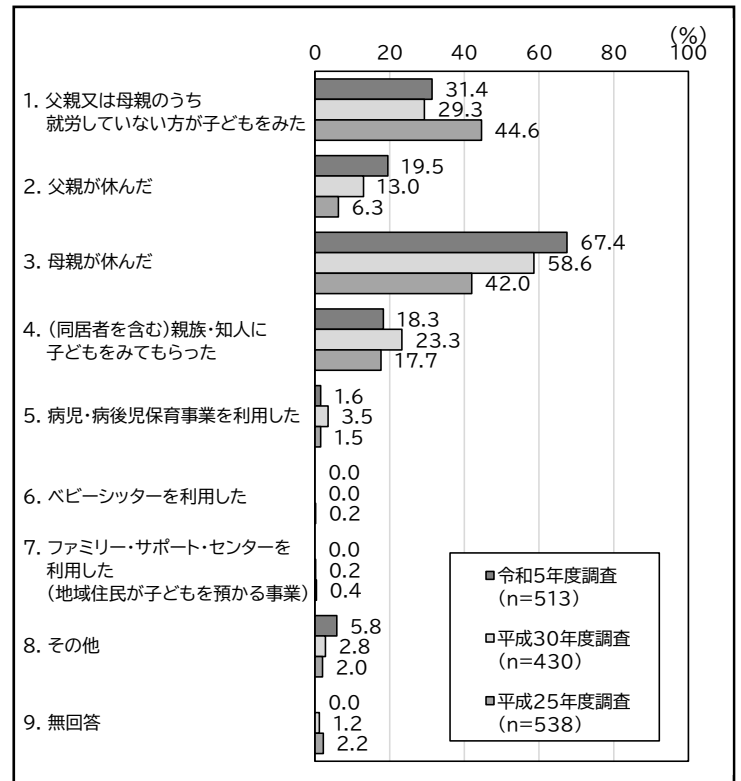
これまでの調査と比較すると、「3.母親が休んだ」、「2.父親が休んだ」の割合が増加傾向にあり、特に「2.父親が休んだ」割合が大きく増加しています。



【小学生】

R5 調査では、「3.母親が休んだ」の割合が67.4%と最も高く、次いで「1.父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が31.4%、「2.父親が休んだ」の割合が19.5%となっています。

これまでの調査と比較すると、「3.母親が休んだ」、「2.父親が休んだ」の割合が増加しています。

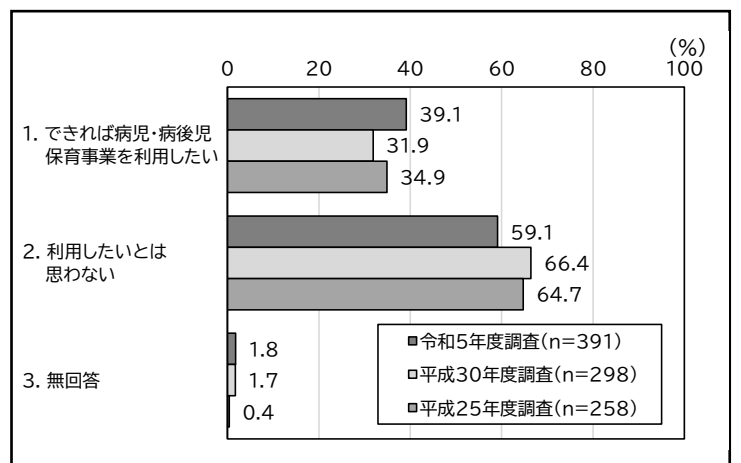


③ 病児・病後児保育事業の今後の利用希望

【就学前児童】

R5 調査では、「2.利用したいとは思わない」の割合が59.1%となっています。

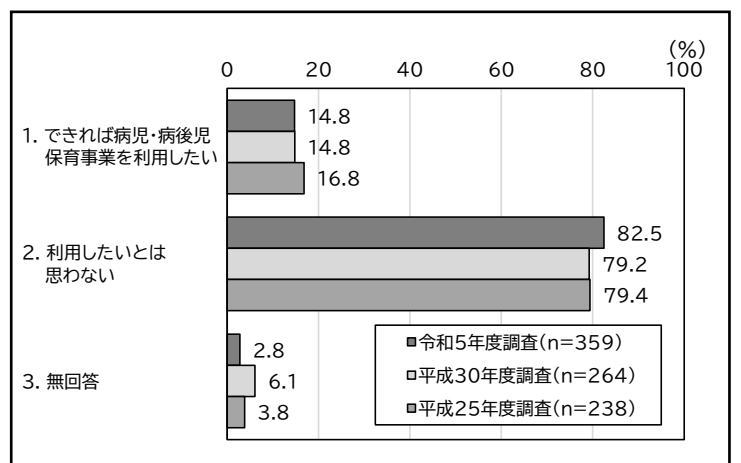
これまでの調査と比較すると、前回から「1.できれば病児・病後児保育事業を利用したい」の割合が7.2ポイント増加しています。



【小学生】

R5 調査では、「2.利用したいとは思わない」の割合が82.5%となっています。

これまでの調査と比較すると、大きな変化はみられません。



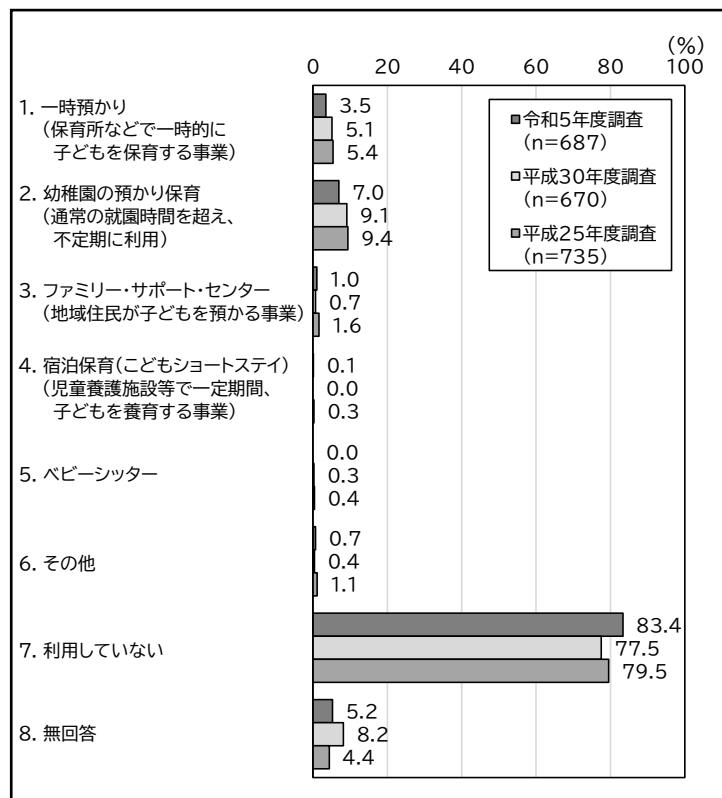
(7) 不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時的な預かり等の利用について

① 不定期の教育・保育の利用状況（複数回答）

【就学前児童】

R5 調査では、「7.利用していない」の割合が 83.4%と最も高く、次いで「2.幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を超え、不定期的に利用）」の割合が 7.0%、「1.一時預かり（保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」の割合が 3.5%となっています。

これまでの調査と比較すると、いずれの項目も少しずつ減少がみられます。

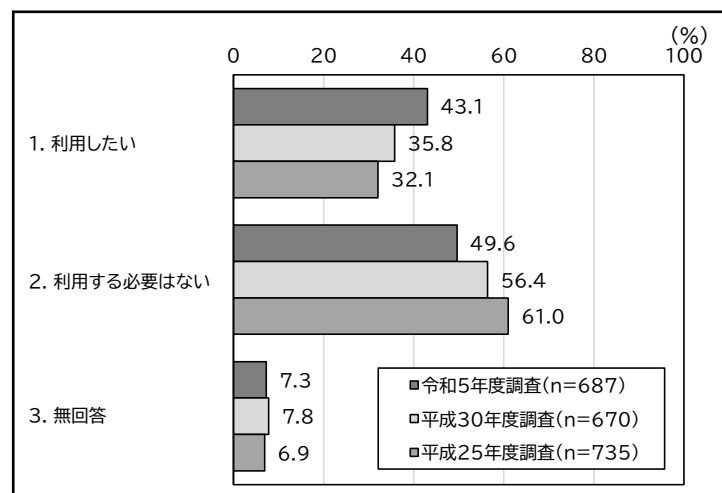


② 不定期の教育・保育の利用希望（複数回答）

【就学前児童】

R5 調査では、「2.利用する必要はない」の割合が 49.6%となっています。

これまでの調査と比較すると、「1.利用したい」の割合が、年々増加しています。

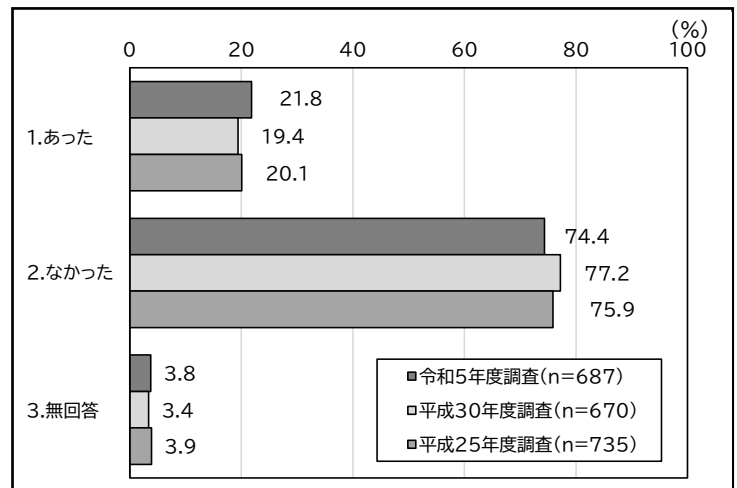


③ 宿泊を伴う一時的な預かり等の有無

【就学前児童】

R5 調査では、「1.あった」の割合が21.8%となっています。

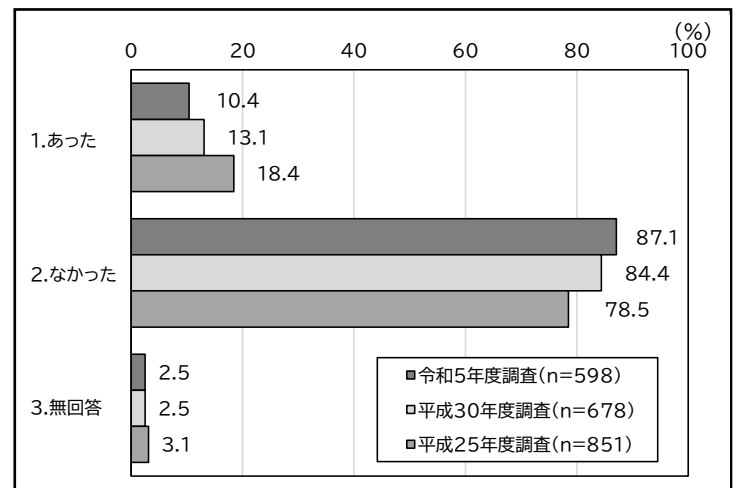
これまでの調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【小学生】

R5 調査では、「1.あった」の割合が10.4%となっています。

これまでの調査と比較すると、「1.あった」の割合が年々減少しています。

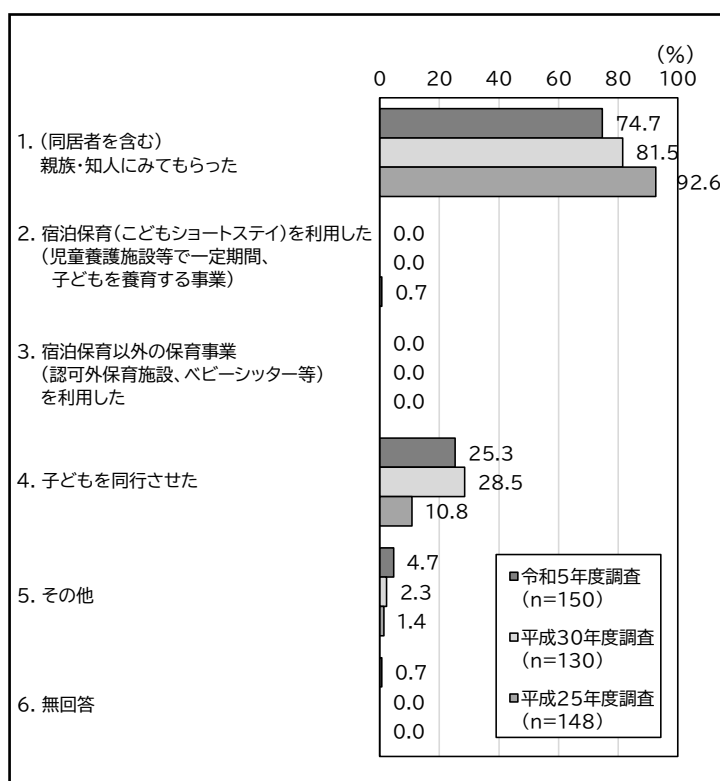


④ 宿泊を伴う一時的な預かりの時の対応（複数回答）

【就学前児童】

R5 調査では、「1.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が74.7%と最も高く、次いで「4.子どもを同行させた」の割合が25.3%となっています。

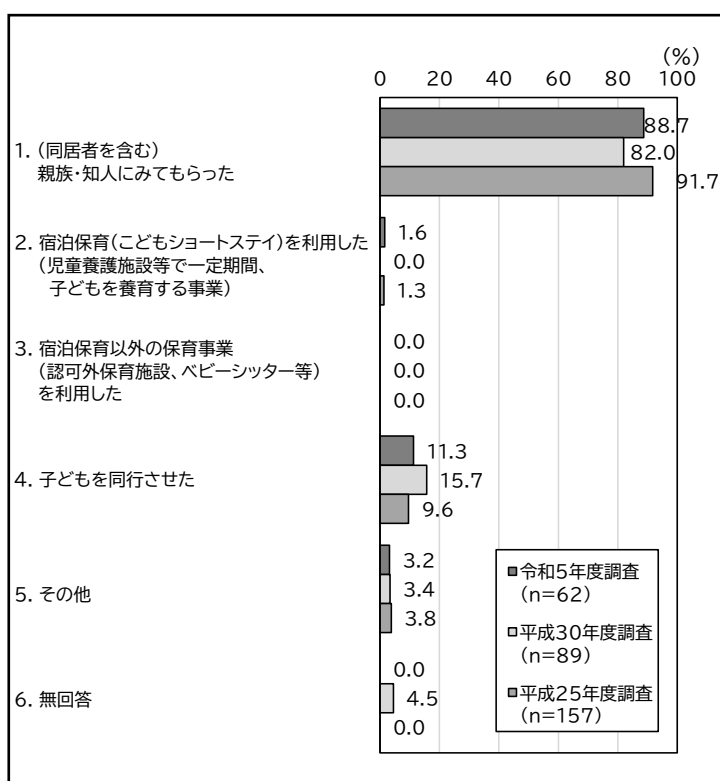
これまでの調査と比較すると、「1.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が減少しています。



【小学生】

R5 調査では、「1.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が88.7%と最も高く、次いで「4.子どもを同行させた」の割合が11.3%となっています。

これまでの調査と比較すると、大きな変化はみられません。



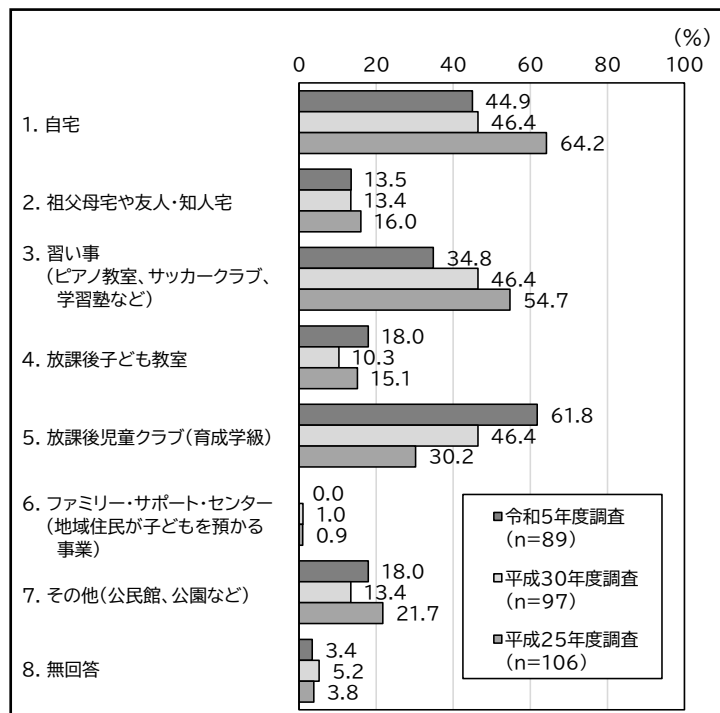
(8) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

① 就学前児童の小学校就学後の放課後（低学年）に過ごさせたい場所（複数回答）

【就学前児童】

R5 調査では、「5.放課後児童クラブ（育成学級）」の割合が61.8%と最も高く、次いで「1.自宅」の割合が44.9%となっています。

これまでの調査と比較すると、「5.放課後児童クラブ（育成学級）」の割合が、それぞれ15.4ポイントと大きく増加しています。

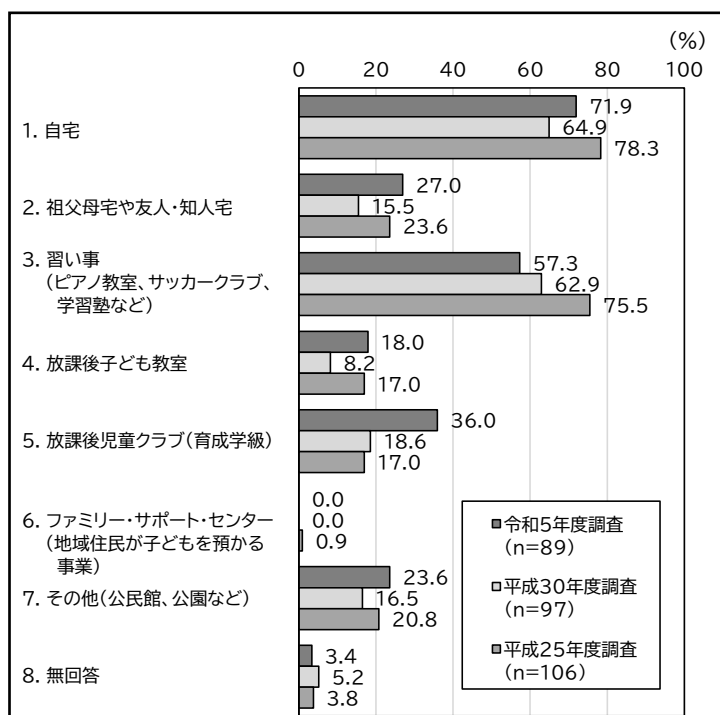


② 就学前児童の小学校就学後の放課後（高学年）に過ごさせたい場所（複数回答）

【就学前児童】

R5 調査では、「1.自宅」の割合が71.9%と最も高く、次いで「3.習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が57.3%、「5.放課後児童クラブ（育成学級）」の割合が36.0%となっています。

これまでの調査と比較すると、H30調査から「5.放課後児童クラブ（育成学級）」、「4.放課後子ども教室」の割合が、それぞれ17.4ポイント、9.8ポイントと大きく増加しています。

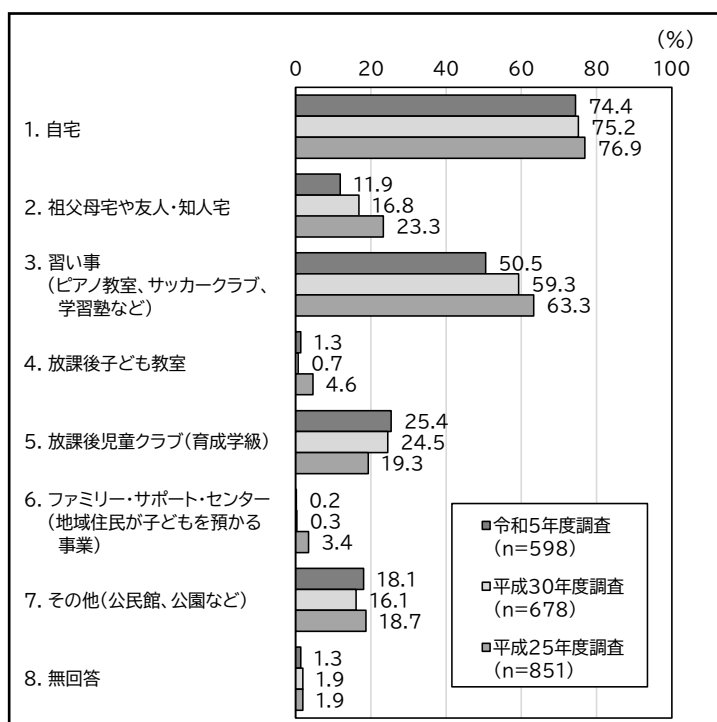


③ 小学生の放課後に過ごす場所（複数回答）

【小学生】

R5 調査では、「1.自宅」の割合が74.4%と最も高く、次いで「3.習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が50.5%、「5.放課後児童クラブ（育成学級）」の割合が25.4%となっています。

H25 調査と比較すると、「5.放課後児童クラブ（育成学級）」の割合が6.1ポイント増加し、「2.祖父母宅や友人・知人宅」の割合11.4ポイント減少しています。



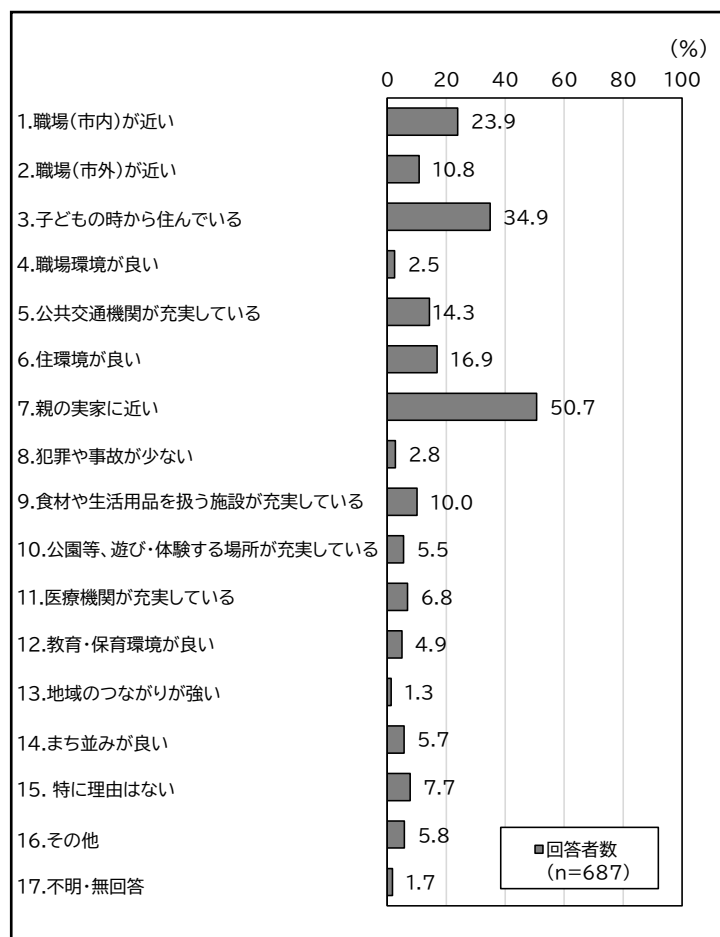
(9) 宇治市に住んでいる理由

(複数回答)

【就学前児童】

R5調査では、「7.親の実家に近い」の割合が50.7%と最も高く、次いで「3.子どもの時から住んでいる」の割合が34.9%、

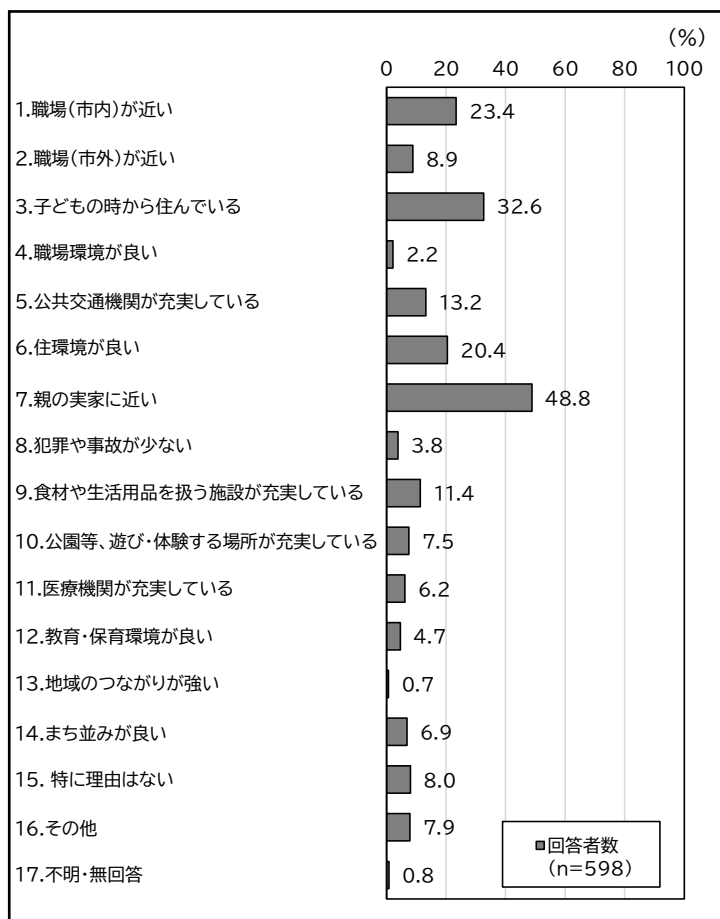
「1.職場(市内)に近い」の割合が23.9%となっています。



【小学生】

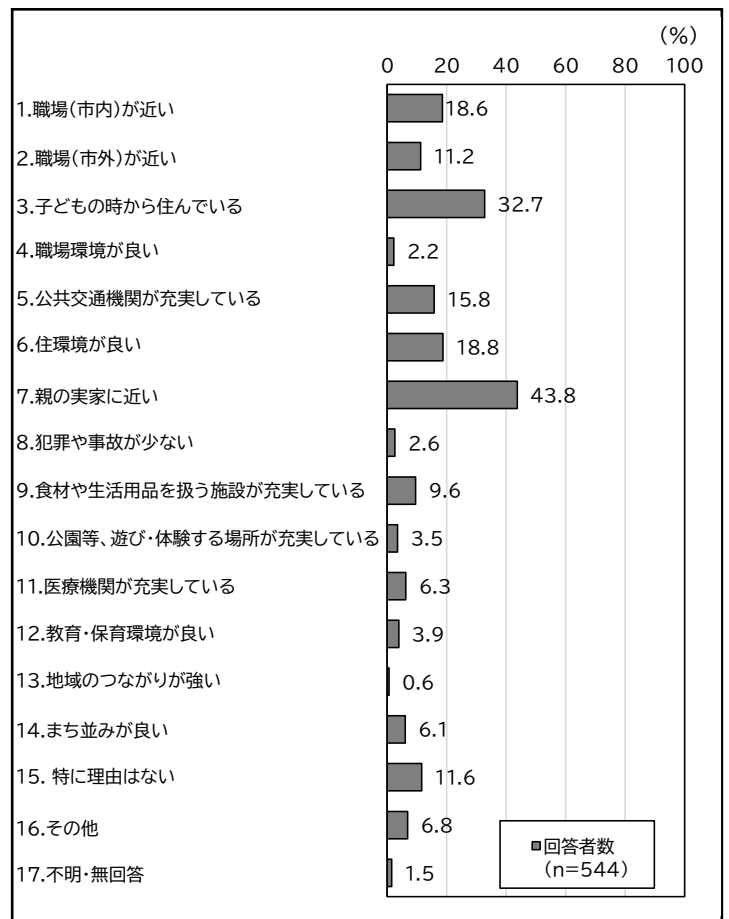
R5調査では、「7.親の実家に近い」の割合が48.8%と最も高く、次いで「3.子どもの時から住んでいる」の割合が32.6%、

「1.職場(市内)に近い」の割合が23.4%となっています。



【中高生】

R5調査では、「7.親の実家に近い」の割合が43.8%と最も高く、次いで「3.子どもの時から住んでいる」の割合が32.7%、「6.住環境が良い」の割合が18.8%となっています。

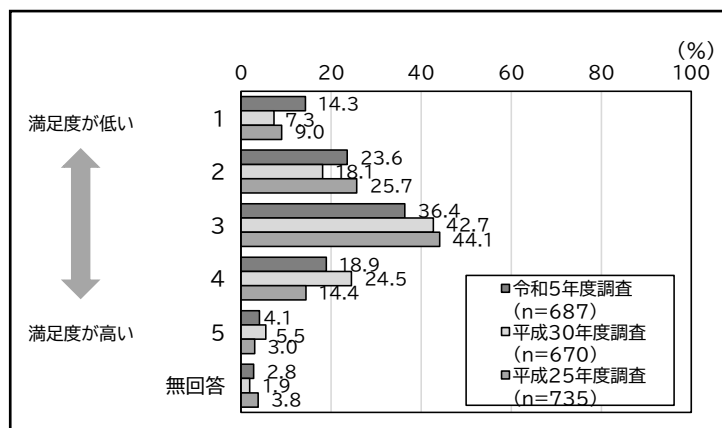


(10) 子育ての環境や支援への満足度について

【就学前児童】

R5調査では、「3」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2」の割合が23.6%、「4」の割合が18.9%となっています。

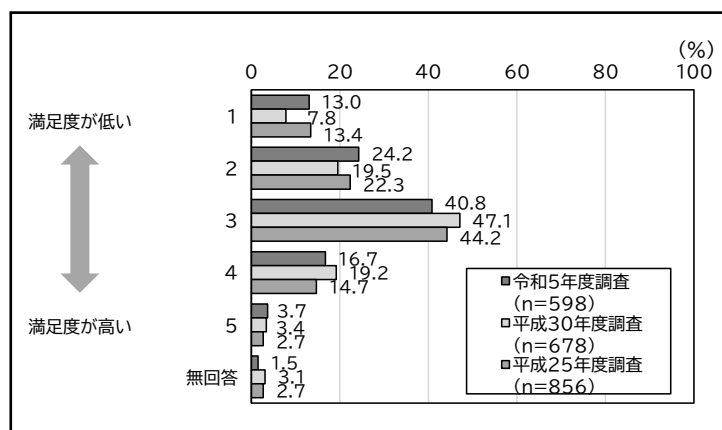
H30の調査と比較すると、「2」の割合が5.5ポイント増加し、「4」の割合が5.6ポイント減少しています。



【小学生】

R5調査では、「3」の割合が40.8%と最も高く、次いで「2」の割合が24.2%、「4」の割合が16.7%となっています。

H30の調査と比較すると、「2」の割合が4.7ポイント増加し、「4」の割合が2.5ポイント減少しています。



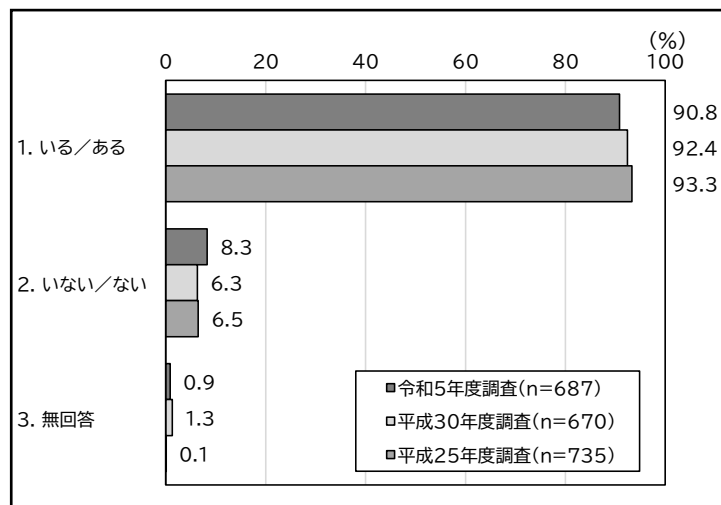
(11) 子育てをする上での相談相手の状況について

①気軽に相談できる人・場所の有無

【就学前児童】

R5 調査では、「1.いる／ある」の割合が90.8%となっています。

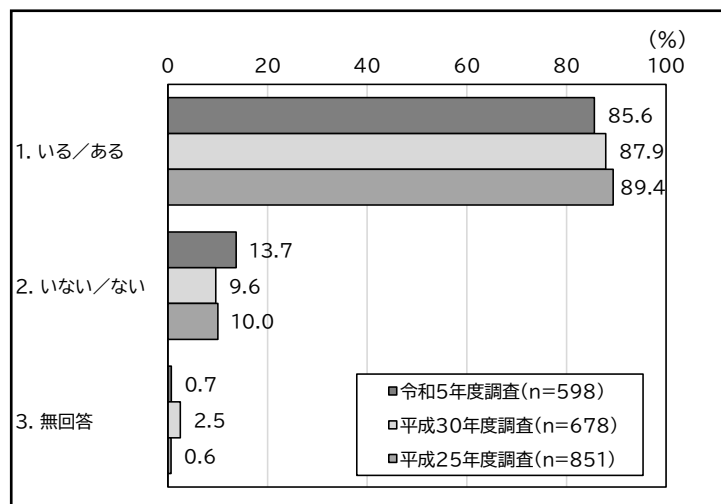
H30 調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【小学生】

R5 調査では、「1.いる／ある」の割合が85.6%となっています。

H30 調査と比較すると、大きな変化はみられません。

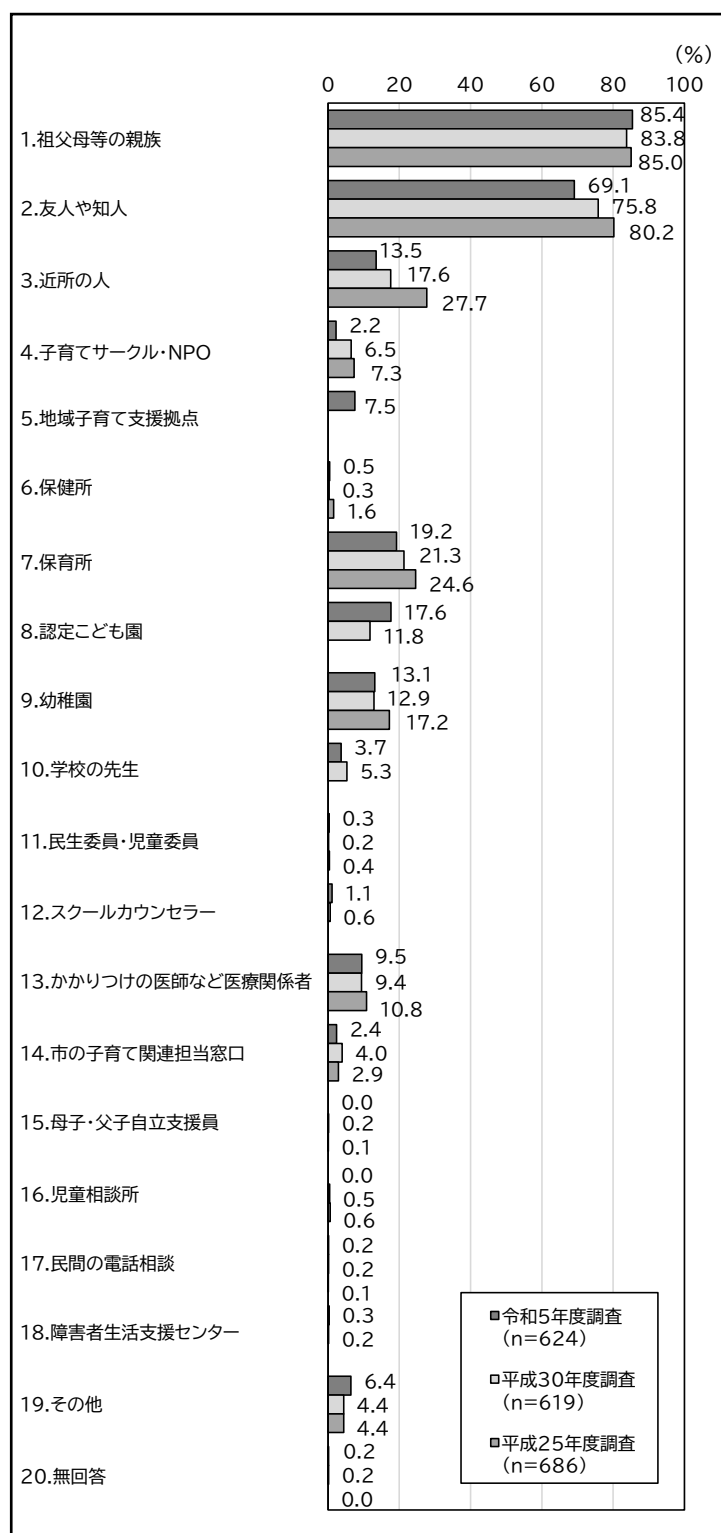


② 気軽に相談できる相手（複数回答）

【就学前児童】

R5調査では、「1.祖父母等の親族」の割合が85.4%と最も高く、次いで「2.友人や知人」の割合が69.1%、「7.保育所」の割合が19.2%となっています。

H30調査と比較すると、「1.祖父母等の親族」の割合が1.6ポイント増加する一方、「2.友人や知人」が6.7ポイント減少しています。

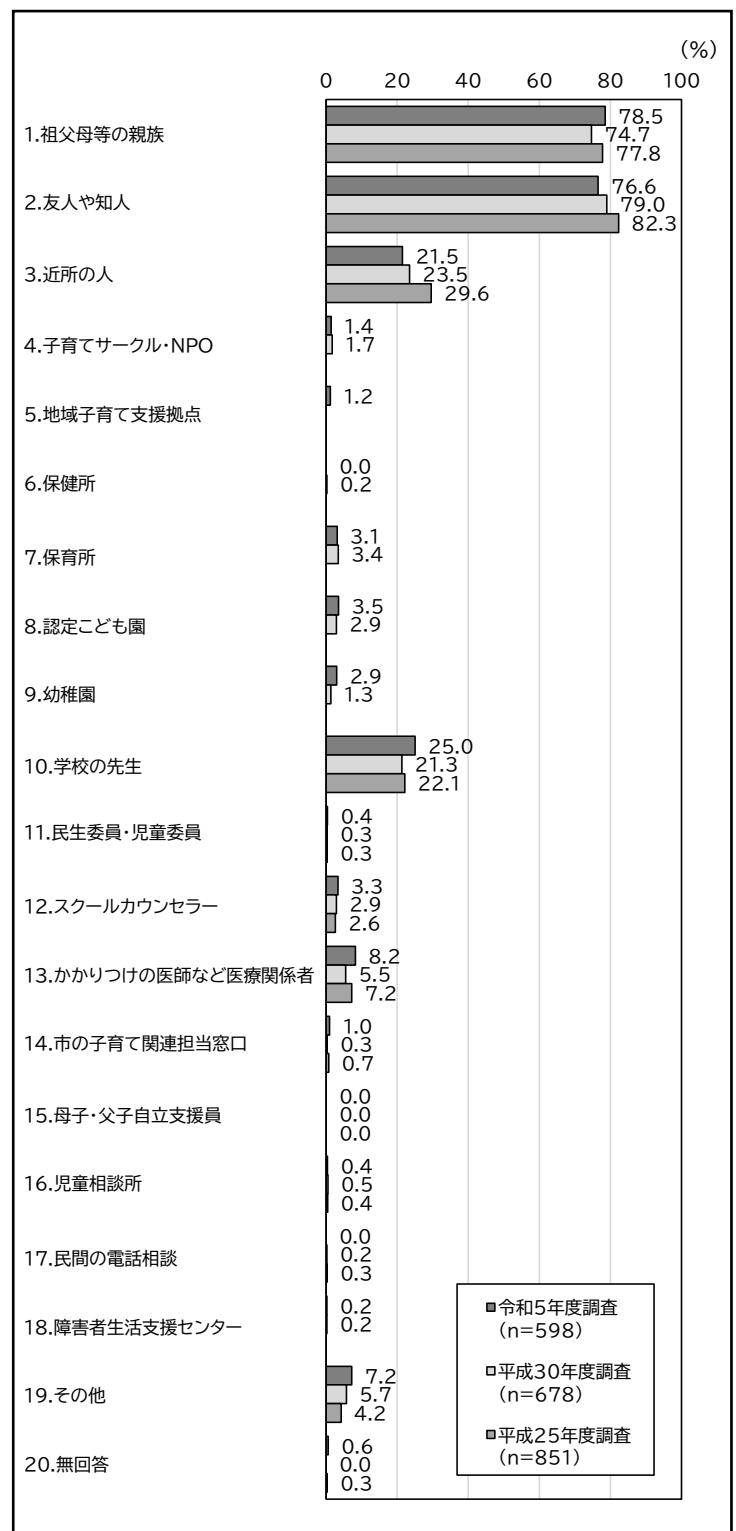


※H25調査には「5.地域子育て支援拠点」、「8.認定こども園」、「10.学校の先生」、「12.スクールカウンセラー」、「18.障害者生活支援センター」、H30調査には「5.地域子育て支援拠点」の選択肢はありませんでした。

【小学生】

R5調査では、「1.祖父母等の親族」の割合が78.5%と最も高く、次いで「2.友人や知人」の割合が76.6%、「10.学校の先生」の割合が25.0%となっています。

H30調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※H25調査には「5.地域子育て支援拠点」、「8.認定こども園」、「10.学校の先生」、「12.スクールカウンセラー」、「18.障害者生活支援センター」、H30調査には「5.地域子育て支援拠点」の選択肢はありませんでした。

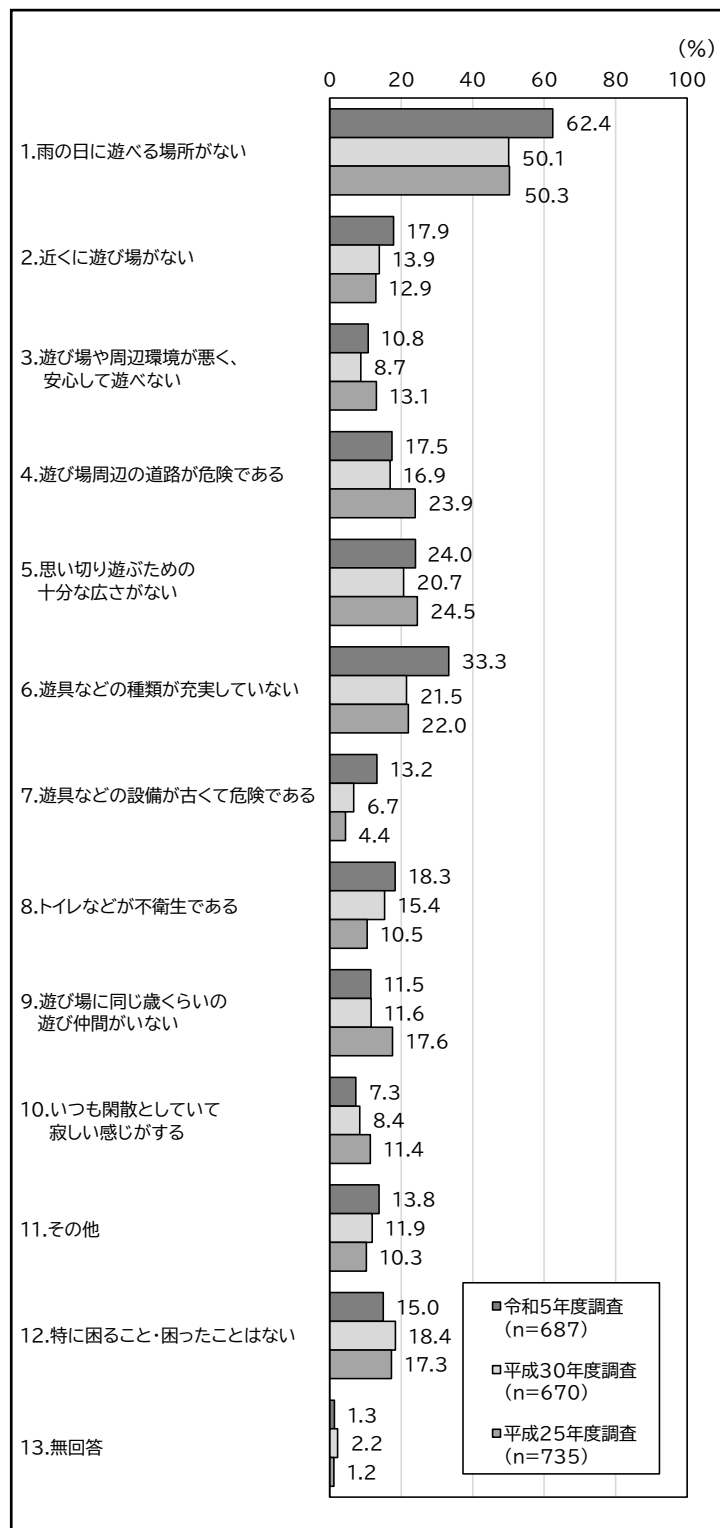
(12) 子育てしやすい環境について

① 子どもの遊び場で困ること・困ったこと（複数回答）

【就学前児童】

R5調査では、「1.雨の日に遊べる場所がない」の割合が62.4%と最も高く、次いで「6.遊具などの種類が充実していない」の割合が33.3%、「5.思い切り遊ぶための十分な広さがない」の割合が24.0%となっています。

H30調査と比較すると、「1.雨の日に遊べる場所がない」、「6.遊具などの種類が充実していない」の割合が、それぞれ12.3ポイント、11.8ポイント増加しています。

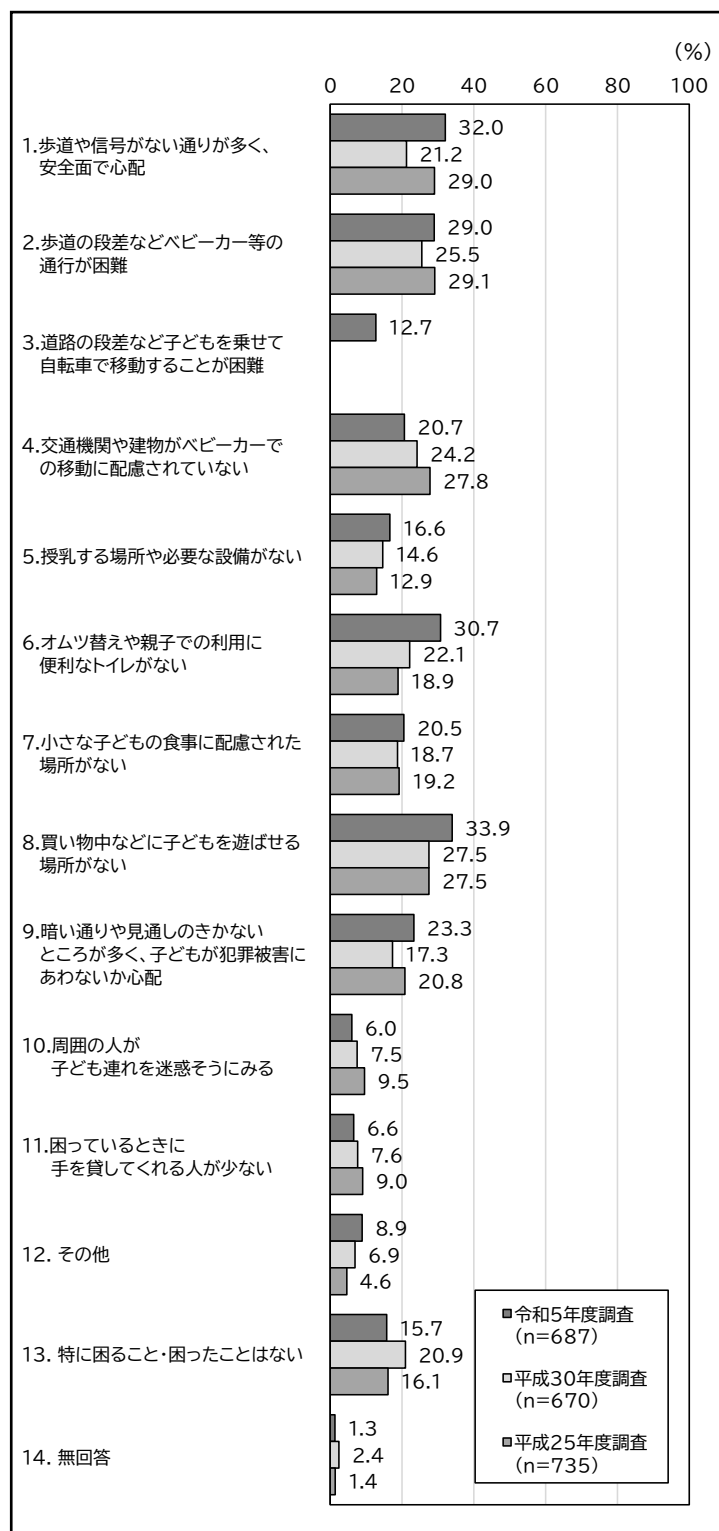


② 子どもと外出する際に、困ること・困ったこと（複数回答）

【就学前児童】

R5調査では、「8.買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」の割合が33.9%と最も高く、次いで「1.歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」の割合が32.0%、「6.オムツ替えや親子での利用に便利なトイレがない」の割合が30.7%となっています。

H30調査と比較すると、「1.歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」が10.8ポイント、「6.オムツ替えや親子での利用に便利なトイレがない」が8.6ポイントと大幅に増加しています。



※H25、H30調査には「3.道路の段差など子どもを乗せて自転車で移動することが困難」の選択肢はありませんでした。

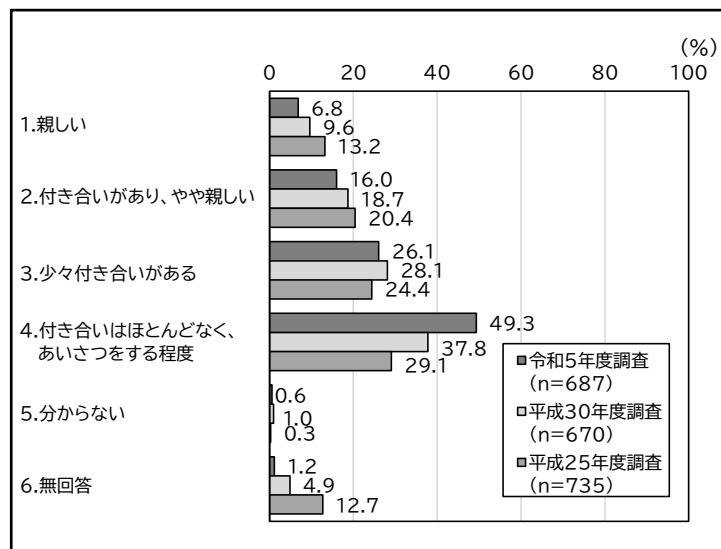
(13) 地域における交流などの状況について

① 近所や地域との付き合いの状況

【就学前児童】

R5調査では、「4.付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が49.3%と最も高く、次いで「3.少々付き合いがある」の割合が26.1%、「2.付き合いがあり、やや親しい」の割合が16.0%となっています。

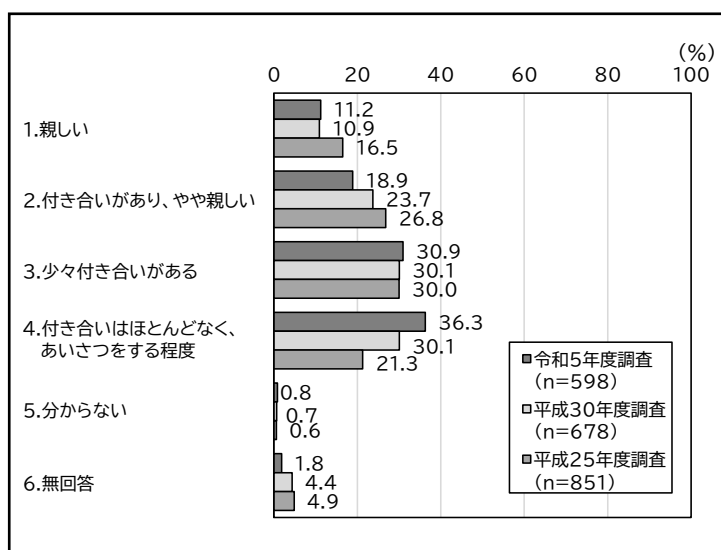
H30調査と比較すると、「4.付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が11.5ポイント増加しています。



【小学生】

R5調査では、「4.付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が36.3%と最も高く、次いで「3.少々付き合いがある」の割合が30.9%、「2.付き合いがあり、やや親しい」の割合が18.9%となっています。

H30調査と比較すると、「4.付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が6.2ポイント増加しています。

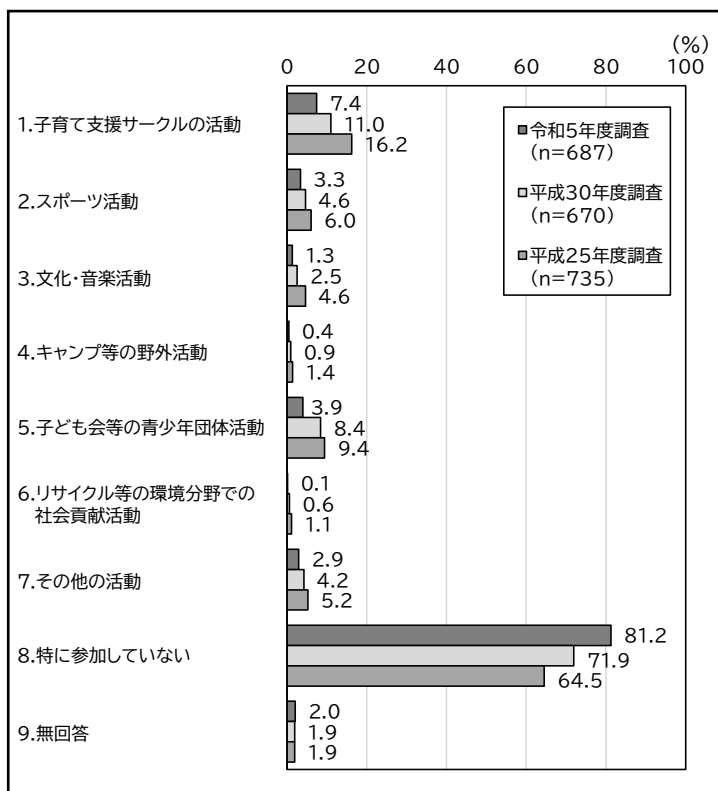


② 子どもの地域での催しへの参加状況（複数回答）

【就学前児童】

R5 調査では、「8.特に参加していない」の割合が 81.2%と最も高く、次いで「1.子育て支援サークルの活動」の割合が 7.4%、「5. 子ども会等の青少年団体活動」の割合が 3.9%となっています。

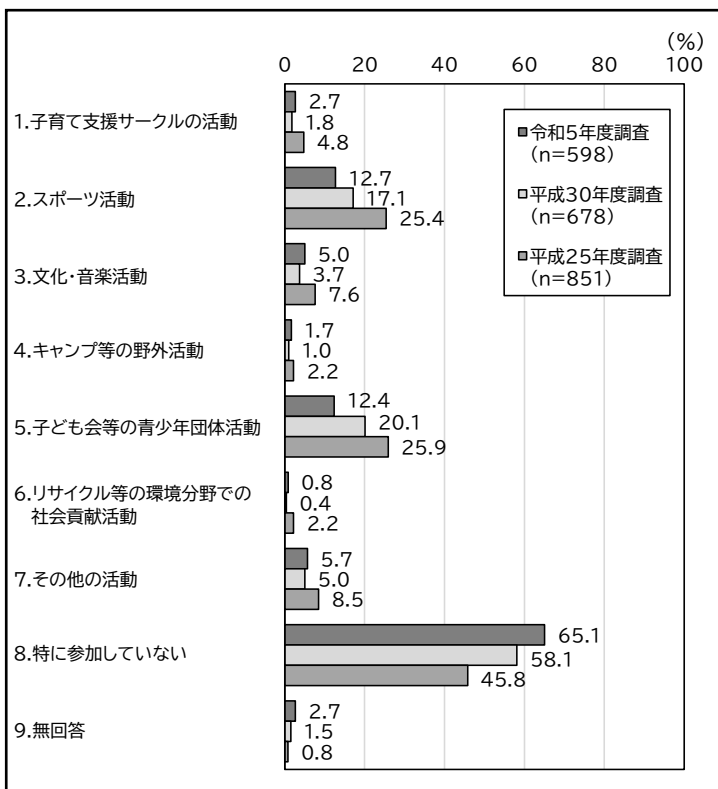
H30 調査と比較すると、「8.特に参加していない」の割合が 9.3 ポイント増加しています。



【小学生】

R5 調査では、「8.特に参加していない」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「2.スポーツ活動」の割合が 12.7%、「5.子ども会等の青少年団体活動」の割合が 12.4%となっています。

H30 調査と比較すると、「8.特に参加していない」の割合が 7.0 ポイント増加し、「5.子ども会等の青少年団体活動」が 7.7 ポイント減少しています。



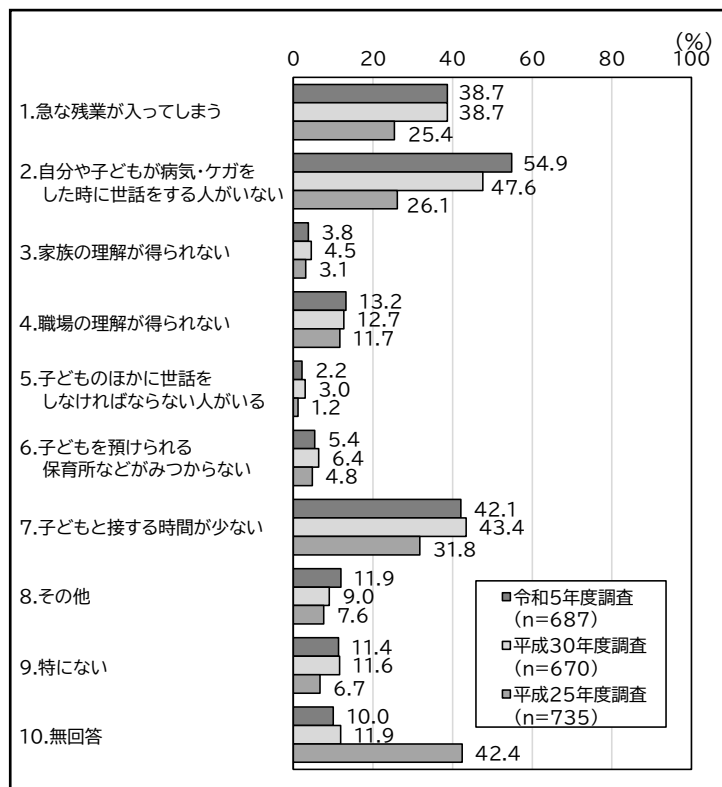
(14) 仕事と子育ての両立について

① 仕事と子育ての両立で大変だと感じていること（複数回答）

【就学前児童】

R5調査では、「2.自分や子どもが病気・ケガをした時に世話をする人がいない」の割合が54.9%と最も高く、次いで「7.子どもと接する時間が少ない」の割合が42.1%、「1.急な残業が入ってしまう」の割合が38.7%となっています。

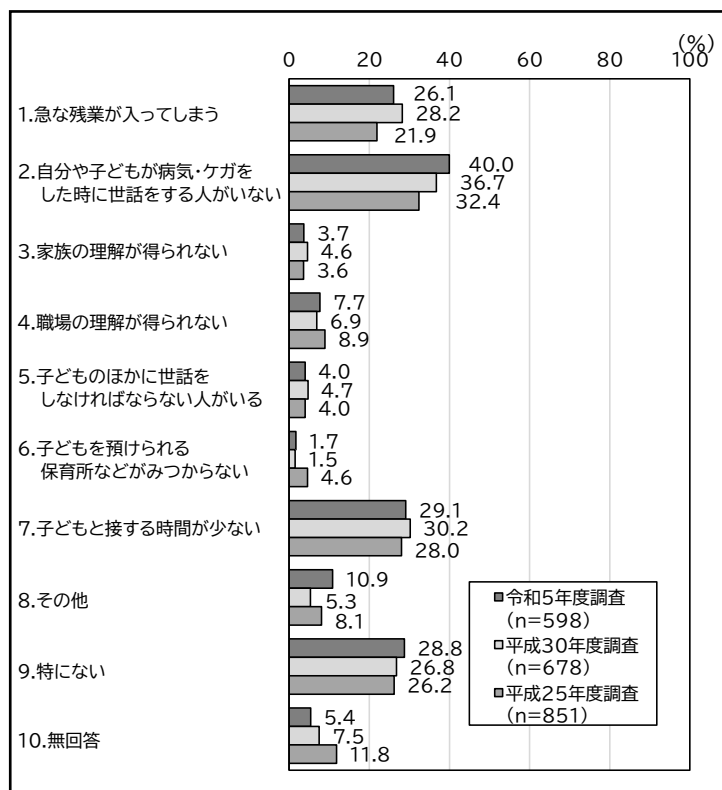
H30調査と比較すると、「2.自分や子どもが病気・ケガをした時に世話をする人がいない」の割合が、7.3ポイント増加しています。



【小学生】

R5調査では、「2.自分や子どもが病気・ケガをした時に世話をする人がいない」の割合が40.0%と最も高く、次いで「7.子どもと接する時間が少ない」の割合が29.1%、「9.特にな

H30調査と比較すると、大きな変化はみられません。

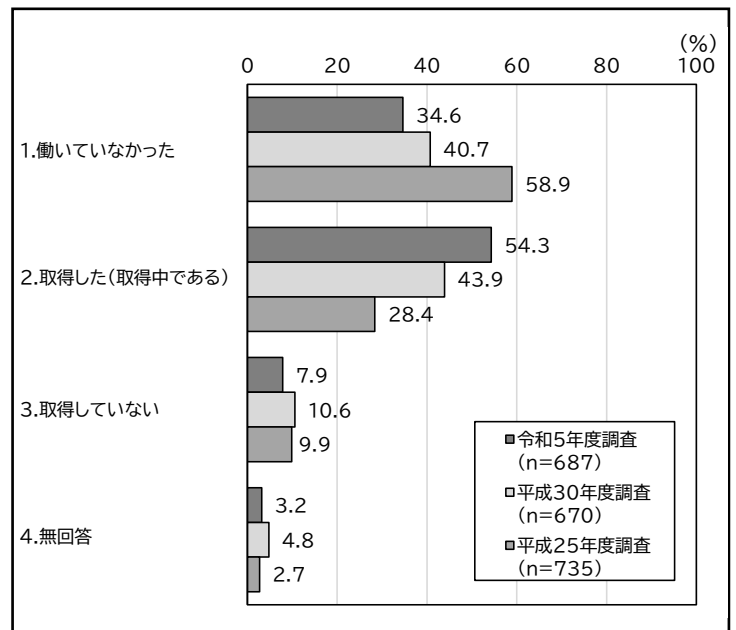


② 母親の育児休業の取得状況

【就学前児童】

R5 調査では、「2.取得した（取得中である）」の割合が54.3%と最も高く、次いで「1.働いていなかった」の割合が34.6%、「3.取得していない」の割合が7.9%となっています。

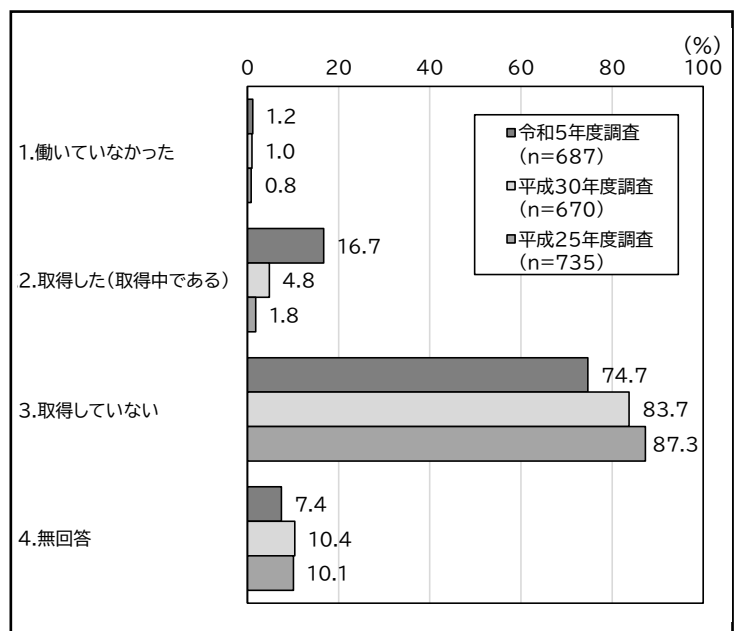
H30 調査と比較すると、「2.取得した（取得中である）」の割合が10.4ポイント増加し、「1.働いていなかった」の割合が6.1ポイント減少しています。



③ 父親の育児休業の取得状況

【就学前児童】

R5 調査では、「3.取得していない」の割合が74.7%と最も高くなっています。



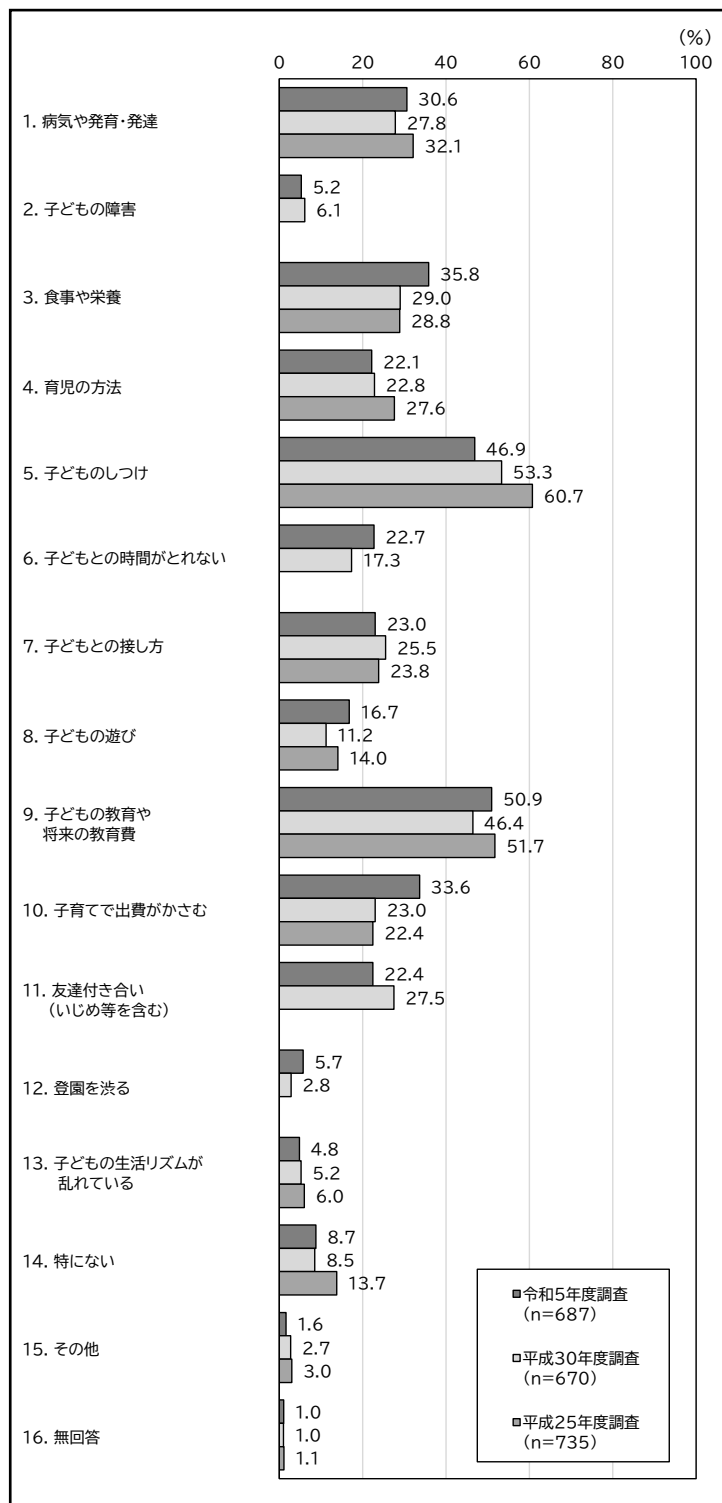
(15) 子育てに関して、日頃悩んでいること、不安に感じることにについて

① 子どものことで日頃悩んでいること、不安に感じること（複数回答）

【就学前児童】

R5調査では、「9.子どもの教育や将来の教育費」の割合が50.9%と最も高く、次いで「5.子どものしつけ」の割合が46.9%、「3.食事や栄養」の割合が35.8%となっています。

H30調査と比較すると、「10.子育てで出費がかさむ」の割合が、10.6ポイントと、大きく増加しています。

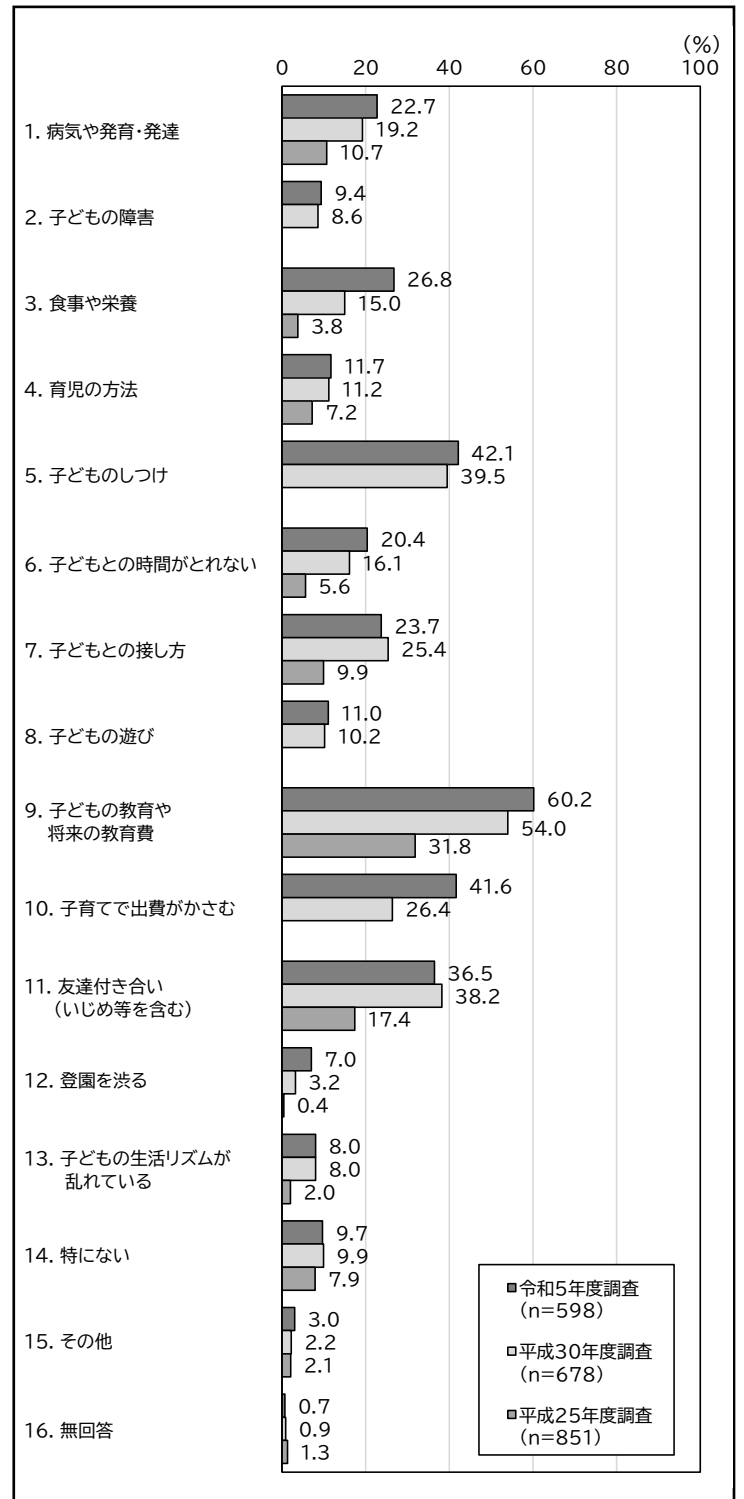


※H25調査には「2.子どもの障害」、「6.子どもとの時間がとれない」、「11.友達付き合い (いじめ等を含む)」、「12.登園を渋る」の選択肢はありませんでした。

【小学生】

R5調査では、「9.子どもの教育や将来の教育費」の割合が60.2%と最も高く、次いで「5.子どものしつけ」の割合が42.1%、「10.子育てで出費がかさむ」の割合が41.6%となっています。

H30調査と比較すると、「10.子育てで出費がかさむ」、「3.食事や栄養」の割合が、それぞれ15.2ポイント、11.8ポイントと大きく増加しています。



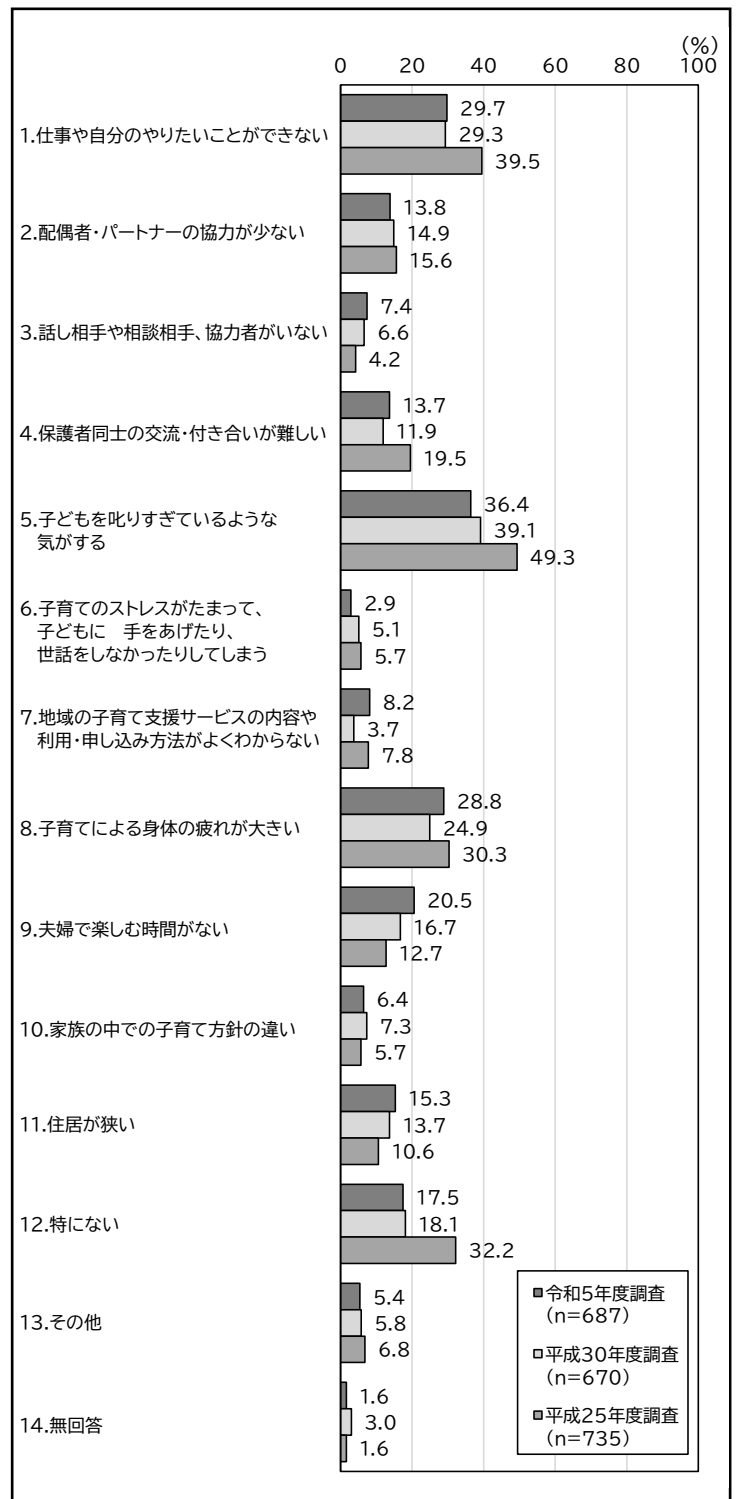
※H25調査には「2.子どもの障害」、「5.子どものしつけ」、「8.子どもの遊び」、「10.子育てで出費がかさむ」の選択肢はありませんでした。

② 保護者が日頃悩んでいること、不安に感じること（複数回答）

【就学前児童】

R5 調査では、「5.子どもを叱りすぎているような気がする」の割合が36.4%と最も高く、次いで「1.仕事や自分のやりたいことができない」の割合が29.7%、「8.子育てによる身体の疲れが大きい」の割合が28.8%となっています。

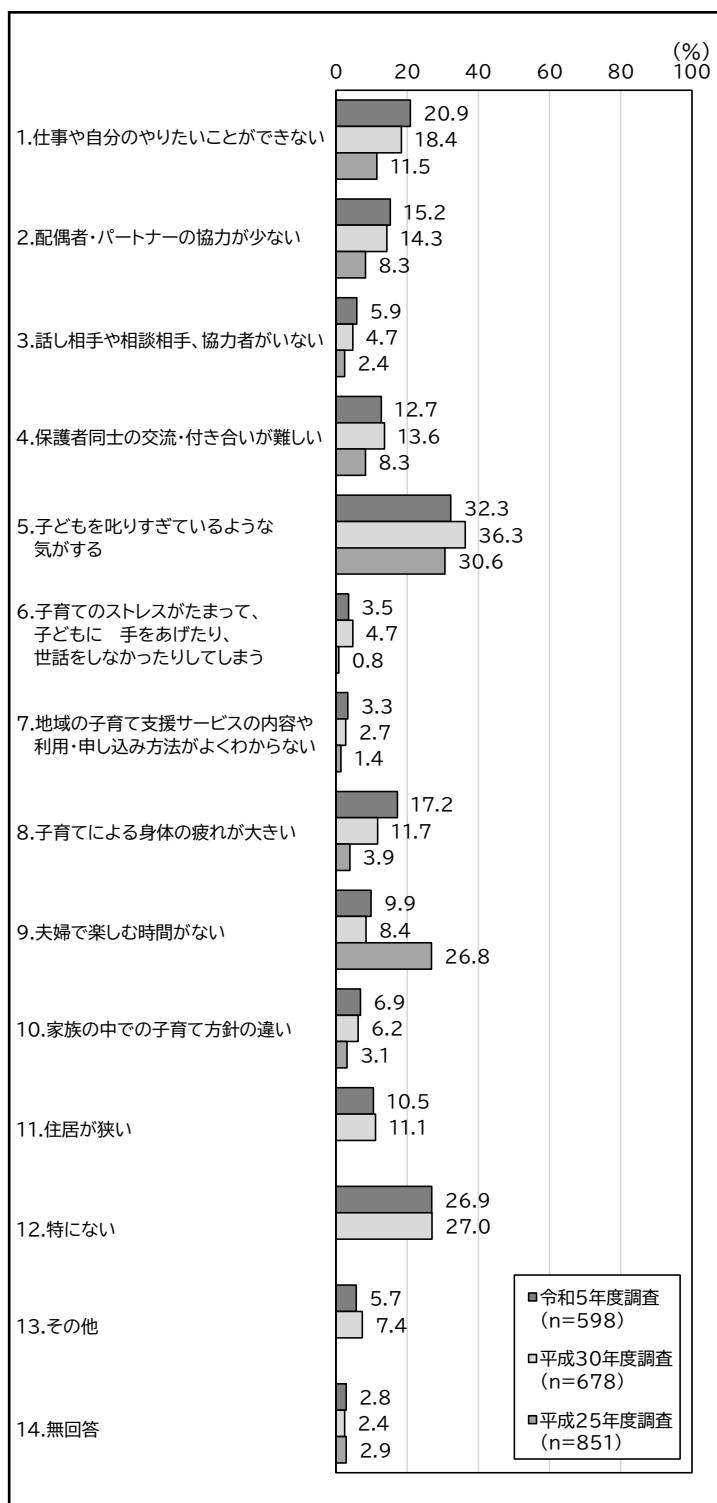
H30 調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【小学生】

R5調査では、「5.子どもを叱りすぎているような気がする」の割合が32.3%と最も高く、次いで「12.特にない」の割合が26.9%、「1.仕事や自分のやりたいことができない」の割合が20.9%となっています。

H30調査と比較すると、「8.子育てによる身体の疲れが大きい」の割合が、5.5ポイント増加しています。



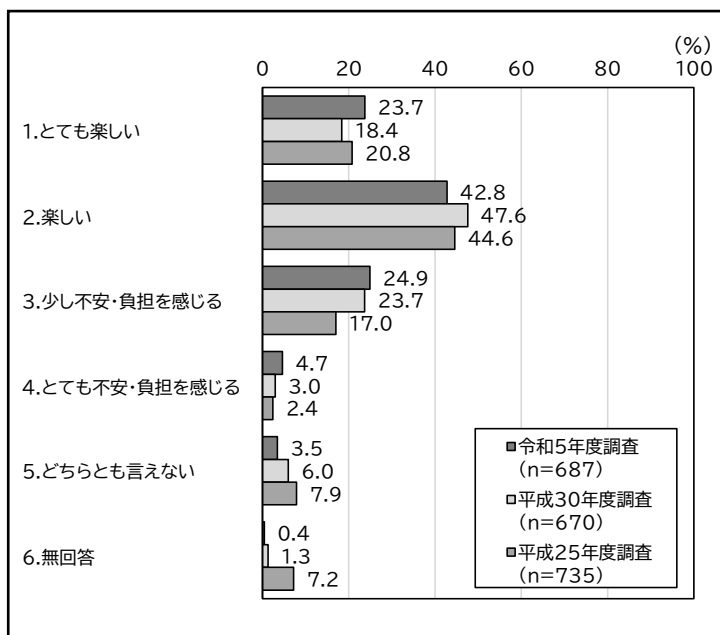
※H25調査には「11.住居が狭い」、「12.特にない」、「13.その他」の選択肢はありませんでした。

(16) 子育てについての気持ち

【就学前児童】

R5調査では、「2.楽しい」の割合が42.8%と高く、次いで「3.少し不安・負担を感じる」の割合が24.9%、「1.とても楽しい」の割合が23.7%となっています。

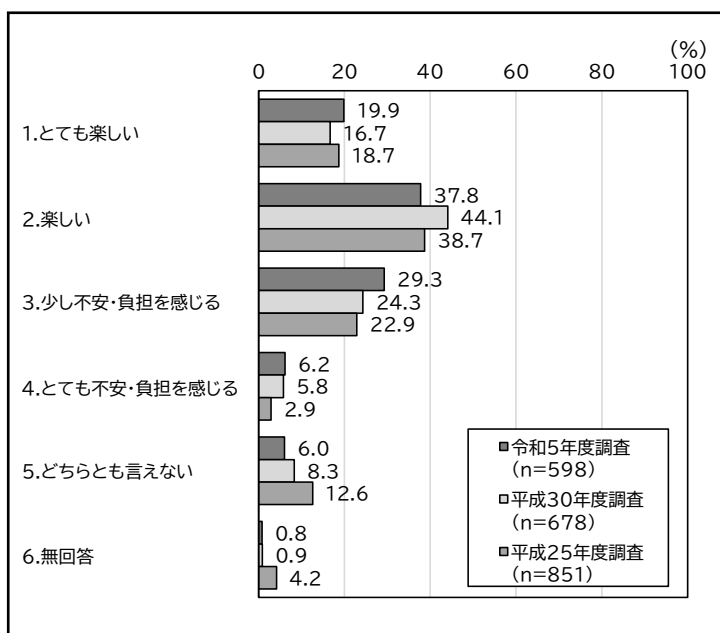
H30調査と比較すると、「1.とても楽しい」の割合が5.3ポイント増加しています。



【小学生】

R5調査では、「2.楽しい」の割合が37.8%と高く、次いで「3.少し不安・負担を感じる」の割合が29.3%、「1.とても楽しい」の割合が19.9%となっています。

H30調査と比較すると、「2.楽しい」の割合が6.3ポイント減少し、「3.少し不安・負担を感じる」の割合が5.0ポイント増加しています。

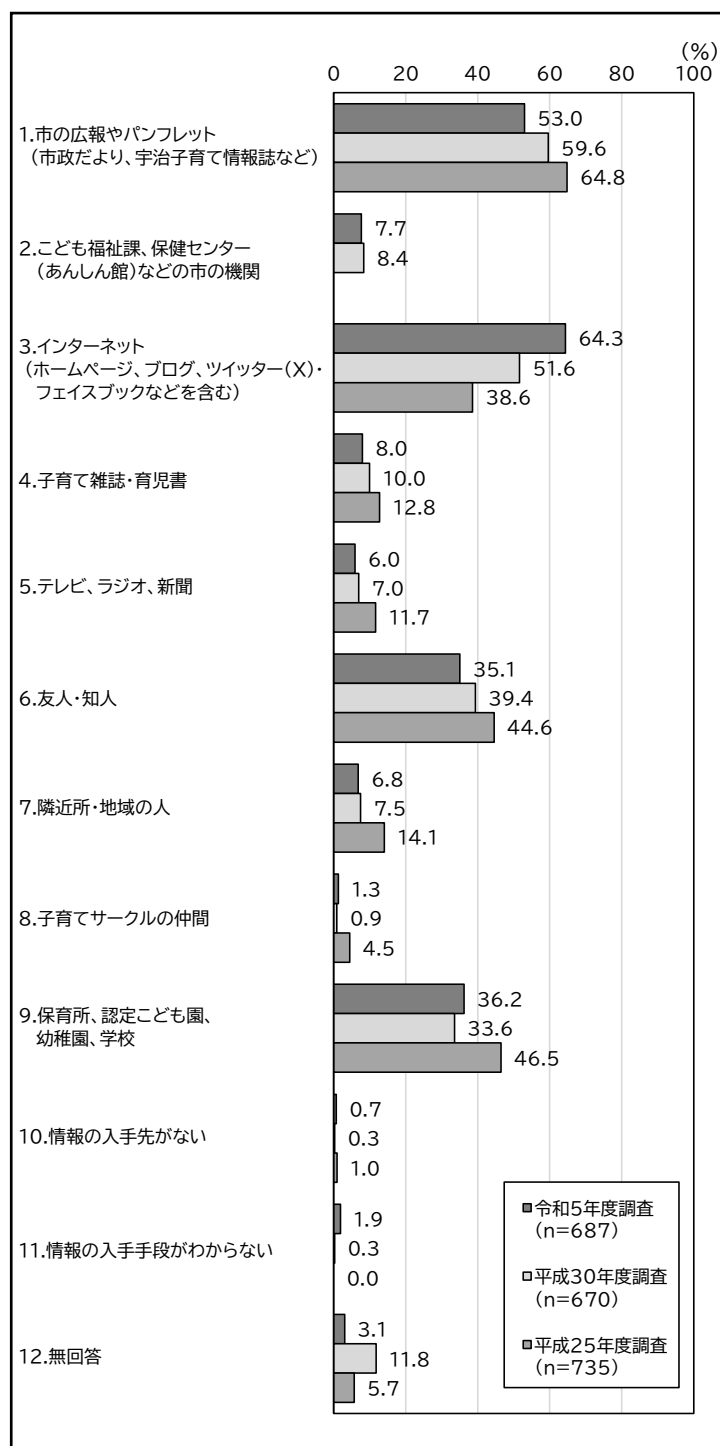


(17) 子育てに必要な施策などの情報の入手方法（複数回答）

【就学前児童】

R5調査では、「3.インターネット（ホームページ、ブログ、ツイッター（X）・フェイスブックなどを含む）」の割合が64.3%と最も高く、次いで「1.市の広報やパンフレット（市政だより、宇治子育て情報誌など）」の割合が53.0%、「9.保育所、認定こども園、幼稚園、学校」の割合が36.2%となっています。

H30調査と比較すると、「3.インターネット（ホームページ、ブログ、ツイッター（X）・フェイスブックなどを含む）」の割合が、12.7ポイント増加し、「1.市の広報やパンフレット（市政だより、宇治子育て情報誌など）」の割合が、6.6ポイント減少しています。

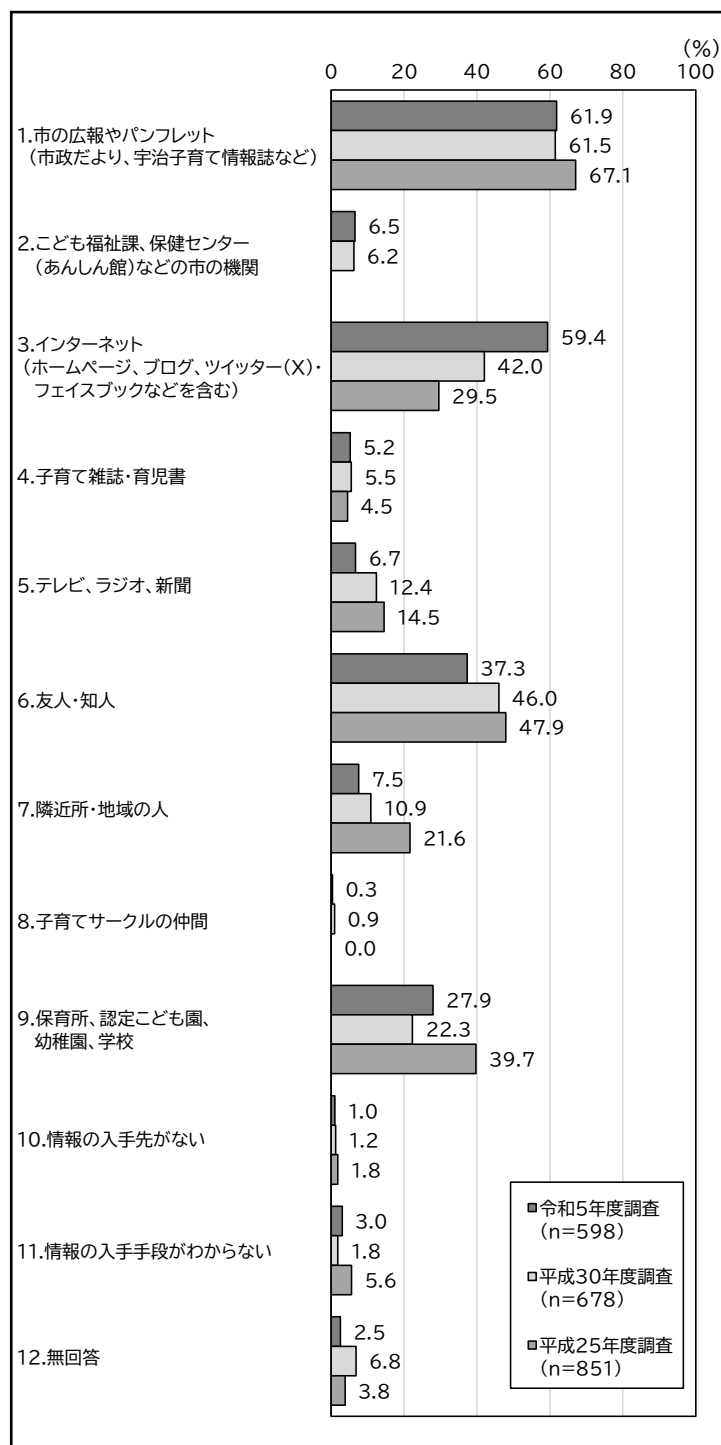


※H25調査には「2.こども福祉課、保健センター（あんしん館）などの市の機関」の選択肢はありませんでした。

【小学生】

R5調査では、「1.市の広報やパンフレット（市政だより、宇治子育て情報誌など）」の割合が61.9%と最も高く、次いで「3.インターネット（ホームページ、ブログ、ツイッター（X）・フェイスブックなどを含む）」の割合が59.4%、「6.友人・知人」の割合が37.3%となっています。

H30調査と比較すると、「3.インターネット（ホームページ、ブログ、ツイッター（X）・フェイスブックなどを含む）」、「9.保育所、認定こども園、幼稚園、学校」、の割合が、それぞれ17.4ポイント、5.6ポイント増加し、「6.友人・知人」の割合が、8.7ポイント減少しています。



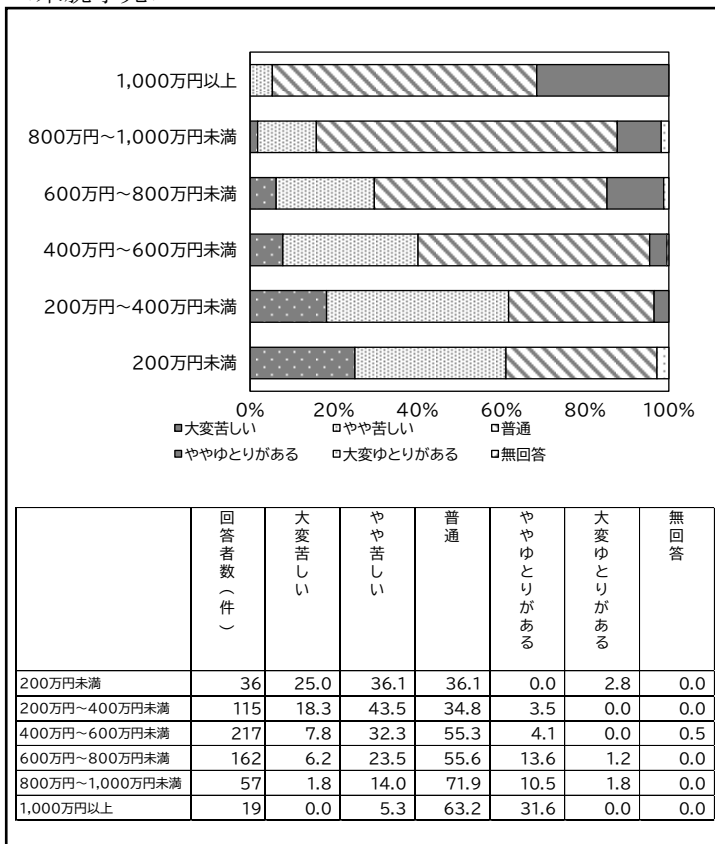
※H25調査には「2.こども福祉課、保健センター（あんしん館）などの市の機関」の選択肢はありませんでした。

(18) 世帯の生活状況について

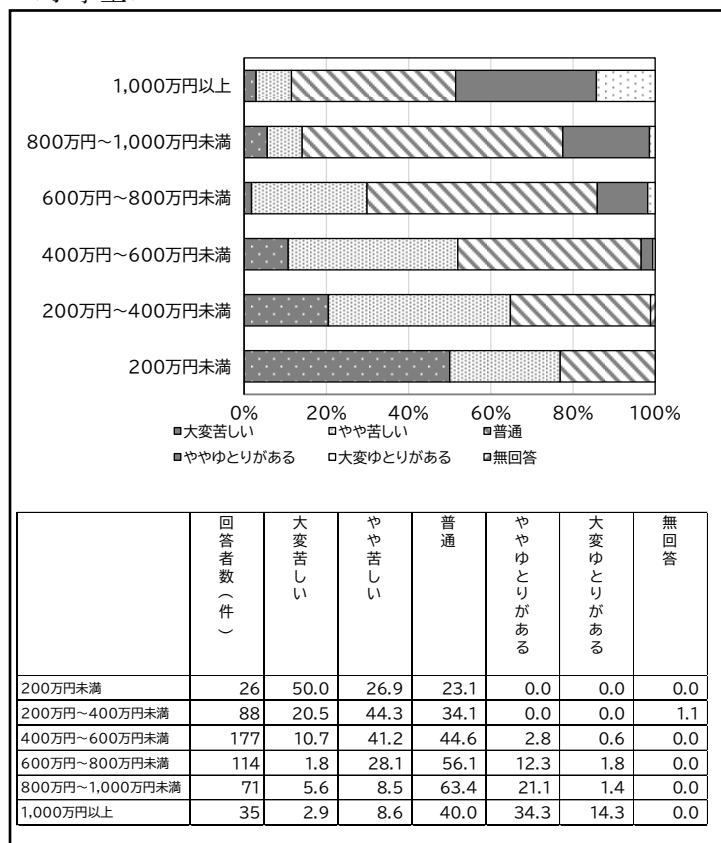
①現在の暮らしに関する認識

- 現在の暮らしに関する認識について、未就学児、小学生、中高生等のいずれも世帯収入が低くなるにつれ、「大変苦しい」「やや苦しい」の割合が高くなる傾向があります。
- 「世帯収入 200 万円未満の世帯」の現在の暮らしに関する認識については、小学生、中高生等については「大変苦しい」の割合が最も高く、未就学児の割合とは異なる結果となっており、就学するにあたり、大きく傾向が変わることが確認できます。

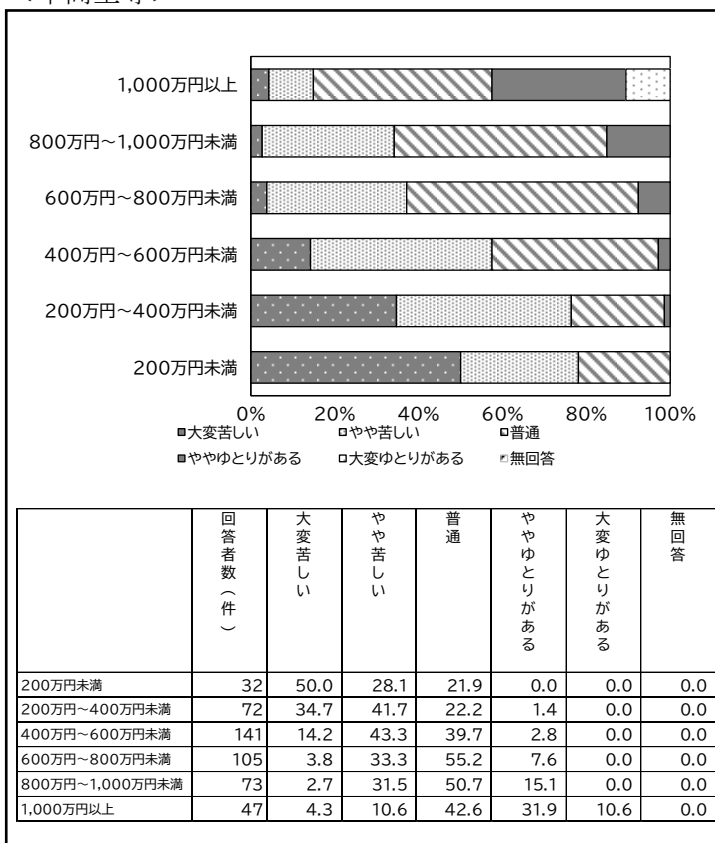
<未就学児>



<小学生>



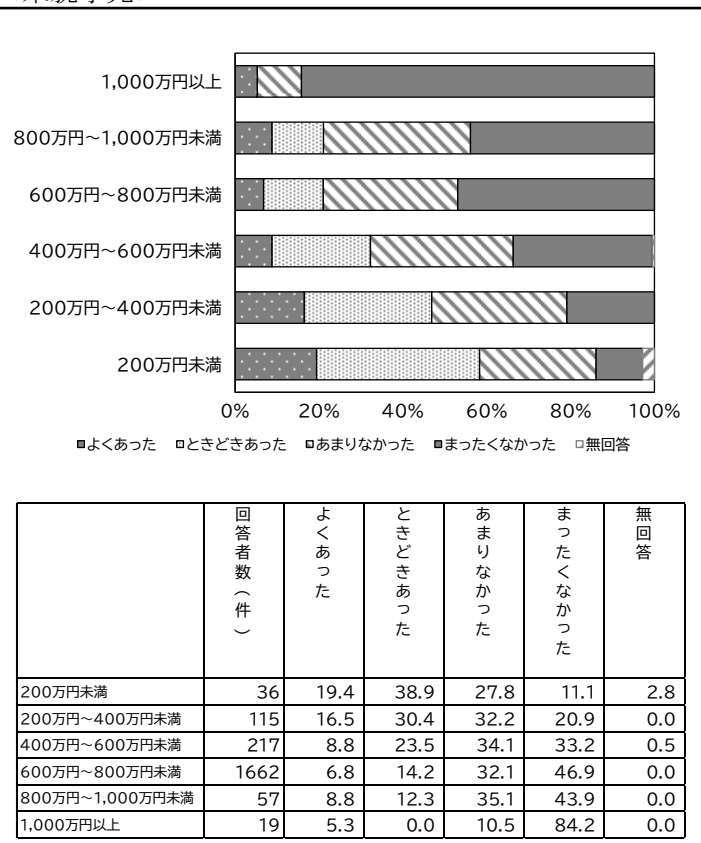
<中高生等>



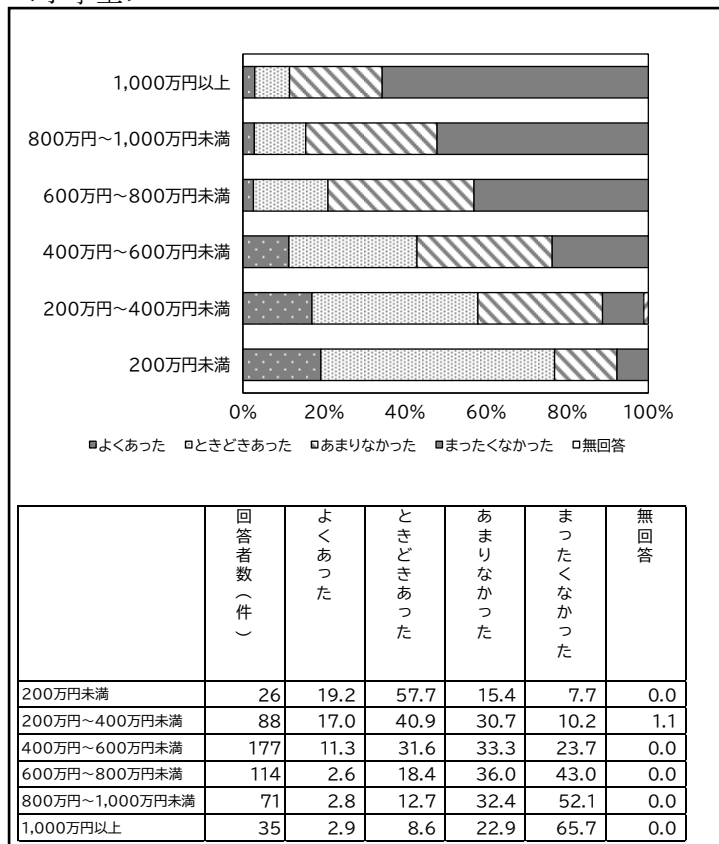
②家計の状況

- 過去1年間に急な出費などで家計のやりくりができなかった状況について、全体で未就学児、小学生、中高生等のいずれも「世帯収入200万円未満」で「ときどきあった」の占める割合が高くなっています。

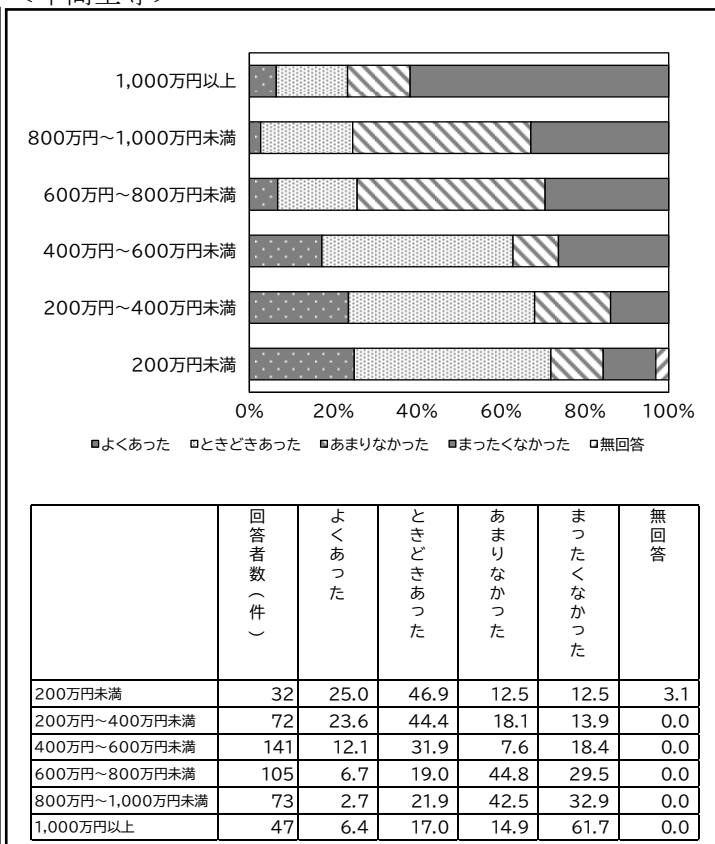
＜未就学児＞



＜小学生＞



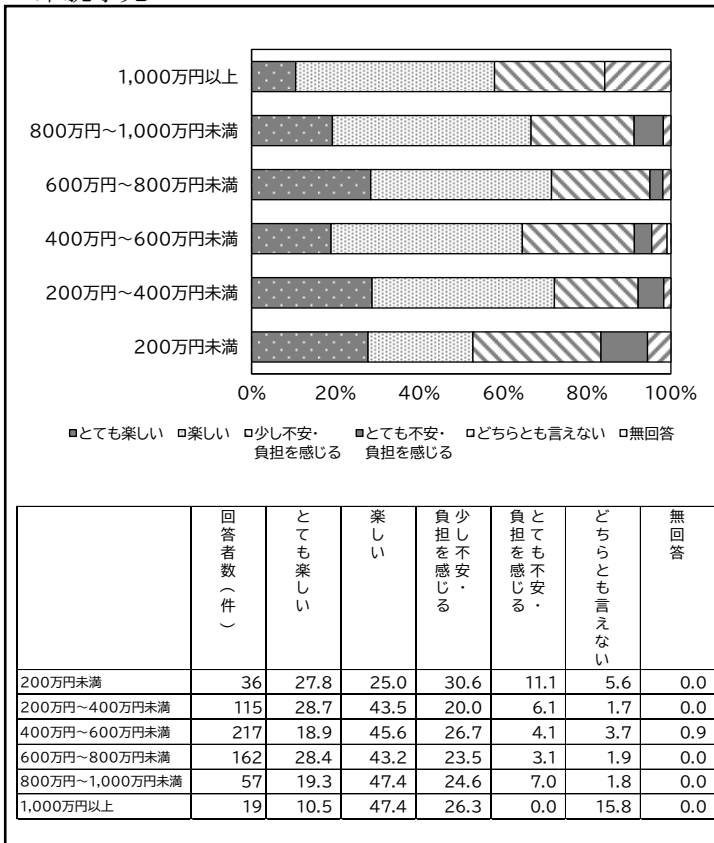
＜中高生等＞



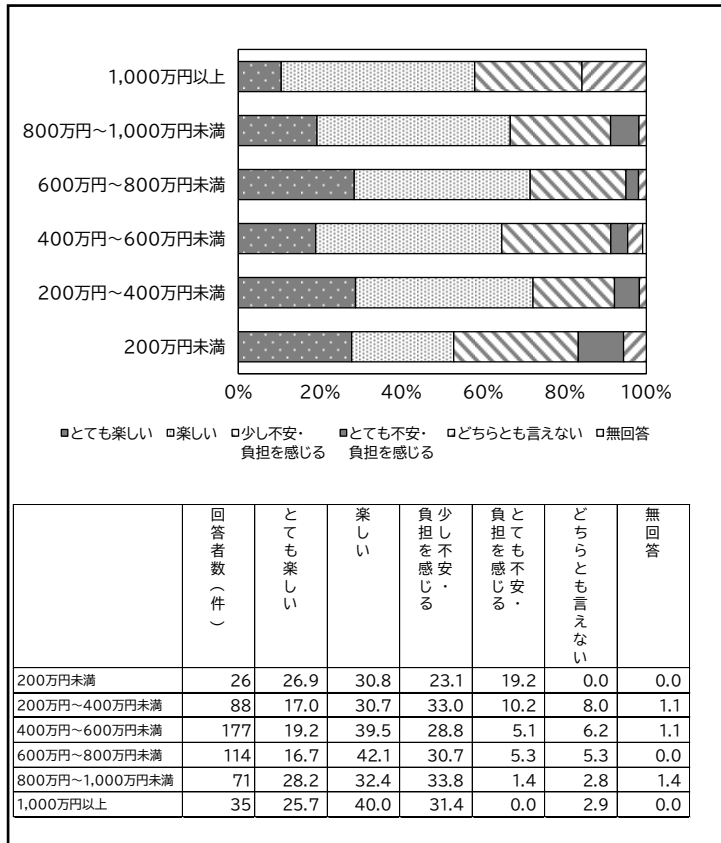
③子育てについての気持ち

・子育てについての気持ちについて、
未就学児、小学生では世帯収入によって「とても楽しい」「楽しい」の割合に顕著な違いは見られませんが、中高生等では「世帯収入200万円～400万円未満の世帯」「世帯収入200万円未満の世帯」で「楽しい」の割合が大きく減少し、「とても不安・負担を感じる」の割合が増加しています。

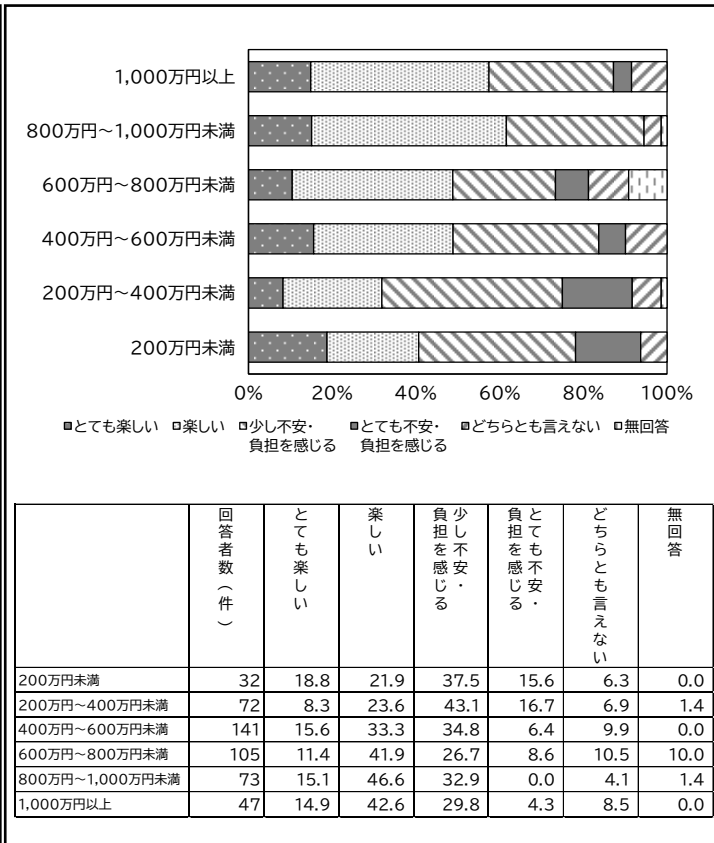
<未就学児>



<小学生>



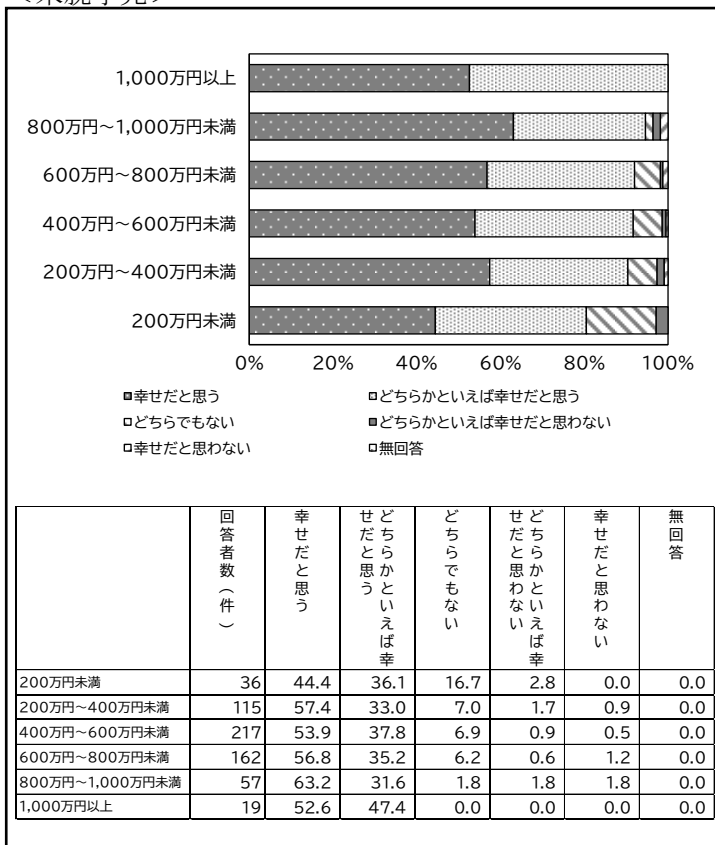
<中高生等>



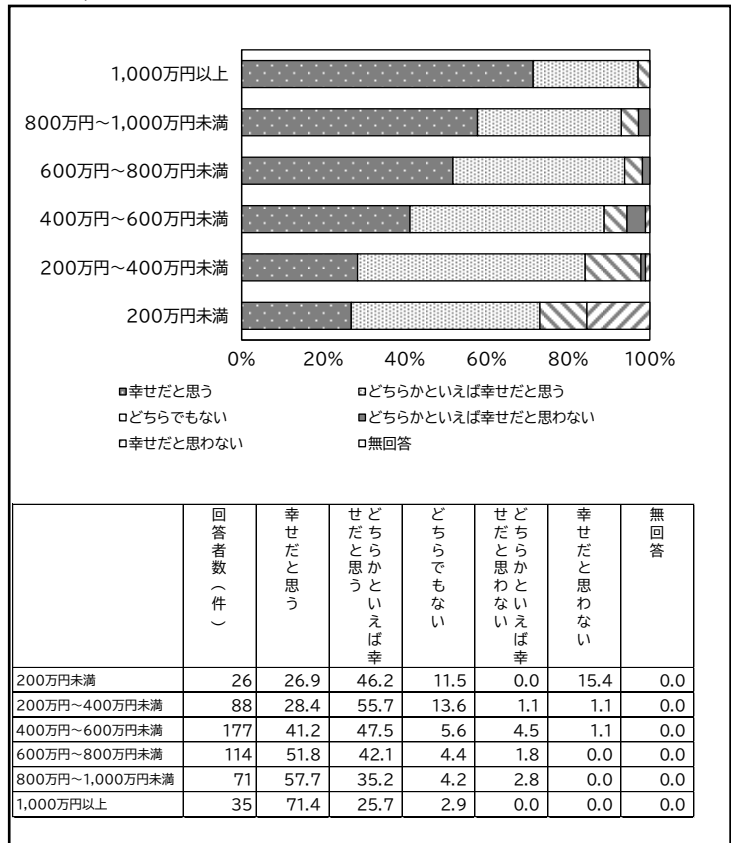
④保護者の幸福感

- 保護者の幸福感について、全体では未就学児、小学生、中高生等の全てで「幸せだと思う」「どちらかといえば幸せだと思う」の割合が最も高くなっています。

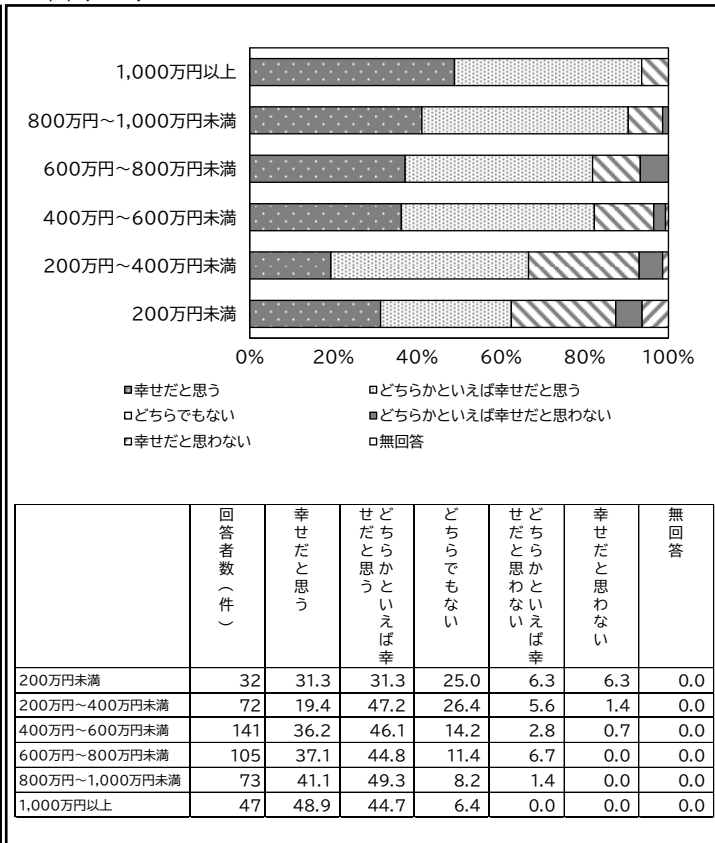
<未就学児>



<小学生>



<中高生等>

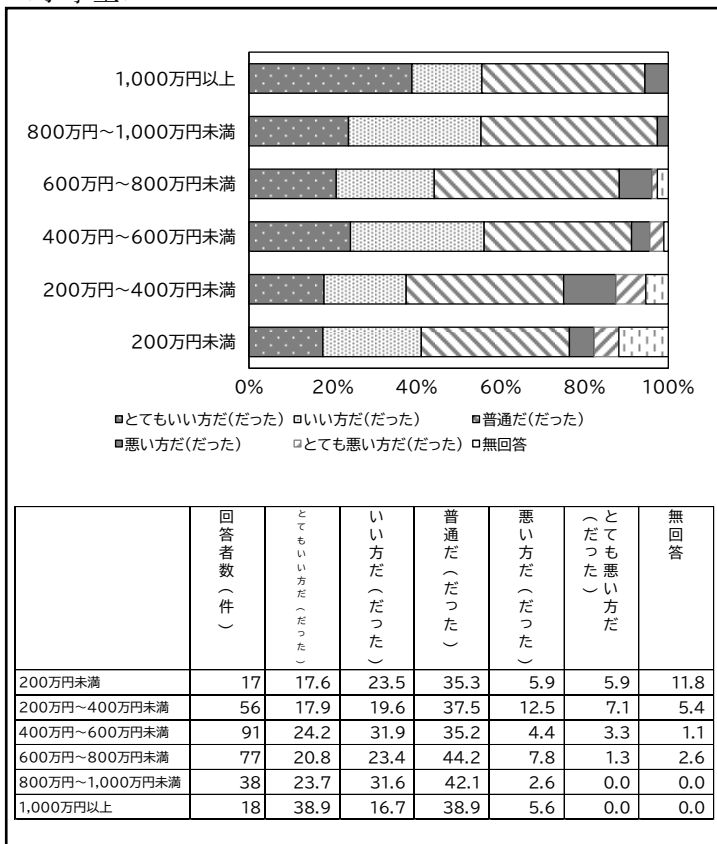


(19) 子どもの状況について

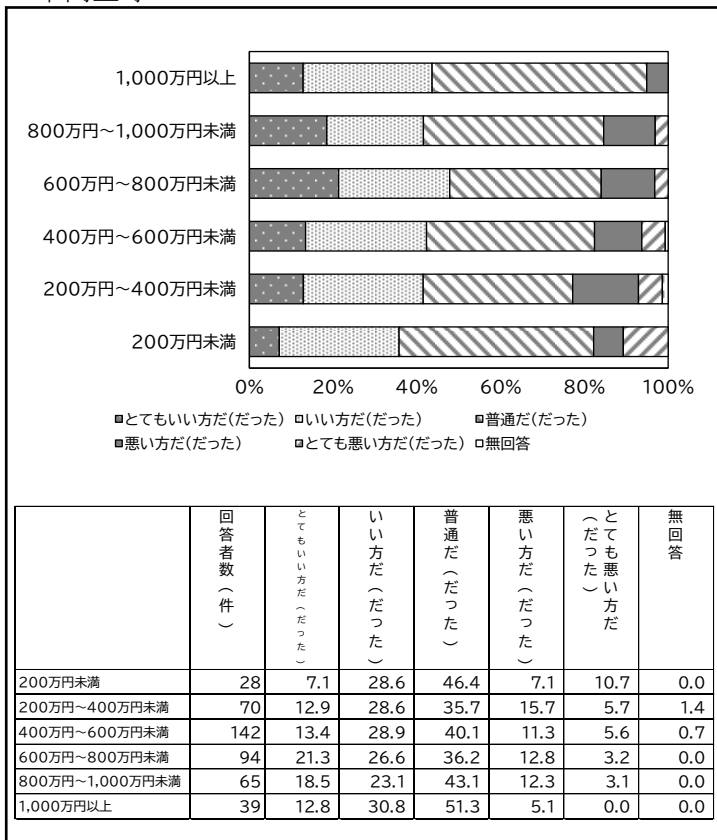
①学校での勉強の成績

- 学校での勉強の成績について、全体で小学生、中高生等のいずれも「普通」の割合が高い傾向となっています。
- 小学生の「世帯収入 1,000 万円以上の世帯」で「とてもいい方だ(だった)」が特に割合が高くなっていますが、中高生等では異なる傾向となっています。

<小学生>



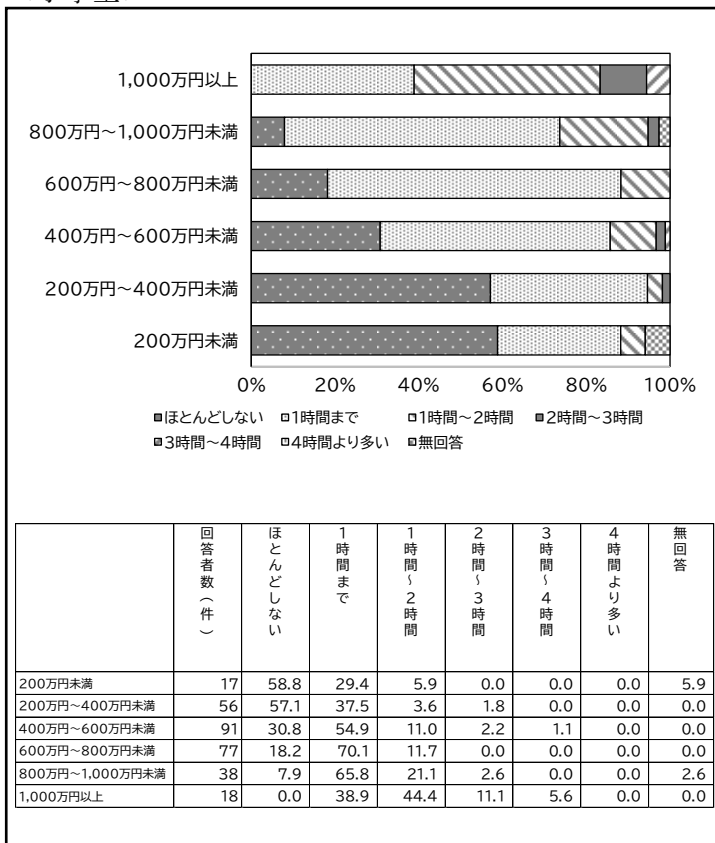
<中高生等>



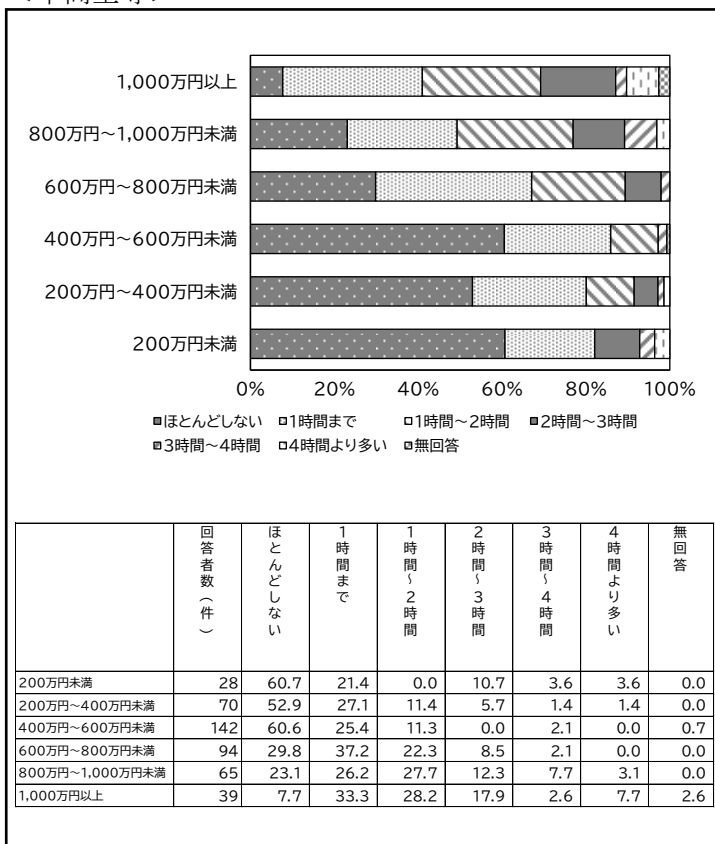
②家での勉強時間

- 家での勉強時間の状況について、小学生では「世帯収入 200 万円～400 万円未満の世帯」からそれ以下の世帯について、「ほとんどしない」の割合が特に高くなっています。
- 中高生等では「世帯収入が400 万円～600 万円未満の世帯」からそれ以下の世帯について、「ほとんどしない」の割合が特に高くなっています。
- 「世帯収入 400 万円～600 万円未満」からそれ以上の世帯について、小学生と比較し、中高生等は「ほとんどしない」が占める割合が高い傾向にあります。

<小学生>



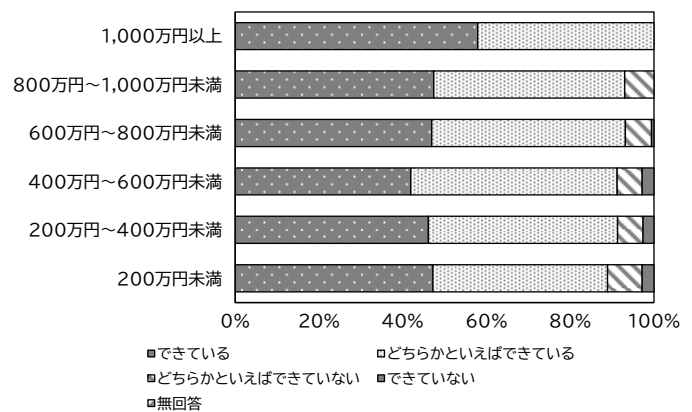
<中高生等>



③規則正しい生活のリズム

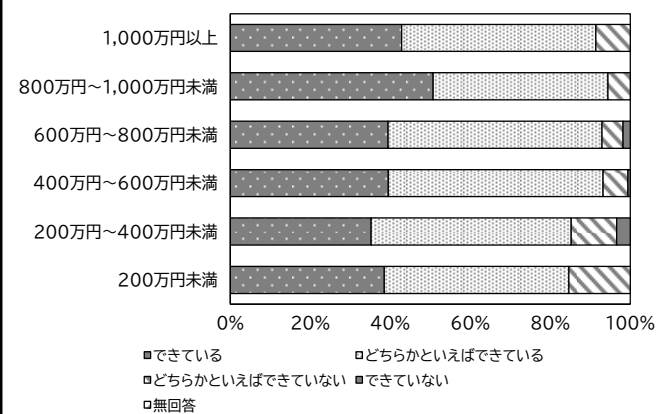
- ・規則正しい生活のリズムについて、
未就学児、小学生では「できている」「どちらかといえばできている」の割合がいずれも80%以上を占めているのに対し、中高生等は「どちらかといえばできていない」「できていない」の割合が高くなる傾向にあります。

<未就学児>



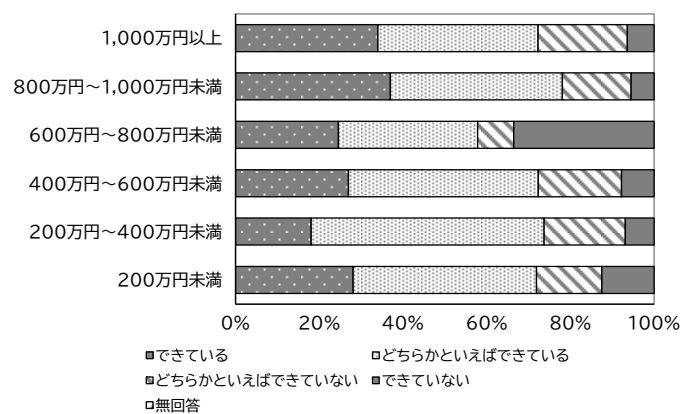
	回答者数（件）	できている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	できていない	無回答
200万円未満	36	47.2	41.7	8.3	2.8	0.0
200万円～400万円未満	115	46.1	45.2	6.1	2.6	0.0
400万円～600万円未満	217	41.9	49.3	6.0	2.8	0.0
600万円～800万円未満	162	46.9	46.3	6.2	0.6	0.0
800万円～1,000万円未満	57	47.4	45.6	7.0	0.0	0.0
1,000万円以上	19	57.9	42.1	0.0	0.0	0.0

<小学生>



	回答者数（件）	できている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	できていない	無回答
200万円未満	26	38.5	46.2	15.4	0.0	0.0
200万円～400万円未満	88	35.2	50.0	11.4	3.4	0.0
400万円～600万円未満	177	39.5	53.7	6.2	0.6	0.0
600万円～800万円未満	114	39.5	53.5	5.3	1.8	0.0
800万円～1,000万円未満	71	50.7	43.7	5.6	0.0	0.0
1,000万円以上	35	42.9	48.6	8.6	0.0	0.0

<中高生等>

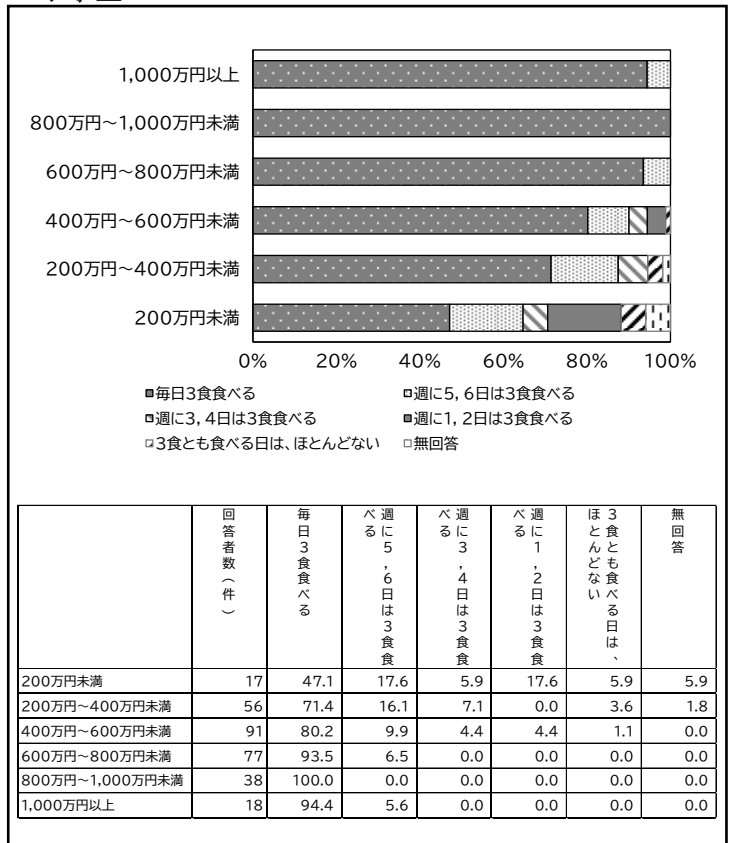


	回答者数（件）	できている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	できていない	無回答
200万円未満	32	28.1	43.8	15.6	12.5	0.0
200万円～400万円未満	72	18.1	55.6	19.4	6.9	0.0
400万円～600万円未満	141	27.0	45.4	19.9	7.8	0.0
600万円～800万円未満	105	35.2	47.6	12.4	48.0	0.0
800万円～1,000万円未満	73	37.0	41.1	16.4	5.5	0.0
1,000万円以上	47	34.0	38.3	21.3	6.4	0.0

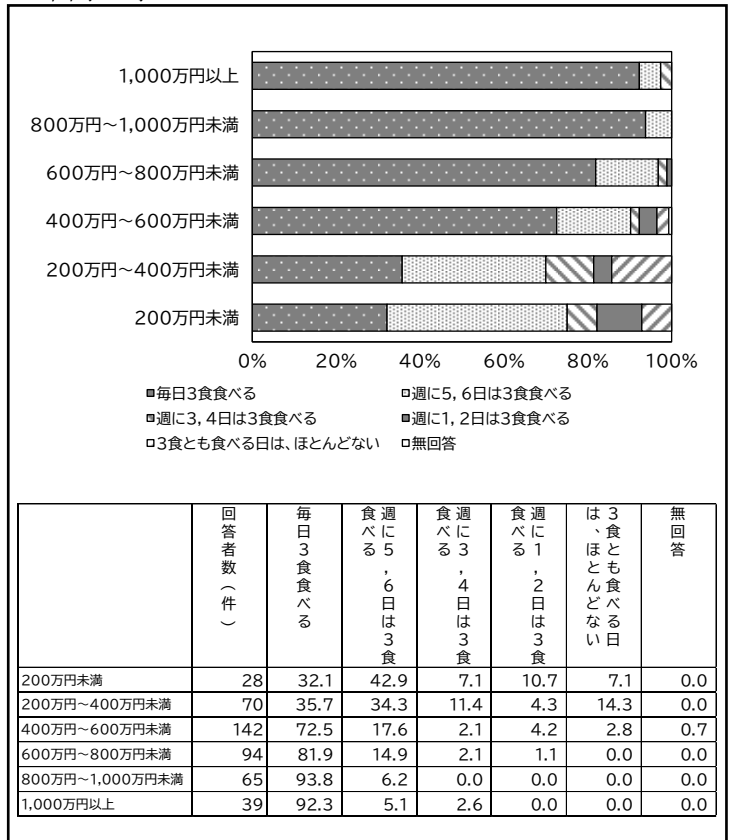
④子どもの食事の状況（３食の状況）

・朝・昼・晩の３食の状況について、小学生では「世帯収入 200 万円未満の世帯」について、「毎日３食食べる」の割合が 50%未満となっています。中高生等では「世帯収入 200 万円～400 万円未満の世帯」からそれ以下の世帯について、「毎日３食食べる」の割合が 40%未満となっており、顕著な傾向が出ています。

<小学生>



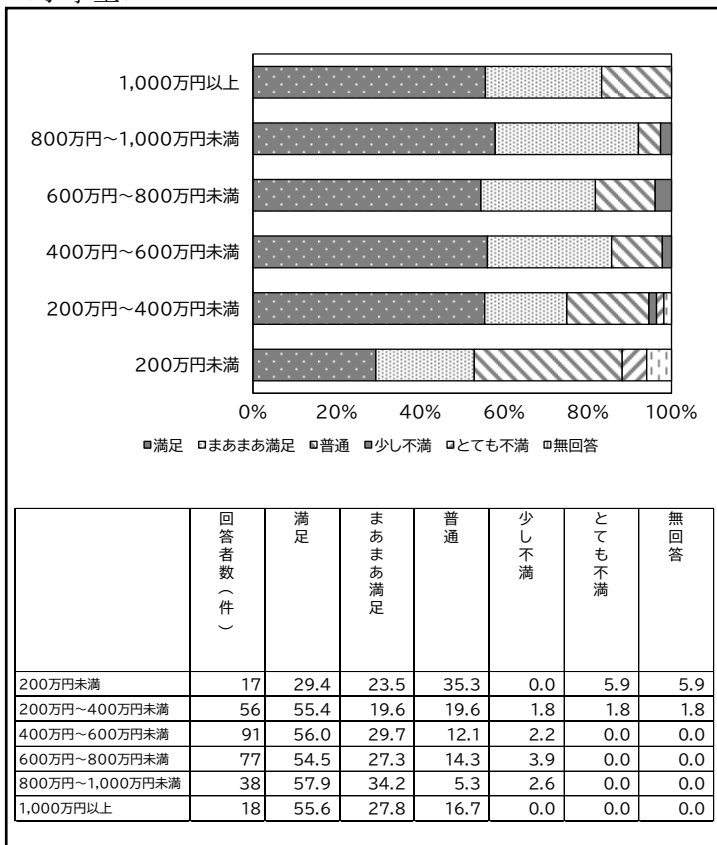
<中高生等>



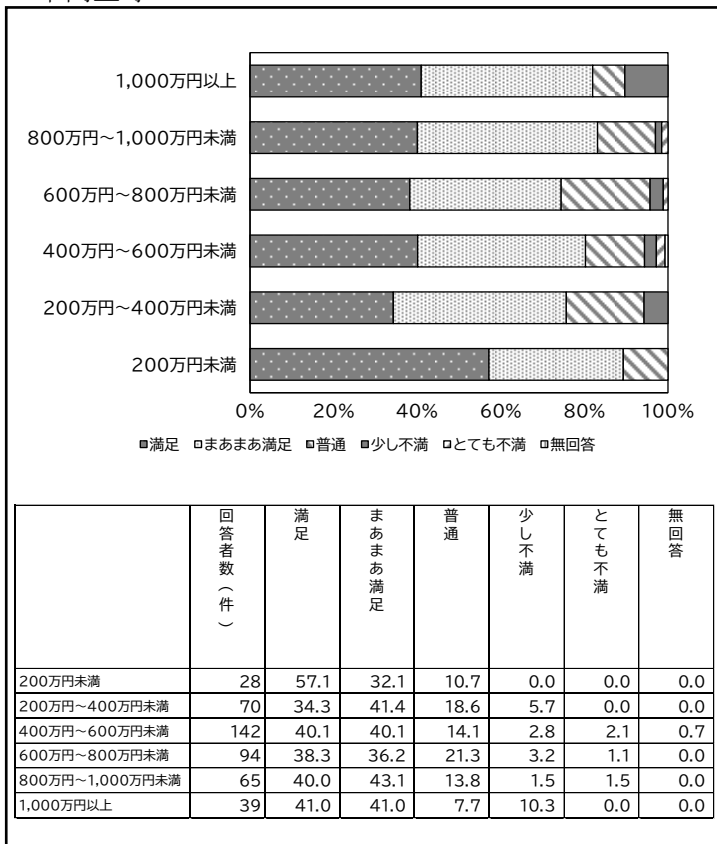
⑤生活の満足度

- 生活の満足度について、全体では小学生、中高生等とも「満足」「まあまあ満足」の割合が50%を超えています。
- 小学生では「世帯収入200万円未満の世帯」で「満足」の割合が特に低くなっていますが、中高生等では、「世帯収入200万円未満の世帯」で「満足」の割合が最も高くなっています。

<小学生>



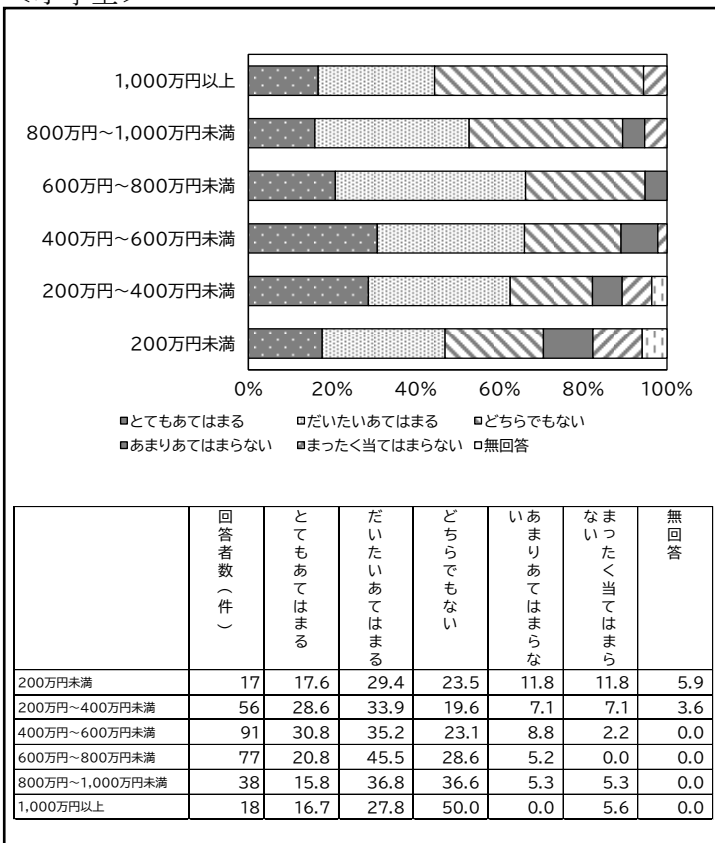
<中高生等>



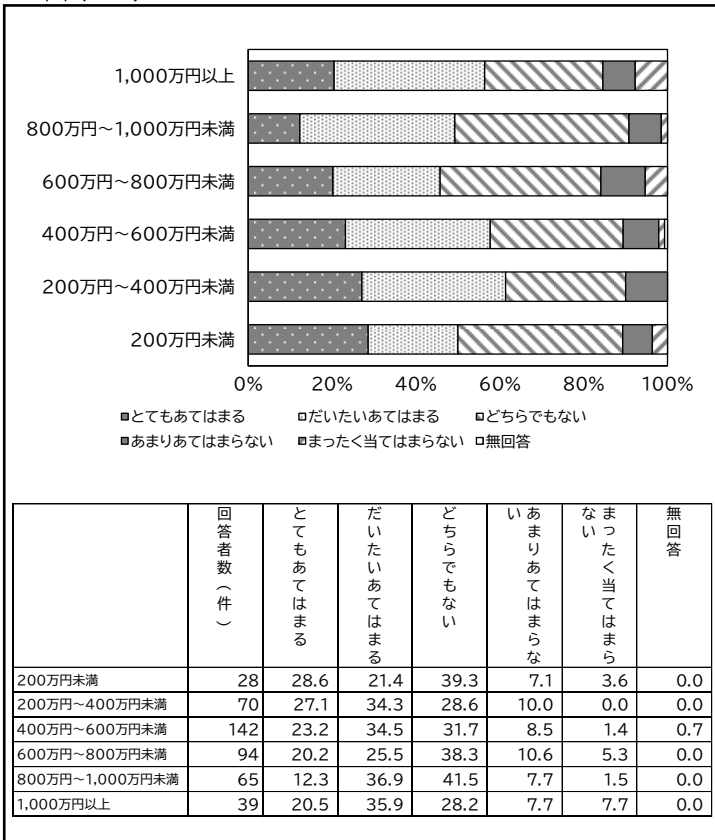
⑥子どもの自己肯定感

- ・「自己肯定感(自分のことが好き)」
の設問では、世帯収入によって顕
著な傾向は見られません。

<小学生>

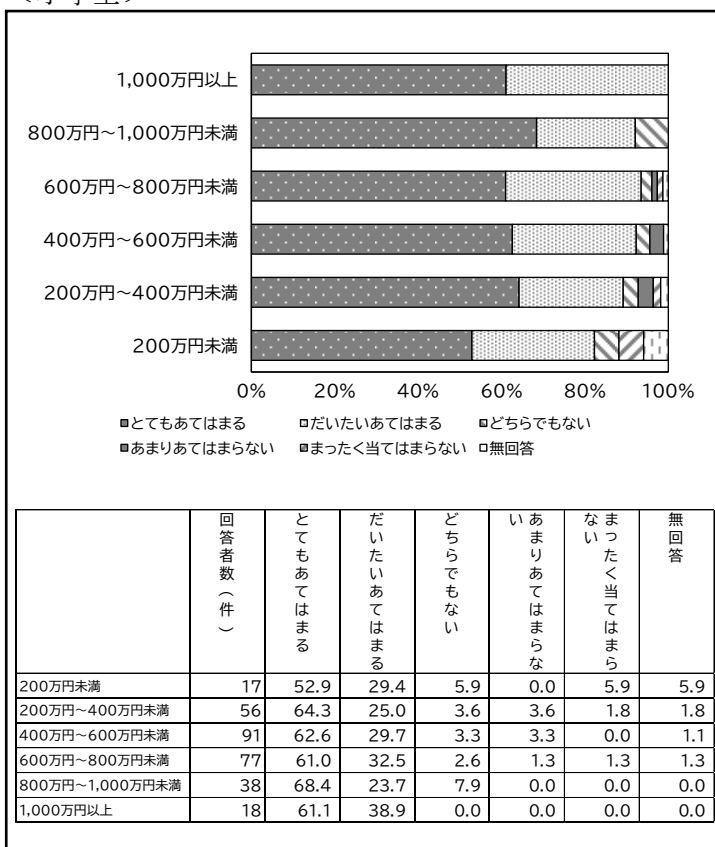


<中高生等>

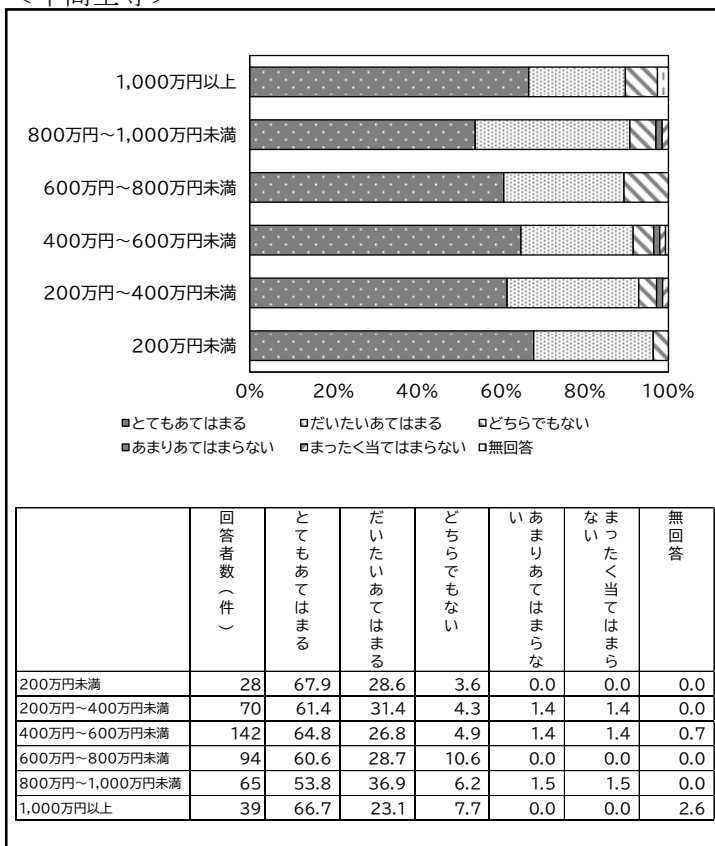


- ・「自分は親に大切にされていると感じる」の設問では、全体では小学生、中高生等とも「とてもあてはまる」「だいたいあてはまる」の割合が80%を超えています。

<小学生>



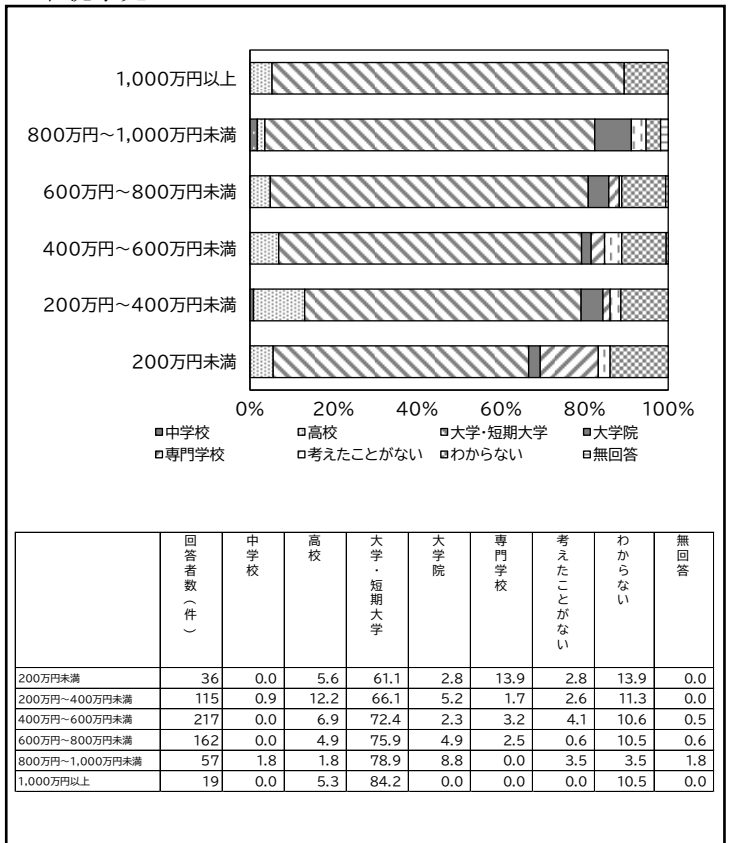
<中高生等>



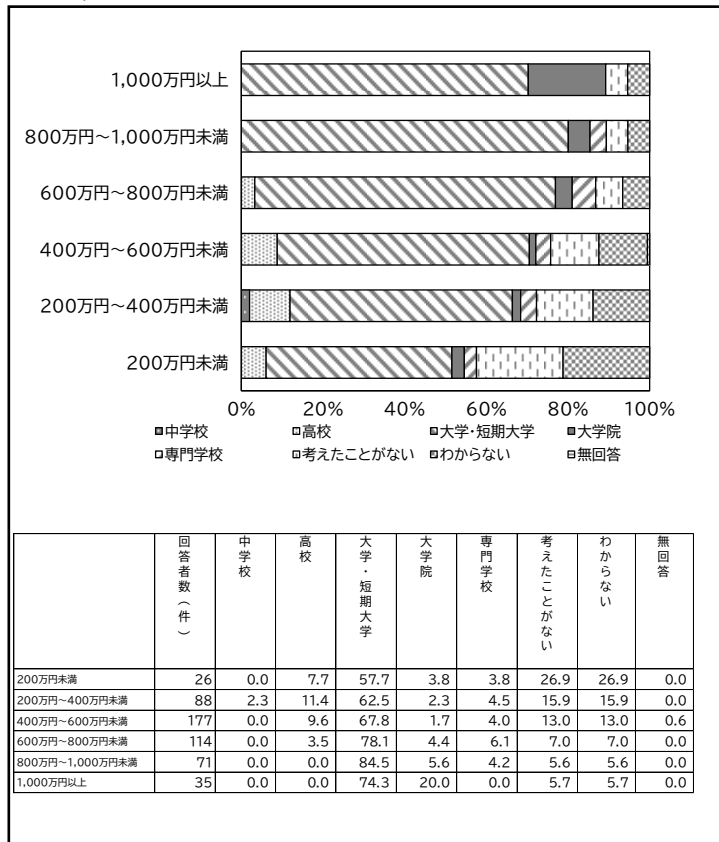
⑦子どもに希望する最終学歴

- 子どもに希望する最終学歴について、全体では「大学・短期大学」が最も高い割合となっています。
- 未就学児では「世帯収入 200 万円未満の世帯」について、「専門学校」の割合が他と比較し高い割合となっています。
- 小学生では世帯収入が低くなるにつれて「考えたことがない」「わからない」が高くなる傾向があります。
- 中高生等では「世帯収入 400 万円～600 万円未満の世帯」からそれ以下の世帯について、「高校」の割合が高くなる傾向があります。

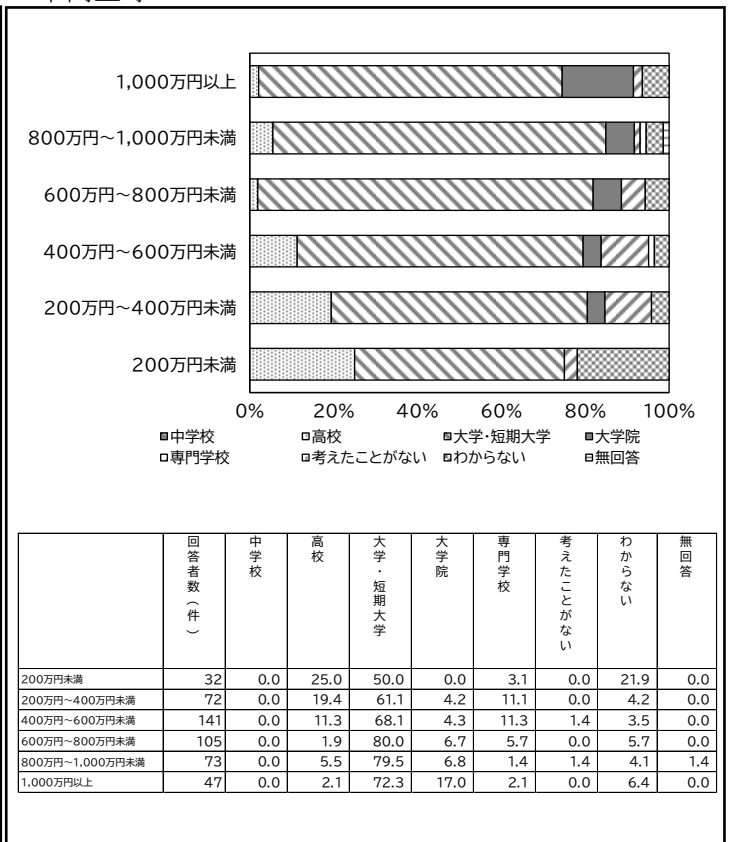
<未就学児>



<小学生>



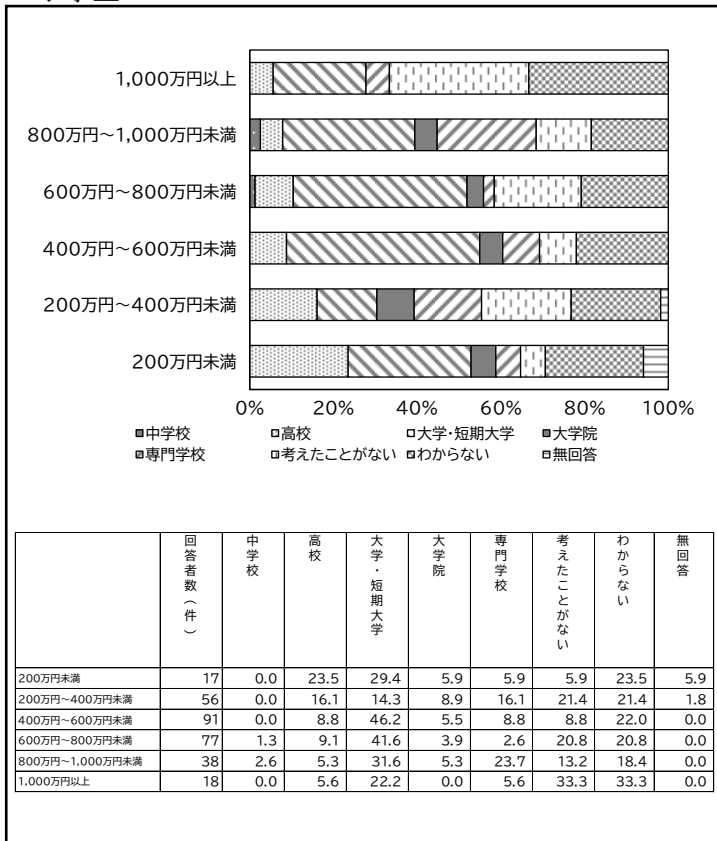
<中高生等>



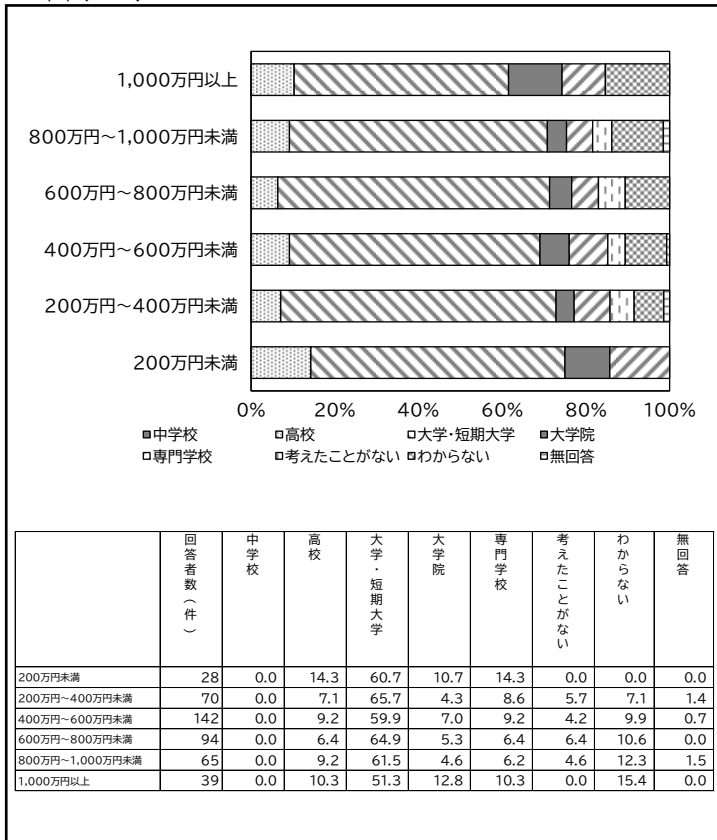
⑧進学希望（子ども本人）

- 子ども本人の進学希望について、世帯収入によって顕著な傾向はみられません。中高校生等では「世帯収入 200 万円未満の世帯」について、「考えたことがない」「わからない」「無回答」がない結果となっています。

<小学生>



<中高校生等>

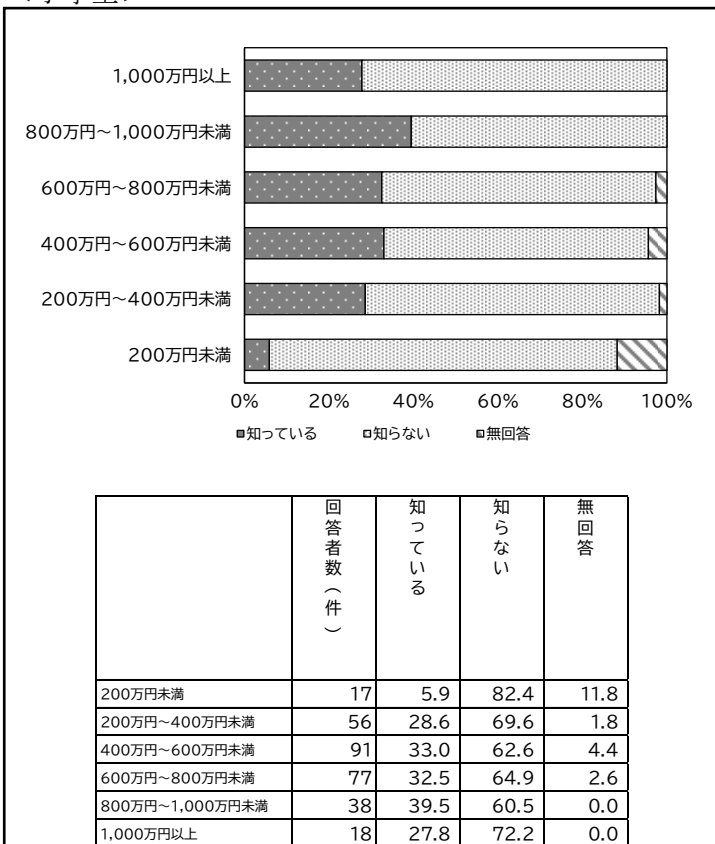


(19) 支援策について

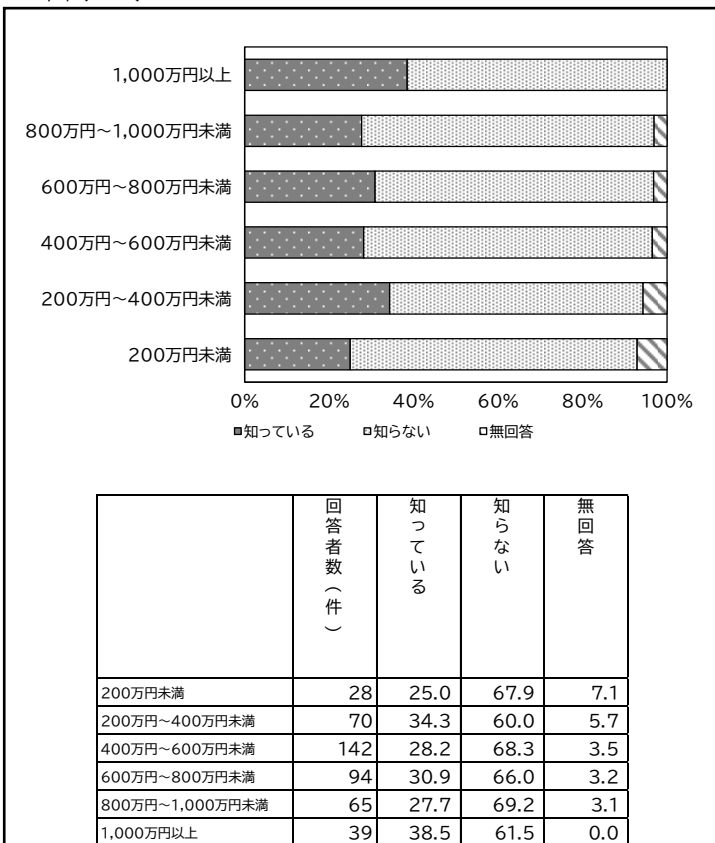
① 放課後子ども教室について

- 放課後子ども教室・認知度の設問では、「知らない」の割合が最も高くなっています。

<小学生>

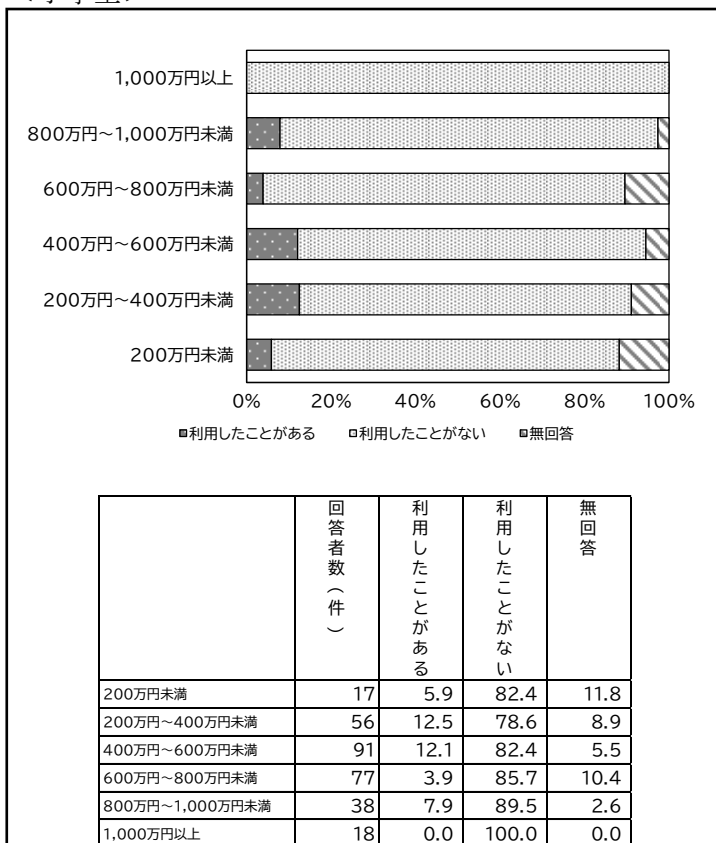


<中高生等>

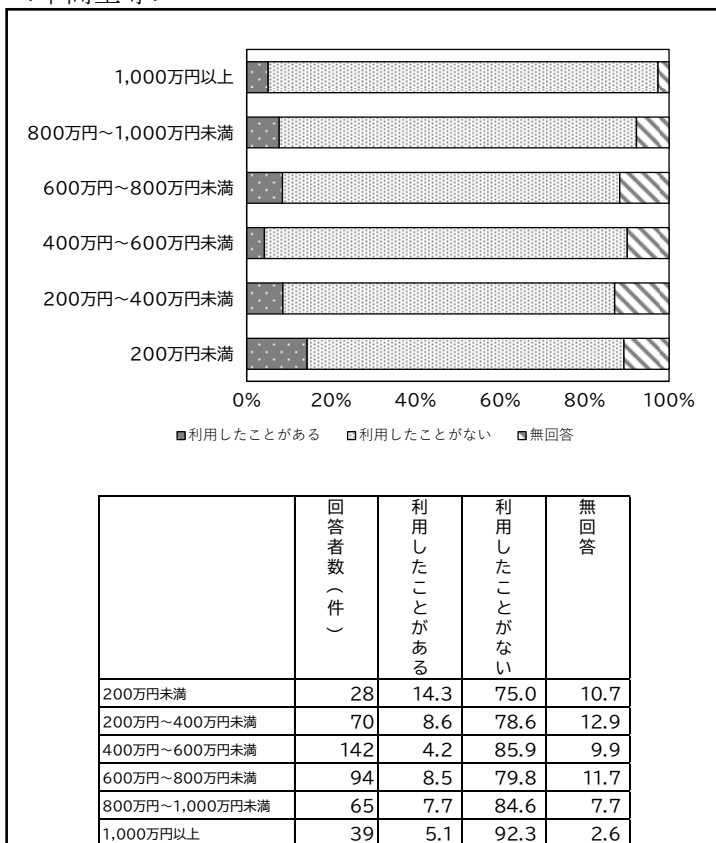


- ・放課後子ども教室・利用経験の設
問では、「利用したことがない」の
割合が最も高くなっています。

<小学生>

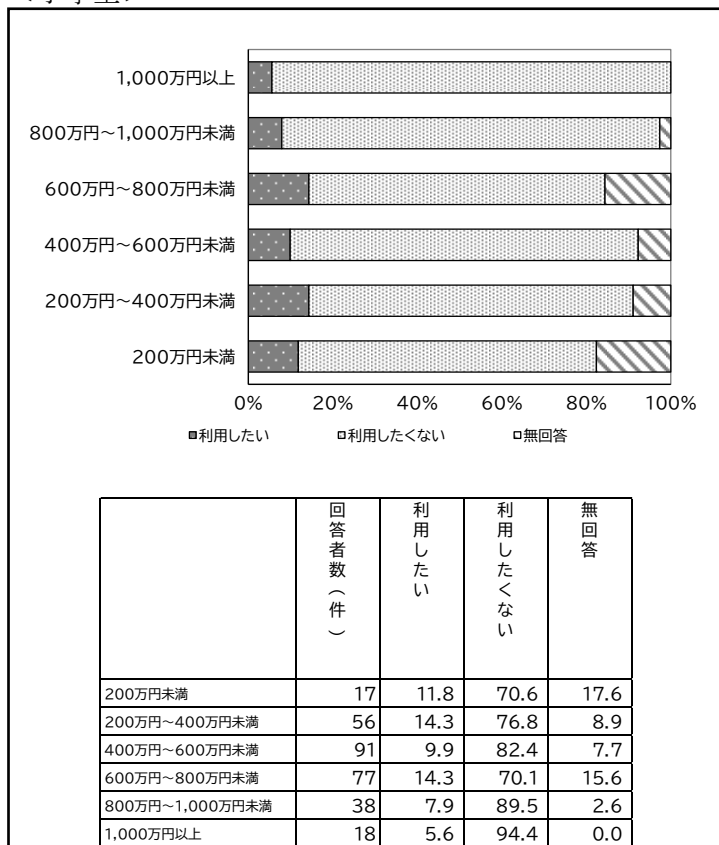


<中高生等>

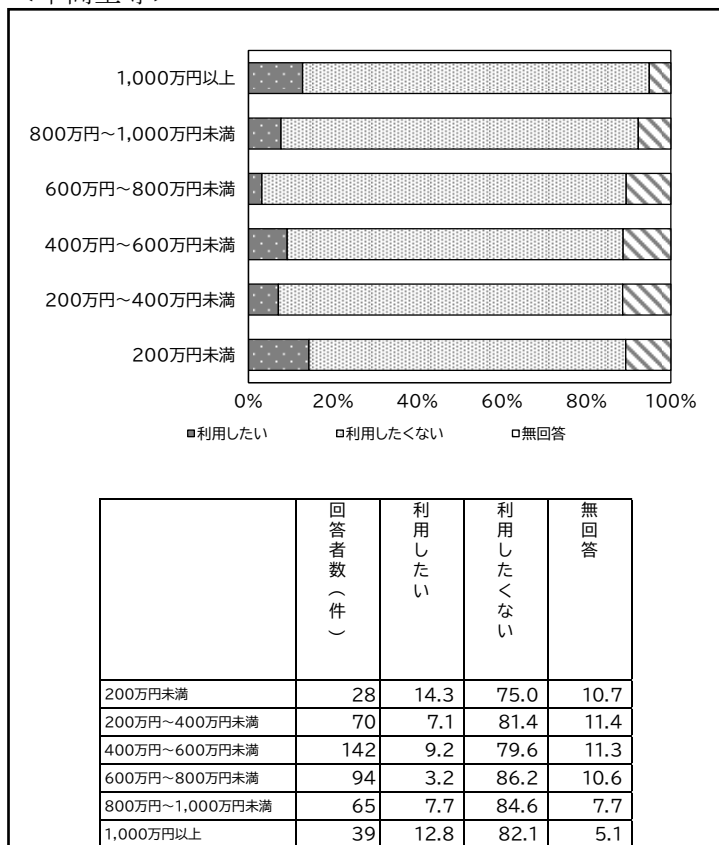


- ・放課後子ども教室・利用意向の設
問では、「利用したくない」の割合
が最も高くなっています。

<小学生>



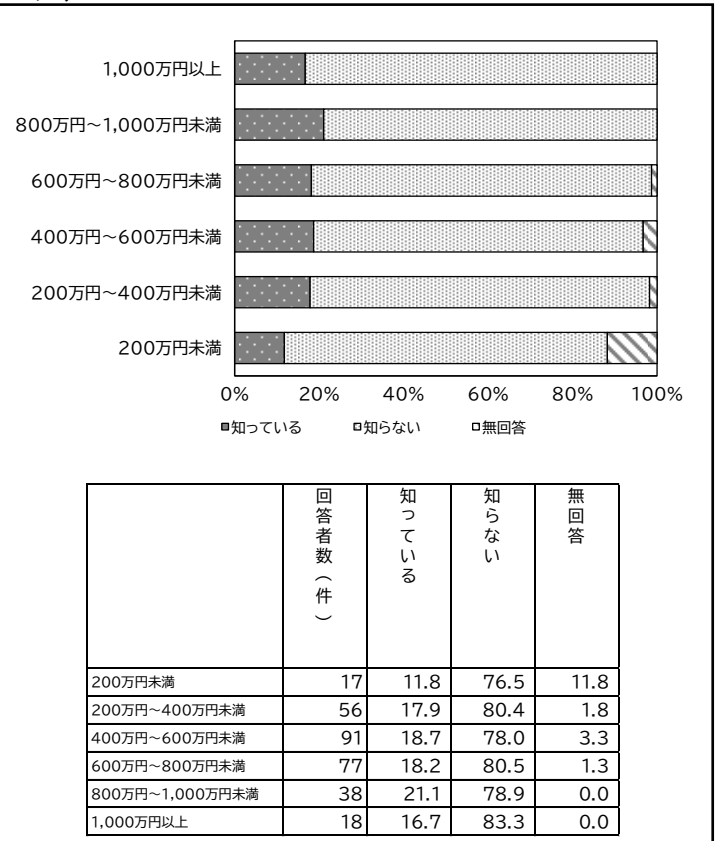
<中高生等>



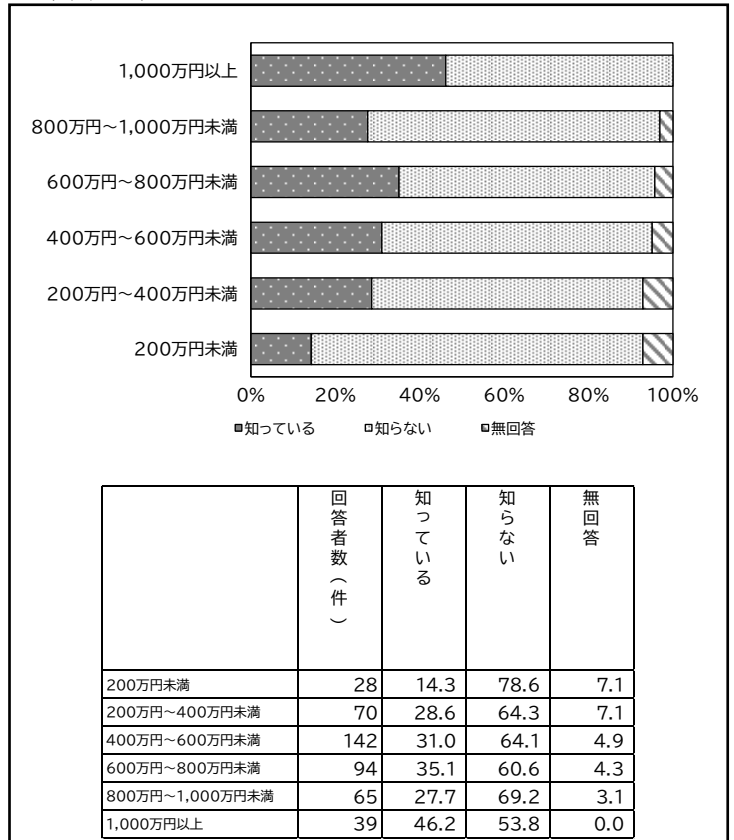
② 学習支援について

- 学習支援・認知度の設問では、「知らない」の割合が最も高くなっています。

<小学生>

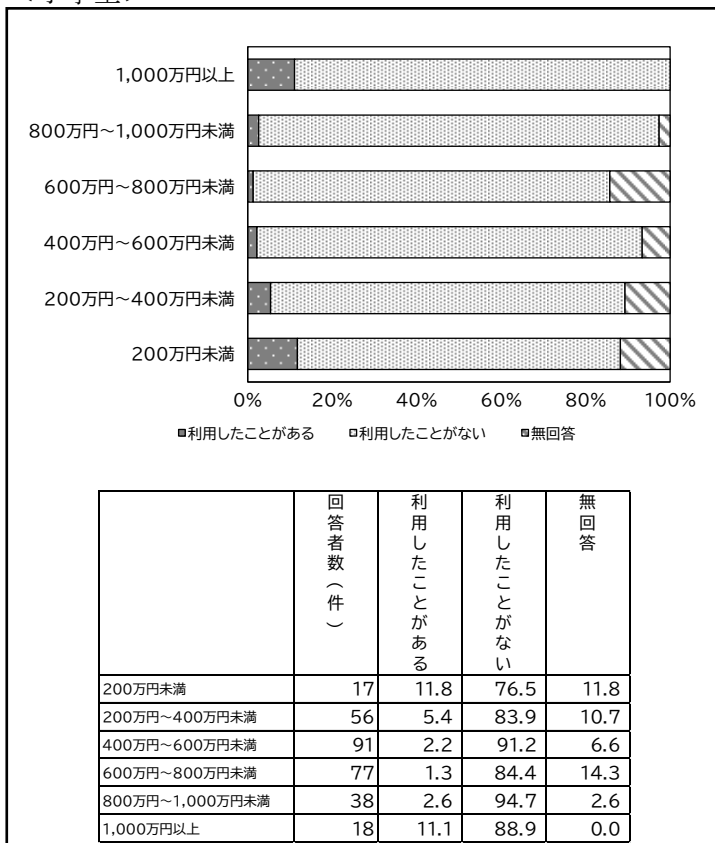


<中高生等>

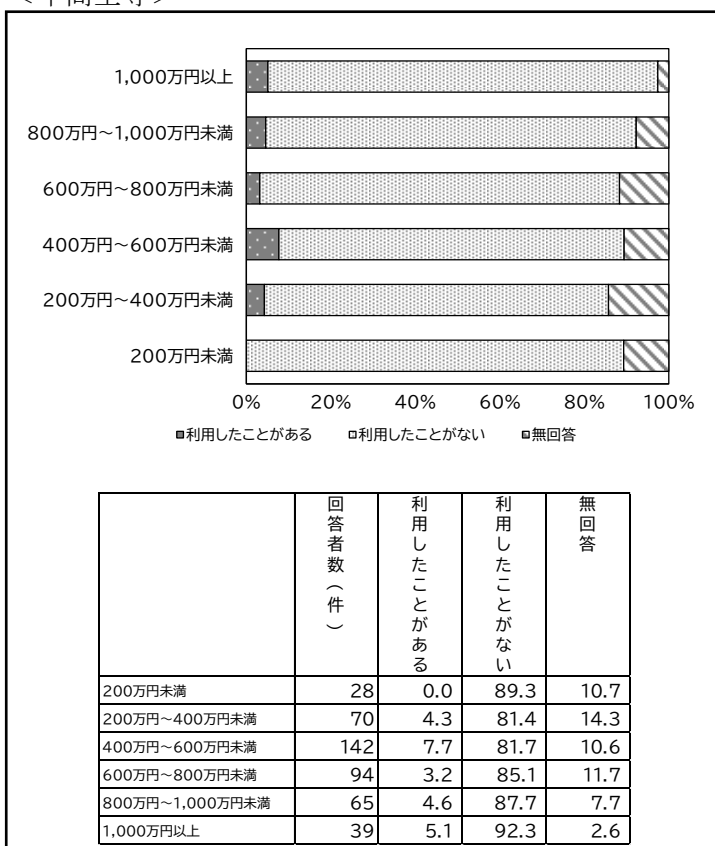


- ・学習支援・利用経験の設問では、
「利用したことがない」の割合が
最も高くなっています。

<小学生>

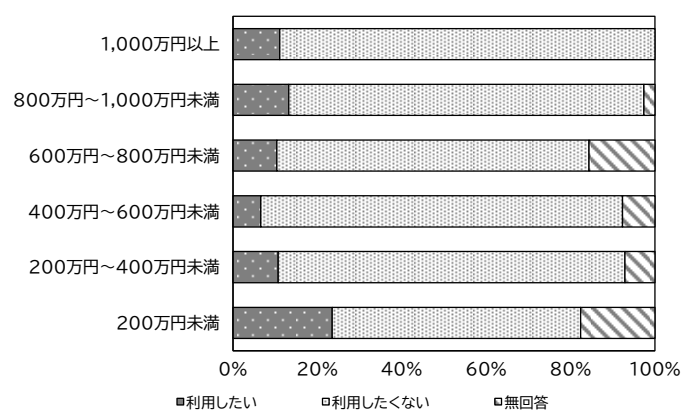


<中高生等>



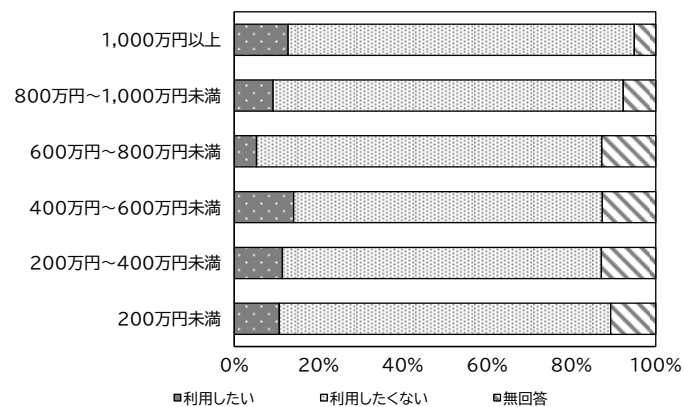
- ・学習支援・利用意向の設問では、「利用したくない」の割合が最も高くなっています。

<小学生>



	回答者数 (件)	利用 したい	利用 したく ない	無 回 答
200万円未満	17	23.5	58.8	17.6
200万円～400万円未満	56	10.7	82.1	7.1
400万円～600万円未満	91	6.6	85.7	7.7
600万円～800万円未満	77	10.4	74.0	15.6
800万円～1,000万円未満	38	13.2	84.2	2.6
1,000万円以上	18	11.1	88.9	0.0

<中高生等>

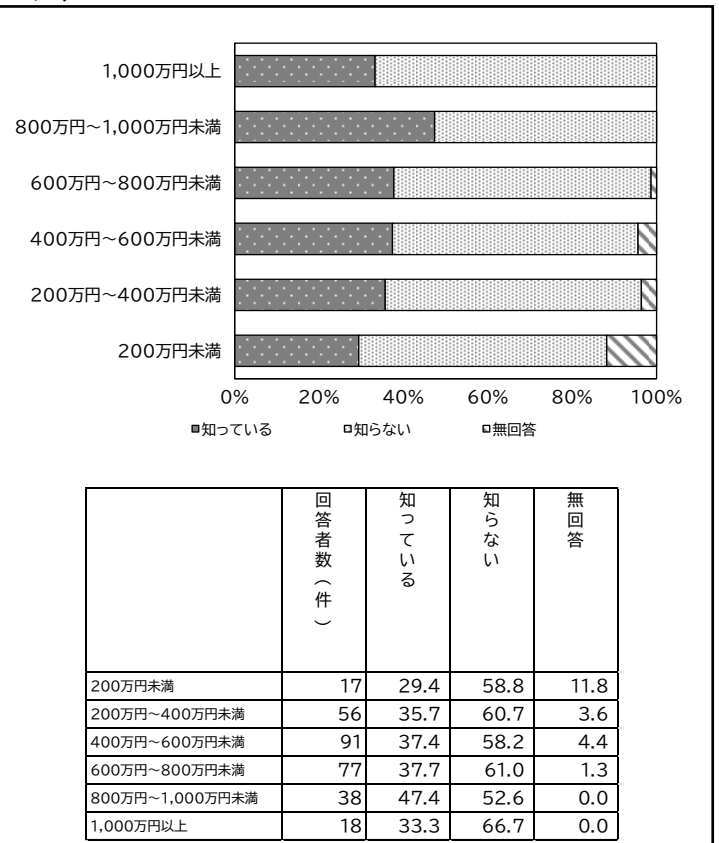


	回答者数 (件)	利用 したい	利用 したく ない	無 回 答
200万円未満	28	10.7	78.6	10.7
200万円～400万円未満	70	11.4	75.7	12.9
400万円～600万円未満	142	14.1	73.2	12.7
600万円～800万円未満	94	5.3	81.9	12.8
800万円～1,000万円未満	65	9.2	83.1	7.7
1,000万円以上	39	12.8	82.1	5.1

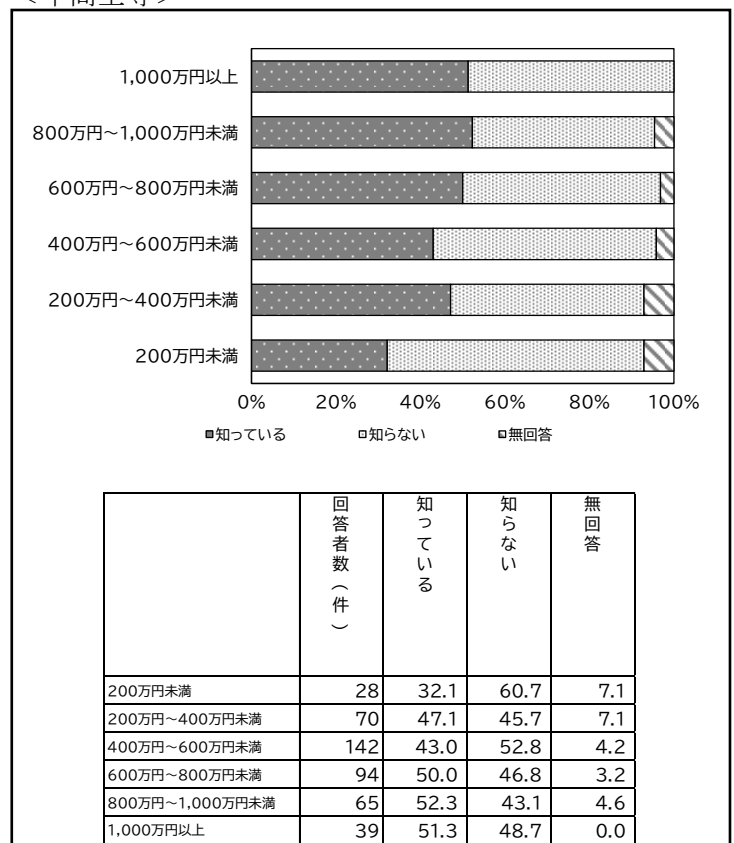
③ 子ども食堂について

- 子ども食堂・認知度の設問では、小学生では「知らない」の割合が最も高いものの、「放課後子ども教室」「学習支援」と比較すると高い割合となっています。
- 中高生等では、「知っている」の割合が、一部世帯収入の世帯を除き約半数程度となっています。

<小学生>

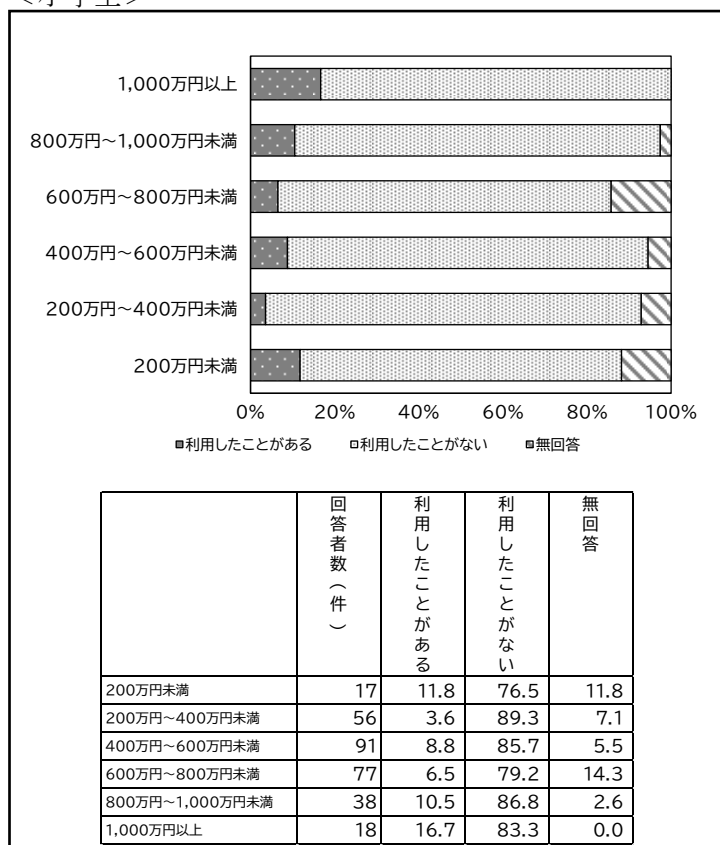


<中高生等>

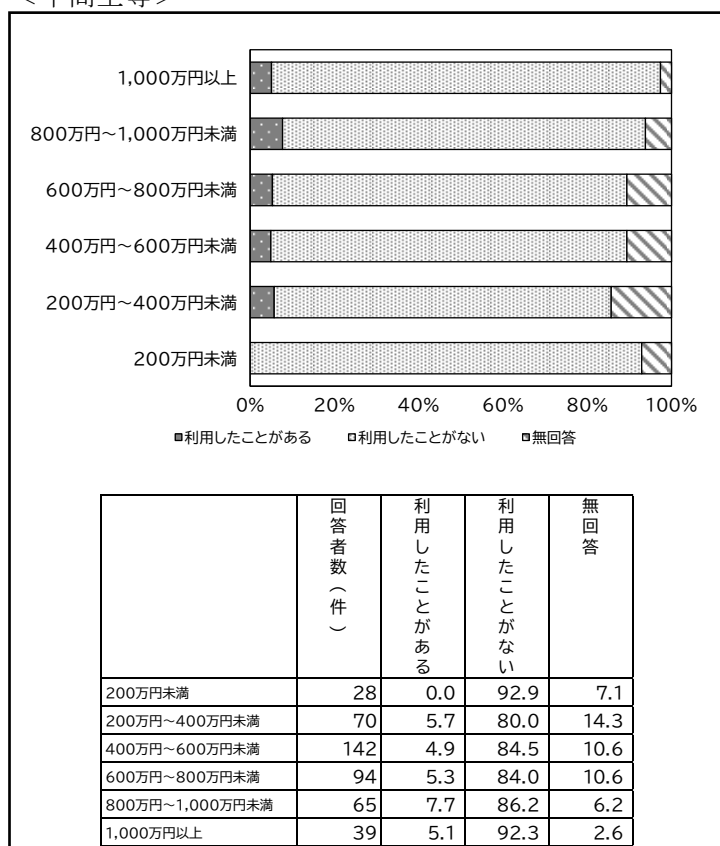


- 子ども食堂・利用経験の設問では、
「利用したことがない」の割合が
最も高くなっています。

<小学生>

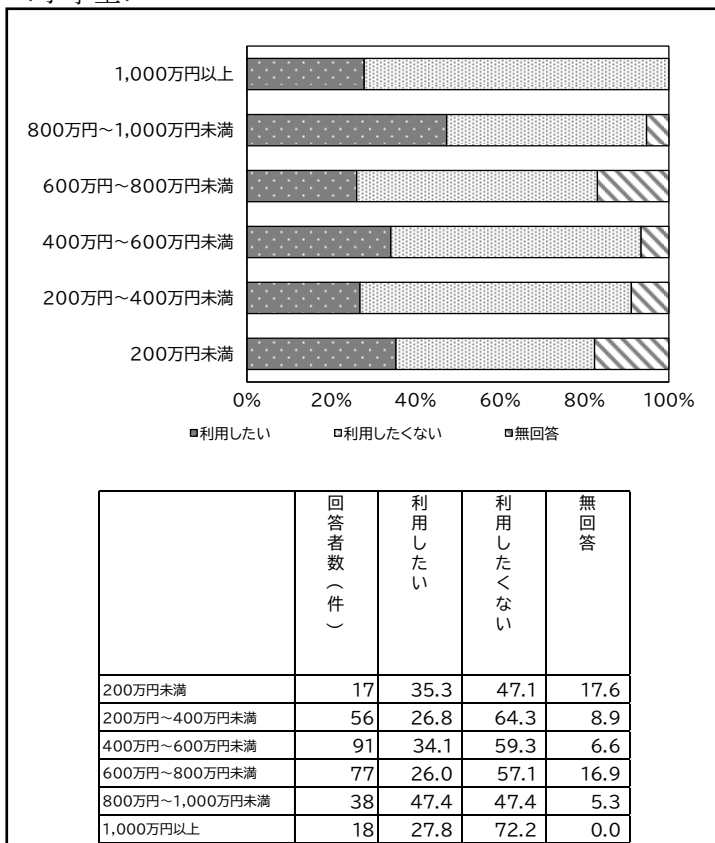


<中高生等>

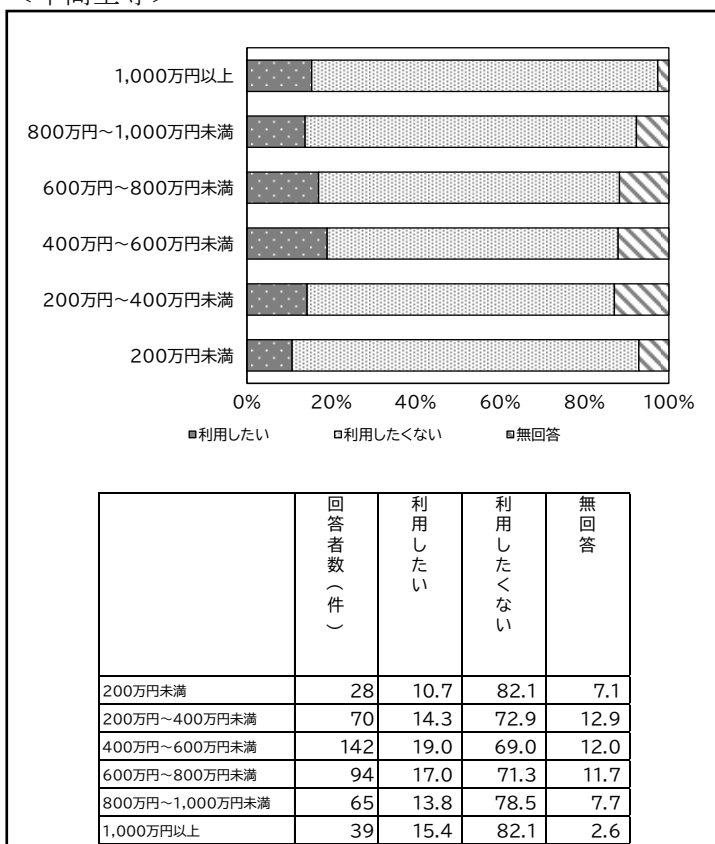


- 子ども食堂・利用意向の設問では、
「利用したくない」の割合が最も
高くなっています。

<小学生>



<中高生等>



(20) 子ども・子育て支援に関する主な意見・要望等（分類ごと）

① 就学前児童の保護者

(1) 子育て環境について（119 件）

- ・子どもが遊べる公園を増やしてほしい（56 件）
- ・子どもの遊び場をもっと充実させてほしい（36 件）
- ・安全な道路環境を整備してほしい（19 件）
- ・その他（8 件）

(2) 幼稚園・保育園・認定こども園について（88 件）

- ・保育料金を安くしてほしい（26 件）
- ・保育時間の見直し、一時預かりなど、保育環境を充実させてほしい（18 件）
- ・病児保育・病後児保育を充実させてほしい（15 件）
- ・預かり保育を充実させてほしい（7 件）
- ・日曜・祝日の受け入れ、深夜に働く人向けの受け入れなどを充実させてほしい（3 件）
- ・保育園の設備を充実させてほしい（2 件）
- ・その他（17 件）

(3) 子育て支援全般について（82 件）

- ・子育て支援全般を充実させてほしい（30 件）
- ・子育てに関する経済的支援を充実させてほしい（18 件）
- ・子どものための医療を充実させてほしい（17 件）
- ・子育てに関する情報の発信をもっと充実させてほしい（13 件）
- ・地域子育て支援センターを充実させてほしい（4 件）

(4) 子育て中の保護者の状況について（69 件）

- ・子育てと仕事の両立が大変である（56 件）
- ・共働きなので子育てが大変である（7 件）
- ・フルタイムで働くことが難しい（4 件）
- ・その他（2 件）

(5) 小学校就学後の生活について（62 件）

- ・小学校の教育環境を充実させてほしい（34 件）
- ・中学校給食を早く導入してほしい（15 件）
- ・育成学級を充実させてほしい（10 件）
- ・児童館を増やしてほしい（3 件）

② 小学生の保護者

(1) 小学校就学後の生活について (140 件)

- ・ 中学校給食を早く導入してほしい (61 件)
- ・ 小学校の教育環境を充実させてほしい (23 件)
- ・ 育成学級を充実させてほしい (18 件)
- ・ 高等学校の教育料無償化を実現させてほしい (13 件)
- ・ 中学校の教育環境を充実させてほしい (12 件)
- ・ 教員を充実させてほしい (10 件)
- ・ 不登校児にもっと配慮してほしい (2 件)
- ・ 児童館を充実させてほしい (1 件)

(2) 子育て支援全般について (85 件)

- ・ 子どものための医療を充実させてほしい (32 件)
- ・ 子育て支援全般を充実させてほしい (24 件)
- ・ 子育てに関する経済的支援を充実させてほしい (16 件)
- ・ 子育てに関する情報の発信をもっと充実させてほしい (13 件)

(3) 子育て環境について (78 件)

- ・ 子どもが遊べる公園を増やしてほしい (34 件)
- ・ 安全な道路環境を整備してほしい (16 件)
- ・ 子どもの遊び場をもっと充実させてほしい (14 件)
- ・ 子育ての不安を解消できるような交流がしたい (2 件)
- ・ 地域のボランティアが少ない (2 件)
- ・ 地域でのつながりを強くしたい (2 件)
- ・ その他 (8 件)

(4) 子育て中の保護者の状況について (17 件)

- ・ 子育てと仕事の両立が大変である (7 件)
- ・ 共働きなので子育てが大変である (6 件)
- ・ フルタイムで働くことが難しい (2 件)
- ・ パートで働くことも難しい (2 件)

(5) 幼稚園・保育園・認定こども園について (14 件)

- ・ 短時間勤務でも保育を受け入れてほしい (2 件)
- ・ 保育園をもっと整備してほしい (2 件)
- ・ 保育料金を見直してほしい (2 件)
- ・ 病児保育を充実させてほしい (2 件)
- ・ その他 (6 件)

③ 中学生・高校生等の保護者

(1) 子育て支援全般について (125 件)

- 子育て支援全般を充実させてほしい (53 件)
- 子どものための医療を充実させてほしい (51 件)
- 子育てに関する経済的支援を充実させてほしい (16 件)
- 子育てに関する情報の発信をもっと充実させてほしい (5 件)

(2) 小学校就学後の生活について (57 件)

- 中学校給食を早く導入してほしい (51 件)
- 小学校の教育環境を充実させてほしい (3 件)
- 学校ごとの格差を無くしてほしい (2 件)
- 育成学級を充実させてほしい (1 件)

(3) 子育て環境について (33 件)

- 子どもが遊べる公園を増やしてほしい (17 件)
- 子どもの遊び場をもっと充実させてほしい (6 件)
- 地域で子育てできるような環境にしてほしい (2 件)
- その他 (8 件)

(4) 子育て中の保護者の状況について (29 件)

- 子育てと仕事の両立が大変である (18 件)
- フルタイムで働くことが難しい (5 件)
- 共働きなので子育てが大変である (4 件)
- その他 (2 件)

(5) 幼稚園・保育園・認定こども園について (8 件)

- 長期休みでの保育を充実させてほしい (3 件)
- その他 (5 件)

④ 小学生（小学3年生以上）、中高生等

☆今、楽しくて夢中になれるもの

- ・ゲーム（217件）
- ・スポーツ（観戦含む）（184件）
- ・友人と遊ぶ（95件）
- ・音楽（60件）
- ・絵を描く（60件）
- ・スマホ、SNS、動画視聴（58件）
- ・部活（43件）
- ・漫画、アニメ（43件）
- ・芸能人（40件）
- ・読書（40件）

☆将来、なりたい職業

- ・芸術、クリエイター関係（漫画家、動画配信、イラストレーター等）（94件）
- ・スポーツ関係（60件）
- ・医療関係（医者、看護師、薬剤師）（54件）
- ・料理関係（47件）
- ・人の助けになる、人を笑顔にする仕事（49件）
- ・好きなことや個性を生かした仕事（45件）
- ・教師、保育士等（42件）
- ・動植物関係（27件）

☆「こんなまちに住みたい」「こんなまちにしたい」

（1）安全・安心のまち（92件）

- ・安全・安心に暮らせるまち（54件）
- ・犯罪のないまち（12件）
- ・平和なまち（12件）
- ・事故などの危険がないまち（8件）
- ・いじめのないまち（6件）

（2）人と人とのつながりがあるまち（89件）

- ・つながりのあるまち（34件）
- ・みんなが仲良くできるまち（15件）
- ・笑顔あふれるまち（8件）
- ・優しいまち（6件）
- ・みんなが楽しく過ごせるまち（20件）
- ・みんなが友だちのまち（4件）
- ・差別のないまち（2件）

(3) 公園など遊び場が充実しているまち (59 件)

- ・公園が充実しているまち (27 件)
- ・遊び場が充実しているまち (23 件)
- ・スポーツが盛んなまち (9 件)

(4) 自然豊かなまち (45 件)

- ・自然が多いまち (32 件)
- ・環境がきれいなまち (13 件)

(5) 交通環境が整ったまち (40 件)

- ・交通環境が整っているまち (24 件)
- ・道路が整っているまち (7 件)
- ・バスが使いやすいまち (6 件)
- ・電車が使いやすいまち (3 件)

(6) ゴミ等がない、きれいなまち (39 件)

- ・ゴミがないまち (22 件)
- ・ポイ捨てのないまち (17 件)

(7) 買い物など、商業が盛んなまち (33 件)

- ・買い物ができる店が多いまち (18 件)
- ・ショッピングモールなど大型商業施設のあるまち (7 件)
- ・食事のできる店のあるまち (3 件)
- ・コンビニが近くにあるまち (3 件)
- ・駅近くが賑わっているまち (2 件)

(8) 教育が充実しているまち (21 件)

- ・教育料無償化のまち (7 件)
- ・学校教育が充実しているまち (6 件)
- ・自習できるスペースが充実しているまち (5 件)
- ・学校施設が整備されているまち (3 件)

(9) 観光が盛んなまち (12 件)

- ・観光客が多く来るまち (10 件)
- ・お茶で観光が盛り上がっているまち (2 件)

(10) 医療・福祉が充実しているまち (10 件)

- ・手厚い医療・福祉サービスのあるまち (10 件)

(11) 市政がしっかりしているまち（8件）

- ・若い世代の声を聴いているまち（2件）
- ・税金の少ないまち（2件）
- ・その他（4件）

(12) 子育てしやすいまち（11件）

- ・子育て世代に優しいまち（3件）
- ・子どもや若い世代の多いまち（2件）
- ・その他（6件）

(13) 中学校給食が実現しているまち（7件）

- ・中学校に給食があるまち（7件）

(14) 最新技術など、最先端のまち（4件）

- ・最先端技術があり、設備が新しいまち（4件）

(15) 歴史のあるまち（2件）

- ・昔からあるものが残されているまち（2件）

2 宇治市子ども・子育て会議委員名簿

区 分	氏 名	所 属 等	備 考
1号委員	足立 珠実	宇治市立幼稚園PTA連合会	令和6年8月18日まで
	安田 恵里		令和6年8月19日から
	飯田 郁	宇治市私立幼稚園保護者会連合会	令和6年10月14日まで
	通円 智美		令和6年10月15日から
	岩崎 麻美	宇治市保育所保護者会連合会	令和6年8月18日まで
	鎌田 実子		令和6年8月19日から
	笠原 毅史	宇治市民間保育連盟 保護者代表	令和6年2月15日まで
	柳 圭祐		令和6年2月16日から
	工藤 文	市民公募委員	
	熊澤 真理菜	子育てサークル「ANCO KIDS」	
	富安 裕美	宇治市連合育友会	令和6年8月18日まで
	坂本 実希子		令和6年8月19日から
	平井 那智瑠	市民公募委員	令和5年7月27日まで
	出張 裕美子		令和5年7月28日から
	藤井 綾佳	市民公募委員	
	松村 祐子	宇治市障害児・者父母の会	令和6年8月18日まで
	坂口 由美子		令和6年8月19日から
2号委員	池田 和子	京都社会福祉士会	
	上西 千恵子	宇治市民生児童委員協議会	
	大森 幹久	宇治商工会議所青年部	令和6年8月18日まで
	池本 将孝		令和6年8月19日から
	岸 敬子	宇治市女性の会連絡協議会	
	木本 裕章	宇治市議会	
	前畑 利奈	連合京都南山城地域協議会	
3号委員	○迫 きよみ	特定非営利活動法人子育てを楽しむ会	
	杉本 一久	宇治市民間保育連盟	
	松井 明恵	宇治市私立幼稚園協議会	
4号委員	◎安藤 和彦	京都西山短期大学	
	大森 弘子	京都文教大学	
	幸道 直樹	宇治久世医師会	
	松井 敏子	京都府宇治久世歯科医師会	
5号委員	土井 浩之	京都府山城北保健所	

(◎会長 ○副会長 敬称略)

(令和5年度第1回～令和6年度第4回)

3 宇治市子ども・子育て会議条例

平成 25 年 10 月 17 日

条例第 41 号

改正 平成 28 年 3 月 31 日条例第 24 号

改正 令和 5 年 4 月 1 日条例第 5 号

(設置)

第 1 条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、附属機関として、宇治市子ども・子育て会議（以下「子ども・子育て会議」という。）を置く。

(定義)

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 子ども・子育て支援 子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号。以下「法」という。）第 7 条第 1 項に規定する子ども・子育て支援をいう。
- (2) 子ども 法第 6 条第 1 項に規定する子どもをいう。
- (3) 保護者 法第 6 条第 2 項に規定する保護者をいう。

(所掌事務)

第 3 条 子ども・子育て会議は、次の各号に掲げる事務を所掌する。

- (1) 法第 72 条第 1 項各号に掲げる事務
- (2) その他本市の子ども・子育て支援に関し必要な調査及び審議を行うこと。

(組織)

第 4 条 子ども・子育て会議は、委員 30 人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 子どもの保護者
- (2) 関係団体の推薦を受けた者
- (3) 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者
- (4) 子ども・子育て支援に関し学識経験を有する者
- (5) 前各号に掲げる者のほか、市長が適当であると認める者

(委員の任期)

第 5 条 委員の任期は、3 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第 6 条 子ども・子育て会議に、会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、子ども・子育て会議を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 子ども・子育て会議の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 子ども・子育て会議の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 子ども・子育て会議の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第8条 会長は、子ども・子育て会議の会議において必要があると認めるときは、関係者の出席を求めてその意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第9条 子ども・子育て会議の庶務は、子ども・子育て支援主管課において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、子ども・子育て会議の運営に関し必要な事項は、会長が子ども・子育て会議の会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から起算して3月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成25年宇治市規則第35号により平成25年12月18日から施行)

(会議の特例)

2 この条例の施行後最初の子ども・子育て会議の会議の招集は、第7条第1項の規定にかかわらず、市長が行う。

附 則 (平成28年条例第24号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (令和5年条例第5号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

4 宇治市子ども・子育て会議の開催経過

開催日時	検討内容
令和5年7月24日	令和5年度 第1回 宇治市子ども・子育て会議 (1) 「宇治市子ども・子育て支援事業計画」及び「宇治市子どもの貧困対策推進計画」における令和5年度の主な取り組み状況について (2) 令和4年度における「宇治市子ども・子育て支援事業計画」及び「宇治市子どもの貧困対策推進計画」の進捗状況等について
令和6年2月5日	令和5年度 第2回 宇治市子ども・子育て会議 (1) こども大綱について (2) 次期計画策定にかかるニーズ調査について
令和6年3月4日	令和5年度 第3回 宇治市子ども・子育て会議 (1) 次期計画策定にかかるニーズ調査の実施について (2) こども家庭センターの設置について (3) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の定員について (4) 予算の概要
令和6年3月15日 ～令和6年3月29日	「宇治市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」・ 「宇治市子どもの生活に関するアンケート」実施
令和6年8月19日	令和6年度 第1回 宇治市子ども・子育て会議 (1) 現計画について ・「宇治市子ども・子育て支援事業計画」及び「宇治市子どもの貧困対策推進計画」における令和6年度の主な取り組み状況について ・令和5年度における「宇治市子ども・子育て支援事業計画」及び「宇治市子どもの貧困対策推進計画」の進捗状況等について (2) 次期計画について ・宇治市子ども・子育て支援に関するニーズ調査等の調査結果について
令和6年10月15日	令和6年度 第2回 宇治市子ども・子育て会議 (1) 「宇治市子どもまんなかプラン」の素案について

開催日時	検討内容
令和6年11月25日	令和6年度 第3回 宇治市子ども・子育て会議 (1)「宇治市子どもまんなかプラン」の初案について
令和6年12月16日 ～令和7年1月17日	「宇治市子どもまんなかプラン（初案）」に対する パブリックコメントを実施
令和7年2月20日	令和6年度 第4回 宇治市子ども・子育て会議 (1)「宇治市子どもまんなかプラン」の最終案について (2) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の定員について (3) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施について (4) 予算の概要

5 用語解説

【あ行】

アウトリーチ

支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に訪問して情報・支援を行うこと。

育児休業制度

出産後の一定期間、育児をするため労働者が休業できる制度。

インクルージョン・インクルーシブ

障害の有無に関わらず、安心して暮らすことができる地域づくりを進め、地域における障害児の支援体制の強化や、保育所等における受け入れを実施できるような取組。

医療的ケア児

医学の進歩を背景として、NICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。

宇治市こども家庭センター

従来の「子育て世代包括支援センター」と「子育て家庭総合支援拠点」を統合し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ包括的な相談支援等を行う。

宇治市総合計画

宇治市の目指す都市像とその実現に向けた方向性を示した、まちづくりの最高指針となる計画。

SNS（エスエヌエス）

インターネットを介して人間関係を構築できるスマートフォン・パソコン用のWebサービスの総称。

NPO（エヌピーオー）

様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。

【か行】

確保方策

市町村子ども・子育て支援事業計画は、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて、潜在ニーズを含めて量の見込みを把握し、それに対応する「確保方策」を定めることとなっている。

家族の日

子どもを家族が育み、家族を地域社会が支えることの大切さについて理解を深めてもらうために、内閣府が平成19年度から11月の第3日曜日に定めたもの。その前後各1週間を「家族の週間」と定め、令和5年4月以降はこども家庭庁において、この期間を中心として理解促進を図っている。

家庭的保育

居宅等において、家庭的な雰囲気のもとで、5人以下の0～2歳児を保育する事業。

協働

まちづくりにおいては、市民、行政、企業などの地域に存在する自立したそれぞれの主体が、それぞれの他者の主体性を尊重しつつ、相互作用により創造的な効果を発揮していく関係がいい、対等な立場で責任を共有しながら目標の達成に向けて連携すること。

居宅訪問型保育

個別のケアが必要な場合などで、0～2歳児を対象に、保護者の自宅で1対1の保育をする事業。

合計特殊出生率

人口統計上の指数で、一人の女性が一生の間に生む子どもの数を示したもの。

子育て支援総合コーディネーター

多様な子育てサービス情報を一元的に把握するとともに、子育て家庭に対する総合的な情報提供、利用援助などの支援を行う。

こども家庭庁

こどもが自立した個人として、ひとしく健やかに成長することのできる社会の実現に向け、子育てにおける家庭の役割の重要性を踏まえつつ、こどもの年齢及び発達程度に応じ、その意見を尊重し、その最善の利益を優先して考慮することを基本とし、こども及びこどものある家庭の福祉の増進及び保健の向上その他のこどもの健やかな成長及びこどものある家庭における子育てに対する支援並びにこどもの権利利益の擁護を目的に令和5年4月1日に発足した組織。「こどもまんなか」社会の実現を目指している。

こども基本法

こども基本法は、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として、令和4年6月に成立、令和5年4月に施行された。

こども大綱

令和5年12月22日、こども基本法に基づき、こども政策を総合的に推進するため、これまで別々に作成・推進されてきた少子化社会対策大綱、子供・若者育成支援推進大綱及び子供の貧困対策に関する大綱を一つに束ね、こども施策に関する基本的な方針や重要事項等を一

元的に定めるものとして、令和5年12月22日に「こども大綱」を閣議決定した。

子ども・子育て関連3法

「子ども・子育て支援法」、「認定こども園法の一部改正」、「子ども・子育て支援法及び認定こども園法の一部改正法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の3つの法律。

子ども・子育て支援新制度

就学前の子どもを対象とした幼稚園・保育所等や、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めるための制度。

子ども・子育て支援法

保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための法律。

子ども食堂

地域の住民・企業・団体等がボランティアで運営する、子どもや地域住民など誰でも無料又は安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供するところ。

子どもの貧困対策

子どもの将来が、その生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図ることとして、平成26年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されるとともに、同年8月に国において「子どもの貧困対策に関する大綱」が策定された。その後、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」は「こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律」に改正され、「子供の貧困対策に関する大綱」は「こども大綱」として一元化。

こども110番のいえ

児童等の年少者が不審者などに声をかけられるなどして身に危険を感じたときに、地域住民の自主的な協力のもとでこれを保護するとともに、警察等へ通報を行う緊急避難場所を確保するため通学路や児童公園の周辺に設置されたもの。

【さ行】

里親制度

さまざまな事情で家族と離れて暮らす子どもを、自分の家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解を持って養育する制度。

事業所内保育

事業所などで、事業所の従業員の子どものほか、地域の保育を必要とする子どもを保育すること。

次世代育成支援対策推進法

将来、社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される社会の形成を目的として、平成15年に制定された法律。

市町村子ども・子育て支援事業計画

子ども・子育て支援新制度の目的を達成するために、子ども・子育て支援法に基づき、各市町村において、子育て家庭のニーズを把握した上で、幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援について、計画的に給付や事業等を行っていくために、5年間を計画期間として策定する計画。

児童相談所

児童福祉法に基づき、児童の福祉に関する各般の問題について市町村からの送致や家庭その他からの相談に応じ、調査、診断、判定のうえ、その児童・家庭にとって最も効果的な援助を行うことを業務とする児童福祉行政機関。

児童の権利に関する条約

子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約。18歳未満の児童（子ども）を権利をもつ主体と位置づけ、大人と同様ひとりの人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要な子どもならではの権利も定めている。

児童養護施設

保護者のいない児童や虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設。

社会資源

人々の生活の諸要求や問題解決の目的に使われる各種の施設や制度、機関、知識、技術などの物的、人的資源の総称。

社会福祉法人

社会福祉法における社会福祉事業を行うことを目的として設立された法人。民法による公益法人の不備を補正するものとして特別に創設された公益性の高い法人で、入所施設など第1種社会福祉事業を実施できる。

出生率

一定期間の出生数の、人口に対する割合のこと。一般に、人口1,000人当たりの1年間の出生児数の割合をいう。

小規模保育

多様なスペースで、家庭的保育に近い雰囲気のもとで、6人～19人の0～2歳児を保育する事業。

小中一貫教育

小・中学校が互いに情報交換、交流することを通じて円滑な接続をめざし、9年間を通じた教育課程を編成し、それに基づき行う系統的な教育のこと。

情報モラル

情報社会を生きぬき、健全に発展させていく上で、すべての国民が身につけておくべき考え方や態度のこと。

食育

生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

SSW（スクールソーシャルワーカー）

子どもが生活のなかで直面する学校内では解決しにくい困難に対して、関係機関と連携を図りながら、個人及び環境などの課題の背景に働きかけることにより、解決に向け支援を行う専門家。

生活保護率

人口1,000人あたりに対する全国47都道府県の比率を指します。保護率の計算方法は「1ヵ月で保護した人数」÷「各年10月1日の総務省推定人口」×1,000で算出している。

【た行】

待機児童

認可保育所等に入園申込みをしたが、入所できていない児童数から、国の定義に基づき、私的な理由で特定の保育所等のみを希望している方等を除いた数。

地域型保育事業

児童福祉法に位置付けられた市町村による認可事業のことで、多様な施設や事業の中から利用者が選択できる仕組みとなっている。小規模保育（利用定員6人以上19人以下）、家庭的保育（利用定員5人以下）、居宅訪問型保育、事業所内保育（主として従業員の子どものほか、地域において保育を必要とする子どもにも保育を提供）に分けられる。

特定事業主行動計画

次世代育成支援対策推進法に基づき、国及び地方公共団体の期間が実施する次世代育成対策に関する計画。

特別支援学校

視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者または病弱者（身体虚弱者を含む）に対し、幼稚園・小学校・中学校・高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上または生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識・技能を授けることを目的とする学校のこと。

特別支援教育

障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。

DV（ドメスティック・バイオレンス）

夫婦や恋人など親しい関係における暴力のことをいい、なぐる・けるなどの身体的な暴力だけでなく大声でおどすなどの精神的な暴力、その他にも性的な暴力・経済的に抑圧する行為・社会的な行動を妨げる行為なども含む。

DX（デジタルトランスフォーメーション）

デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会を目指し、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を進める取組。

【な行】

認定こども園

保育所と幼稚園の機能を併せ持つ施設のこと。

【は行】

発達相談

子どもの発達状況を踏まえて課題を共有した上で、今どのような関わりが必要なのかを保護者と相談すること。

パブリックコメント

公的な機関が規則あるいは命令などの類のものを制定しようとするときに、広く公に（＝パブリック）、意見・情報・改善案など（＝コメント）を求める手続きをいう。

バリアフリー

障害のある人が社会生活をしていく上で、障壁（バリア）となるものを取り除くという意味。段差などの物理的バリアを取り除くだけでなく、より広い意味で障害のある人の社会参加を困難にしている社会的、物理的、心理的なバリアを取り除いていくことにも用いられる。

【ま行】

マタニティマーク

妊婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲に妊婦であることを示しやすくするもの。また、交通機関、職場、飲食店等が、呼びかけ文を添えてポスターなどとして掲示し、妊産婦にやさしい環境づくりを推進するもの。

未婚率

国勢調査における指標で、「15歳以上人口に占める未婚者数の割合」のこと。

民生児童委員

「民生委員法」「児童福祉法」に基づき、厚生労働大臣から委嘱されている委員のこと。民生委員法では、「民生委員は、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努めるもの」とされており、地域と行政の架け橋として社会福祉事業者や社会福祉活動を行う者と密接に連携し、関係行政機関の業務に協力するほか、福祉サービスなど、必要な情報を提供する。また、民生委員は児童及び妊産婦の福祉の増進を図るための活動を行う児童委員に充てられる。

【や行】

ヤングケアラー

“本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども・若者”のこと。

ユニバーサルデザイン

高齢者や障害のある人の生活や活動に不便となる障壁（バリア）を取り除く「バリアフリー」という考え方を一歩進めて、すべての人の利用しやすさを最大限配慮した、環境や製品、サービス、システムなどのデザインのこと。

要保護児童

保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童のこと。

要保護児童対策地域協議会

虐待を受けた子どもをはじめとする要保護児童等に関する情報その他要保護児童の適切な保護を図るために必要な情報の交換を行うとともに、要保護児童等に対する支援の内容に関する協議を行うもの。

【ら行】

ライフスタイル

食事や運動、休養など日常の生活をはじめ、仕事や娯楽、対人関係など人それぞれの価値観を含めた生き方、行動をいう。

ライフステージ

幼児期、児童期、青年期、成年期、老年期など、人生のさまざまな過程における生活史上の各段階のこと。

療育

障害のある子どもが、社会的に自立することを目的として行われる医療、訓練、教育、保育

などのこと。

療育手帳

知的障害のある人や児童に対する一貫した指導・相談を行うとともに、各種の援助措置を受けやすくするために交付される手帳。手帳には、障害の程度により重度の場合は「A」、その他の場合は「B」と判定され、記入される。

量の見込み

市町村子ども・子育て支援事業計画は、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況を把握するとともに、保護者に対する調査等を行い、これらを踏まえて教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の「見込み」を推計することとなっている。

【わ行】

ワーク・ライフ・バランス

「仕事と生活の調和」。内閣府は、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」において、仕事と生活の調和が実現した社会とは「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること」と定義している。

宇治市子どもまんなかプラン

令和7年3月

発行 福祉こども部 こども福祉課

〒611-8501

京都府宇治市宇治琵琶 33 番地

TEL 0774-22-3141（代表） FAX 0774-21-0408
